



GeoLink®精密散水システム仕上げキット

シリアル番号 415400000 以降のMulti Pro® 5800 芝生スプレーヤー

モデル番号 41708—シリアル番号 400000000 以上

取り付け要領

注 このキットはモデル 41712 またはモデル 41713 と一緒に取り付けます。

はじめに

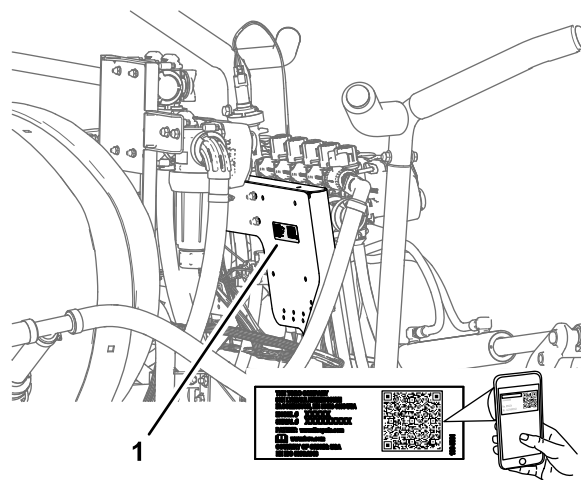
GeoLink散水システム キットは、Toro Multi Pro芝生散水車両用のアタッチメントであり、商業用途で専門に雇われたオペレーターが使用することを目的としています。これは、高度な管理を受けている公園やゴルフ場、スポーツフィールド、商用目的で使用される芝生に散水することを主たる目的として製造されています。この機械は本来の目的から外れた使用をすると運転者本人や周囲の人間に危険な場合があります。

この説明書を読んで製品の運転方法や整備方法を十分に理解し、他人に迷惑の掛からないまた適切な方法でご使用ください。この製品を適切かつ安全に使用するのをお客様の責任です。

製品の安全や取り扱い講習、アクセサリなどに関する情報、代理店についての情報の入手、お買い上げ製品の登録などをネットで行っていただくことができます www.Toro.com

整備について、またToro純正部品についてなど、分からないことはお気軽に弊社代理店またはToroカスタマーサービスにおたずねください。お問い合わせの際には、必ず製品のモデル番号とシリアル番号をお知らせください。図 1 にモデル番号とシリアル番号の表示位置を示します。いまのうちに番号をメモしておきましょう。

重要 シリアル番号プレートに QR コードがついている場合は、スマートフォンやタブレットでスキャンすると、製品保証、パーツその他の製品情報にアクセスできます。



g491839

図 1

1. モデル番号とシリアル番号の表示場所

モデル番号 _____
シリアル番号 _____

この説明書では、危険についての注意を促すための警告記号 図 2 を使用しております。これらは死亡事故を含む重大な人身事故を防止するための注意ですから、必ずお守りください。



g000502

図 2

1. 危険警告記号

この他に2つの言葉で注意を促しています。**重要**「重要」は製品の構造などについての注意点を、**注**はその他の注意点を表しています。



目次

はじめに	1
安全について	2
安全ラベルと指示ラベル	3
組み立て	4
1 マシンの準備を行う	6
2 キャリッジ下シュラウドの取り外し	7
3 エンジンコントロールモジュールと取り付けブラケットの取り外し	8
4 ダッシュゲージの感圧チューブの取り外し	8
5 リアワイヤハーネスをマシンから外す	9
6 レートコントロールスイッチの取り外し	13
7 ブームセクションバルブの取り外し	14
8 バルブマウント、レート/セクションコントローラー、セクションバルブの取り付け	18
9 圧力トランスデューサーの再配置	20
10 3セクションシステムのホースの取り外し	23
11 ホースの取り付け	25
12 リアワイヤハーネスのマシンへの取り付け	32
13 エンジンコントロールモジュールと取り付けブラケットの取り付け	36
14 キャリッジ下シュラウドの取り付け	36
15 リアワイヤハーネスの接続	37
16 ダッシュゲージ用感圧チューブの接続	45
17 ナビゲーション受信機の取り付け	45
18 モデムアンテナをマシンに取り付け	46
19 ディスプレイの取り付け	48
20 ナビゲーションコンポーネント関係のワイヤハーネスの取り付け	49
21 モデム電源ハーネスのマシンへの取り付け	53
22 モデム用データハーネスのマシンへの取り付け	56
23 CL-55モデムのインストール	57
24 ISO-CANバスハーネスの配線	59
25 CANバス抵抗の取り外し	61
26 アダプターハーネスと終端抵抗の取り付け	62
27 GeoLink散水システム仕上げキットの取付作業	62
28 GeoLink機器の電源オン	65
29 ソフトウェアセットアップの完了	65

安全について

警告

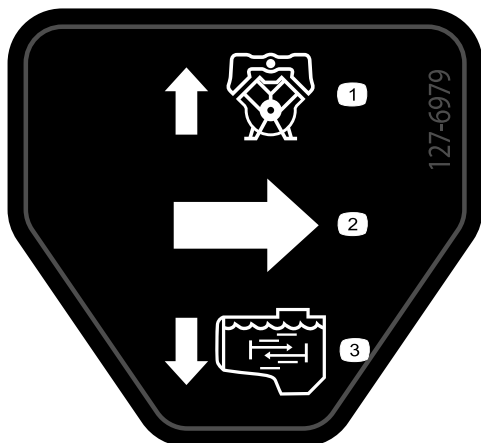
この散布装置で取り扱う農薬は人体や動植物、土壌などに危険を及ぼす可能性があるので取り扱いには十分注意すること。

- 自分自身の安全を守るために、農薬を取り扱う前に、容器に張ってあるラベルや安全データシートSDSなど取り扱い上の注意をよく読んで理解し、薬剤メーカーの指示を守りましょう。たとえば、保護めがねゴーグル、手袋など、薬剤との接触を防止し危険から身を守ることで適切な保護対策を講じる。
- 散布する薬剤は一種類とは限らないので、取り扱っているそれぞれの薬剤について注意事項を必ず確認する。
- 上記安全確保に必要な情報が手に入らない場合には、この装置の運転を拒否してください。
- 散布装置の整備や修理をする時は、その前に必ず、その装置が薬剤メーカーの指示通りに3回のすすぎ洗いや必要な中和処理を実行済みであること、さらに、すべてのバルブにそれぞれ3回の開閉操作洗浄が実施されていることを確認する。
- 十分な量の水と石鹼を身近に常備し、薬剤が皮膚に直接触れた場合には、直ちに洗い流してください。

安全ラベルと指示ラベル



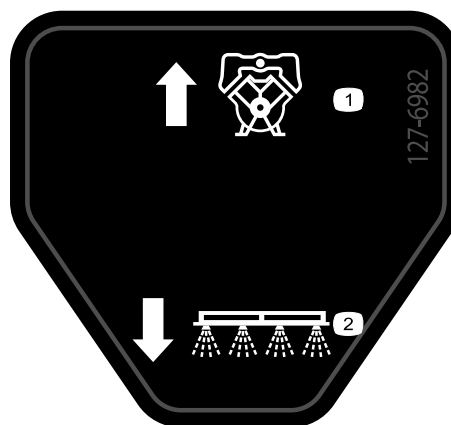
セーフティラベルや指示は危険な個所のオペレーターから見やすい部分に貼付してあります。破損したりはがれたりした場合は新しいラベルを貼り直してください。



127-6979

decal127-6979

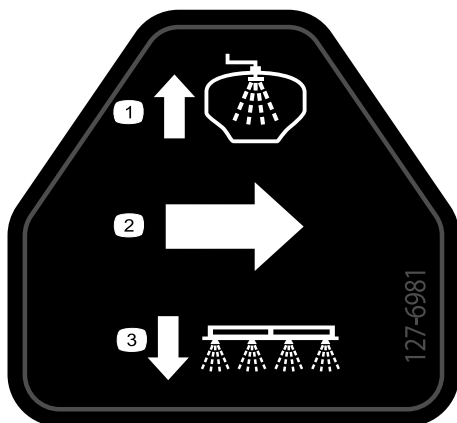
1. バイパス戻りフロー
2. フロー
3. 攪拌フロー



127-6982

decal127-6982

1. バイパス戻りフロー
2. ブームスプレー



127-6981

decal127-6981

1. バイパス戻りフロー
2. フロー
3. ブームスプレー

取り付け

付属部品

すべての部品がそろっているか、下の表で確認してください。

手順	内容	数量	用途
1	必要なパーツはありません。	－	マシンの準備を行う。
2	必要なパーツはありません。	－	キャリッジ下シュラウドを取り外します。
3	必要なパーツはありません。	－	エンジンコントロールモジュールと取り付けブラケットを取り外します。
4	必要なパーツはありません。	－	ダッシュゲージの圧力感知チューブを取り外す。
5	必要なパーツはありません。	－	リアワイヤハーネスをマシンから外す。
6	ケーブルタイ スイッチのプラグ	1 1	レートコントロールスイッチを取り外す。
7	必要なパーツはありません。	－	ブームバルブを取り外す。
8	バルブマウントとバルブアセンブリ レート/セクションコントローラー マグネット ボルト#8 ワッシャ8枚 ロックナット#8 平ワッシャ 1/4" フランジヘッドボルト 5/16 x 3/4" フランジロックナット 5/16" フランジヘッドボルト 1/4 x 3/4" フランジロックナット 1/4"	1 1 4 4 4 4 2 8 8 2 2	バルブマウント、レート/セクションコントローラー、バルブを取り付ける。
9	バーブ付きフランジフィッティング 1" ホース 1x7-1/4" ホースクランプ 圧力トランスデューサー マニホールド ホース 1x8-1/2" R クランプ	1 1 4 1 1 1 1	圧力トランスデューサーを再配置する。
10	必要なパーツはありません。	－	ホースを取り外す。
11	供給ホース 279cm 供給ホース 234cm 供給ホース 188cm 供給ホース 81cm R クランプ ダブルRクランプ シングルRクランプ	2 2 4 2 2 2 2	ホースを取り付ける。

手順	内容	数量	用途
12	リアワイヤハーネス ケーブルタイ	1 3	リアワイヤハーネスをマシンに取り付ける。
13	必要なパーツはありません。	—	エンジンコントロールモジュールと取り付けブラケットを取り付ける。
14	必要なパーツはありません。	—	キャリッジ下シュラウドを取り付ける。
15	ケーブルタイ	3	リアワイヤハーネスを接続する。
16	必要なパーツはありません。	—	ダッシュゲージの圧力感知チューブを接続する。
17	ナビゲーション受信機 受信機用マウント ボルトM5 ワッシャ ボルト フランジロックナット $\frac{3}{8}$ "	1 1 4 4 4 4	ナビゲーション受信機を取り付ける。
18	アンテナマウント リベット マグネット モデムアンテナ 高感度アンテナ ケーブルタイ	1 2 2 1 1 7	モデム アンテナをマシンに取り付ける。
19	ディスプレイ ボールマウント モニターアーム 補強ブラケット フランジヘッドボルト 1/4 x 1-1/2" ワッシャ 1/4" フランジロックナット 1/4"	1 1 1 1 4 4 4	ディスプレイを取り付ける。
20	ハーネスアダプタ データおよび電気ハーネス ケーブルタイ	1 1 8	ナビゲーションコンポーネント関係のワイヤハーネスを取り付ける。
21	モデム電源ハーネス - 1850mm - GeoLink精密散水 システムキット (モデル 41712またはモデル 41713) ケーブルタイ - GeoLink精密散水システムキット (モデル 41712またはモデル 41713)	1 5	モデム電源ハーネスを取り付ける。
22	モデム用データハーネス - 300cm ケーブルタイ	1 8	モデム用データハーネスを配線する。
23	CL-55モデム モデムブラケット ボルト (#10 x 1-3/4") スペーサ ロックナット (#10)	1 1 2 2 2	CL-55モデムをインストールする。
24	ISO-CAN バス ハーネス - 302cm ケーブルタイ	1 12	ISO-CAN バスハーネスを配線する。

手順	内容	数量	用途
25	必要なパーツはありません。	—	CANバス抵抗を取り外す。
26	アダプターハーネス - 13cm ケーブルタイ	1 1	アダプターハーネスと終端抵抗を取り付ける。
27	必要なパーツはありません。	—	GeoLink散水システム仕上げキットの取付を完了する
28	必要なパーツはありません。	—	GeoLink機器に電源を入れる。
29	必要なパーツはありません。	—	ソフトウェアのセットアップを完了する。

1

マシンの準備を行う

必要なパーツはありません。

手順

お使いのマシンの取扱説明書を参照してください。

1. マシンを平らな場所に停車して駐車ブレーキを掛ける。
2. 左右のブームセクションを水平位置に降下させる。
3. エンジンを切り、キーを抜き、バッテリーを外す。
4. スプレーヤーの洗浄

重要 ジオリンクスプレー システム仕上げキットを取り付ける前に、散水タンクを完全に空にする必要があります。

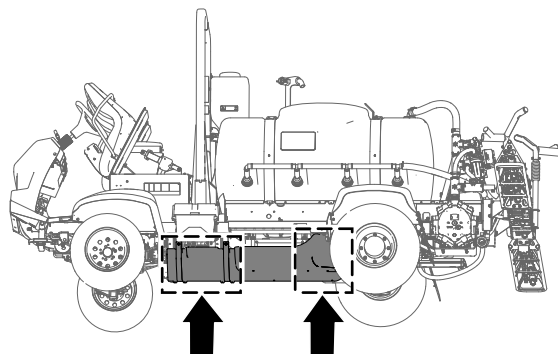
2

キャリッジ下シュラウドの取り外し

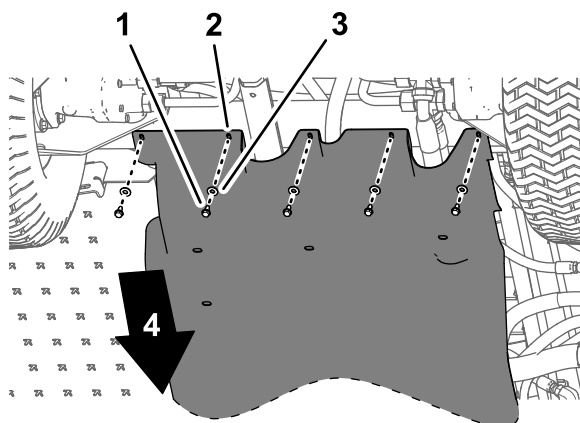
必要なパーツはありません。

手順

1. キャリッジ下シュラウドの後部をマシンのシャーシに固定している次のハードウェアを取り外して保管します。
 - **2016 年度のマシン** — フランジヘッドボルト 5/16" x 7/8" 7本とワッシャ5/16" 7枚
 - **2017 年度以降のマシン** — フランジヘッドボルト 5/16" x 7/8" 5本とワッシャ5/16" 5枚



g189584



g189585

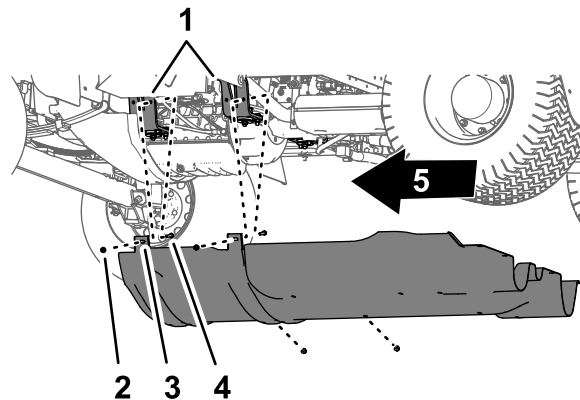
図 3

図は 2017 年度モデル。2016年度モデルもほぼ同じ。

1. フランジヘッドボルト 5/16" x 7/8"
2. キャリッジ下シュラウド
3. ワッシャ 5/16"
4. マシン前方

2. キャリッジ下シュラウドのサポートストラップをマシンのエンジンマウントブラケットに固定しているボルトとキャリッジ ボルトからフランジロックナット (5/16") 4個を取り外し、保持します。

注 マシンからボルトを取り外さないでください。



g189583

図 4

1. エンジンマウント
2. フランジロックナット 5/16"
3. キャリッジ下シュラウド
4. ボルト外さないこと。
5. マシン前方

3. キャリッジ下シュラウドをエンジン搭載ブラケットに固定しているボルトに沿ってサポートストラップを持ち上げる。
4. キャリッジ下シュラウドをマシンから取り外す。

3

エンジンコントロールモジュールと取り付けブラケットの取り外し

必要なパーツはありません。

手順

1. エンジンコントロールモジュールの取り付けブラケットをエンジンのサポートブラケットとエンジンのアクセサリ ケースに固定しているフランジヘッドボルト3本とフランジ ナット1個を取り外して保持します。

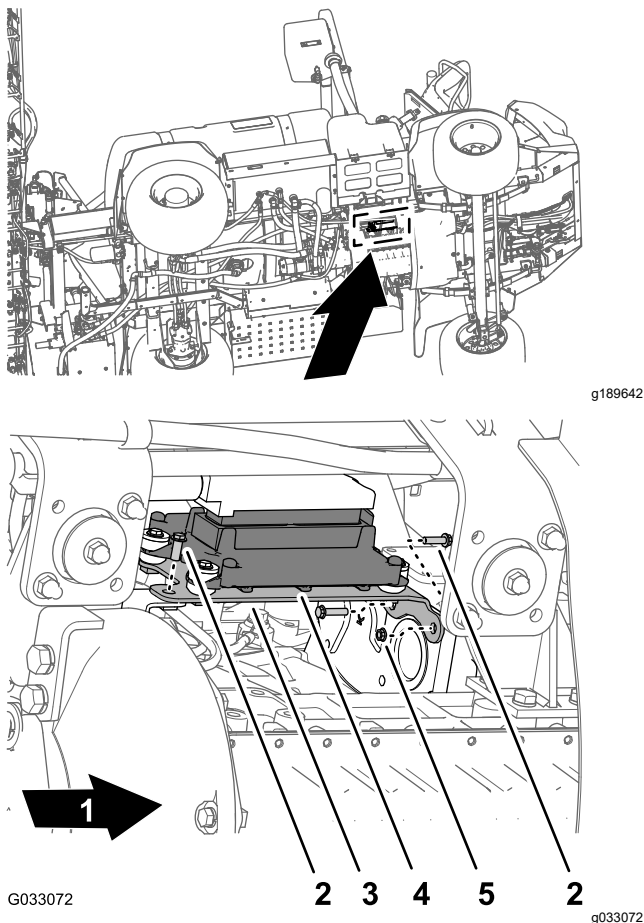


図 5

- | | |
|---------------|--------------------|
| 1. マシン前方 | 4. エンジンコントロールモジュール |
| 2. フランジヘッドボルト | 5. フランジナット |
| 3. 取り付けブラケット | |

2. エンジンコントロールモジュールと取り付けブラケットを下方および後方に移動して、マシンのフ

ロントおよびリアのワイヤリングハーネスのコネクタにアクセスできるようにします。

注 エンジン制御モジュールをエンジンから取り外したり切断したりしないでください。

4

ダッシュゲージの感圧チューブの取り外し

必要なパーツはありません。

手順

1. 右ブームセクションのバルブの端にある圧力検知チューブの接続を見つけます。

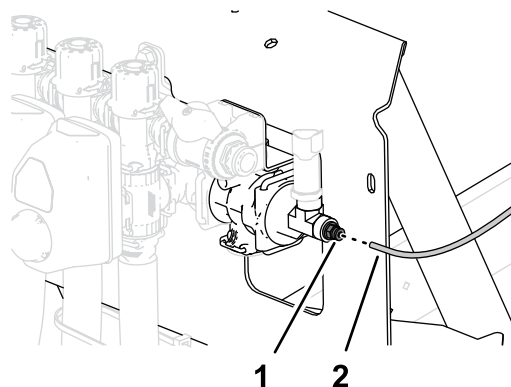


図 6

- | | |
|-------------|-------------|
| 1. チューブカップラ | 2. 圧力検知チューブ |
|-------------|-------------|

2. チューブカップラーのカラーを押し込み、ダッシュ圧力計の圧力感知チューブを引き抜きます。

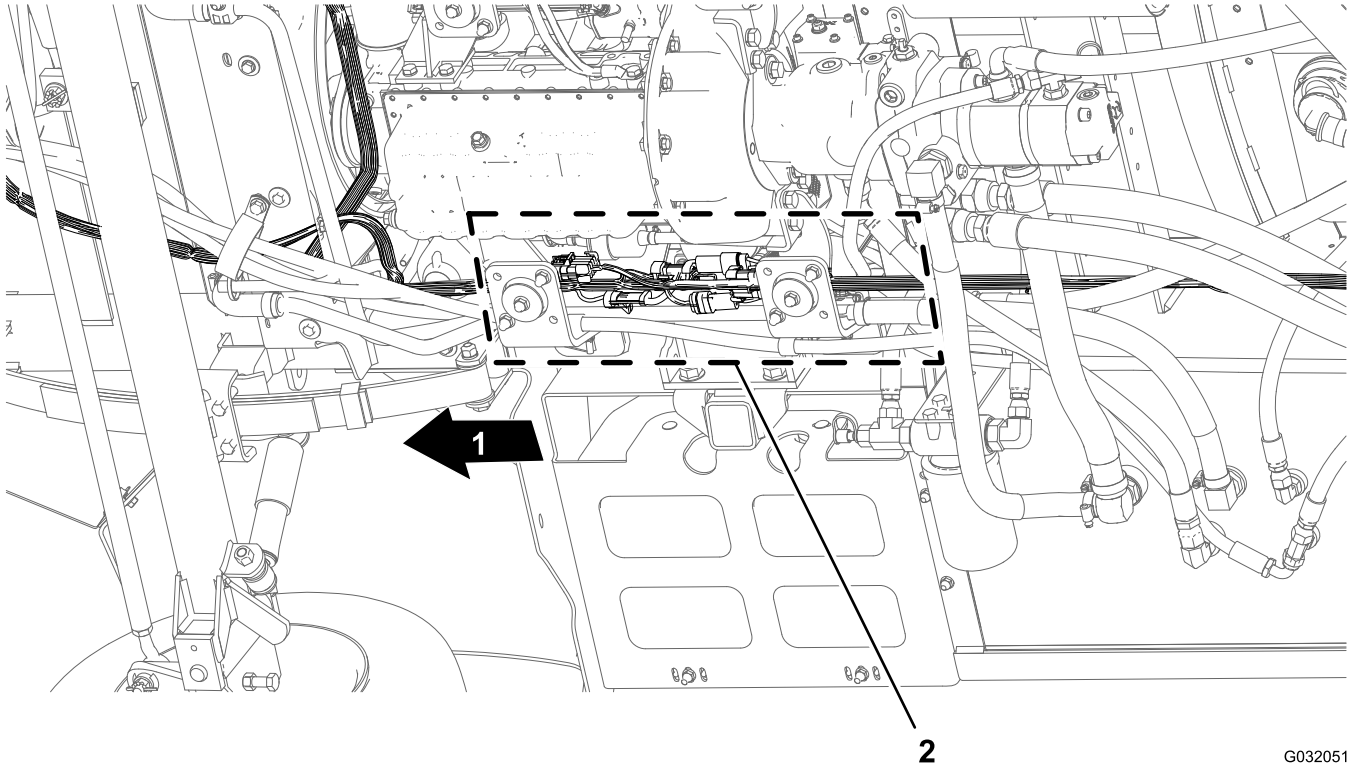
5

リアワイヤハーネスをマシンから外す

必要なパーツはありません。

フロントとリアハーネスの接続を外す

注 フロントとリアハーネスの接続を外す時は、マシンのホイスト使います。

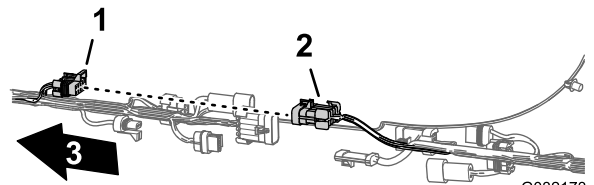


G032051
g032051

図 7

1. マシン前方
2. コネクタのインタフェースフロントとリアハーネス

1. マシンの下の右フレームチューブに沿って配設されているフロントとリアハーネスの電気コネクタを探します 図 7。
2. 図 8 図 13 に示すように、フロントとリアワイヤハーネスを接続している6組のコネクタの接続を外します。



G032173
g032173

図 8

1. 10ソケットコネクタ - スプレー用ハーネス相互接続フロントハーネス
2. 10ソケットコネクタ - スプレー用ハーネス相互接続リアハーネス
3. マシン前方

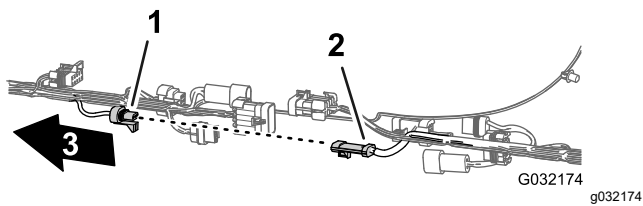


図 9

1. 3ソケットコネクタフローメータフロントハーネス
2. 3ピンコネクタフローメータリアハーネス
3. マシン前方

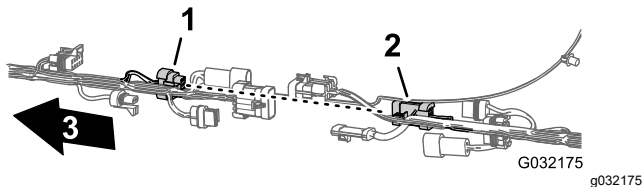


図 10

1. 8ソケットコネクタスプレーヤーハーネス相互接続 (フロントハーネス)
2. 8ピンコネクタスプレーヤーハーネス相互接続 (リアハーネス)
3. マシン前方

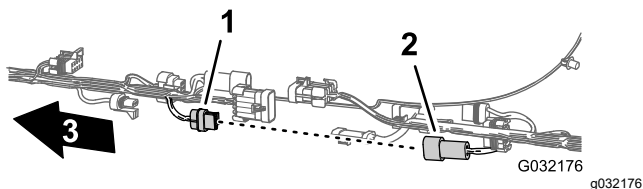


図 11

1. 2ソケットコネクタすすぎポンプフロントハーネス
2. 2ピンコネクタすすぎポンプリアハーネス
3. マシン前方

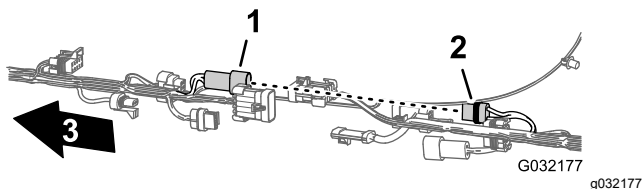


図 12

1. 2ピンコネクタホースリールフロントハーネス
2. 2ソケットコネクタホースリールリアハーネス
3. マシン前方

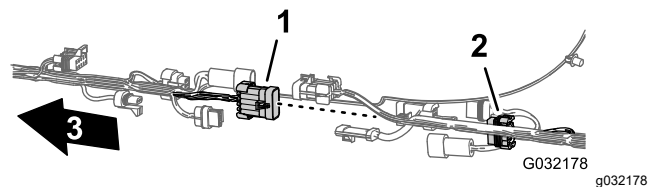


図 13

1. 10ピンコネクタスプレーヤーハーネス相互接続 (フロントハーネス)
2. 10ソケットコネクタスプレーヤーハーネス相互接続 (リアハーネス)
3. マシン前方

3. リアワイヤハーネスをマシンの右側フレームチューブの穴に固定しているプッシュファスナー3個を外す 図 14。

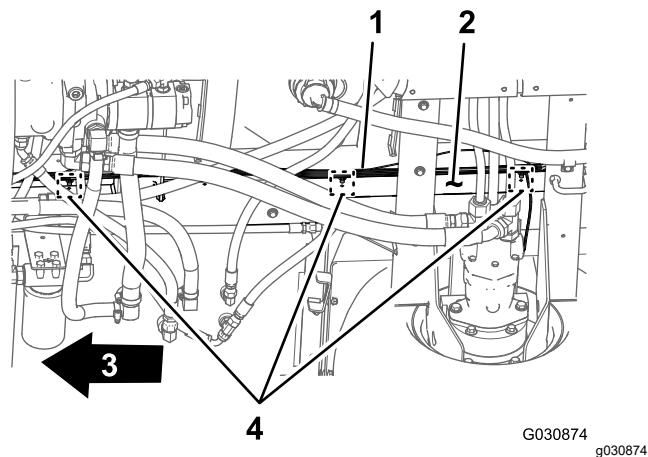


図 14

1. リアワイヤハーネス
2. 右側フレームチューブ
3. マシン前方
4. プッシュファスナー

各コンポーネントを接続しているコネクタを外す

1. マシンの後部 (右フレームチューブと右フェンダーの間) で、右油圧トラクションモーターにある速度センサーハーネスの3ピン コネクタを後部のメインハーネスの3ソケット コネクタから外す。

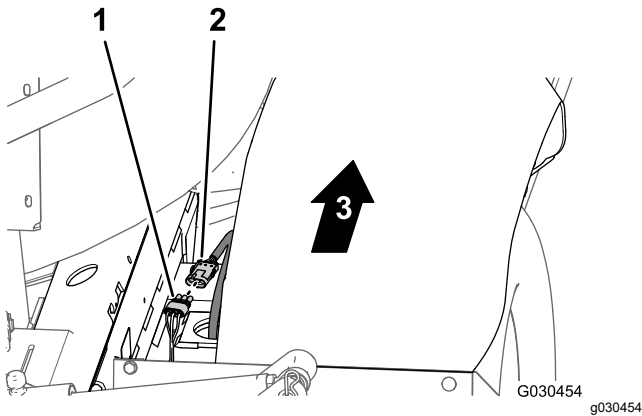


図 15

1. 3ソケットコネクタ後部、メインハーネス
2. 3ピンコネクタ油圧モータのハーネス)
3. マシン前方

2. マニホールドマウントの背面で、攪拌バルブから3ソケット コネクタを外し、3つのboom セクションバルブから3ソケット コネクタを外す。

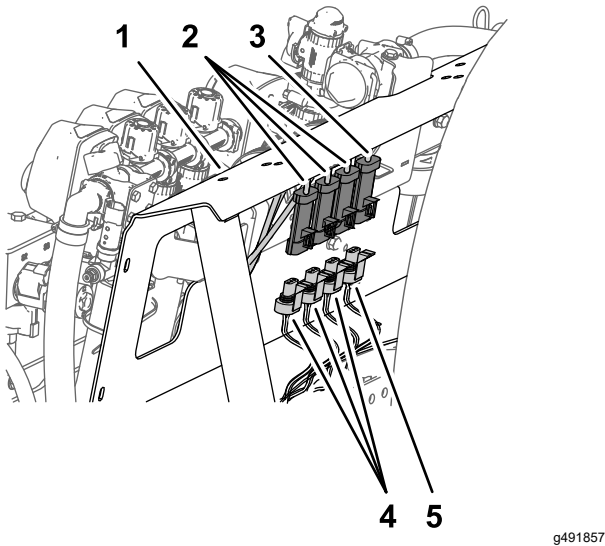


図 16

1. マニホールドマウント
2. 3ソケットコネクタboomバルブセクションバルブのハーネス
3. 3ソケットコネクタ攪拌バルブのハーネス
4. 3ピンコネクタマシンのワイヤハーネス後部
5. 3ピンコネクタマシンのワイヤハーネス後部

3. リアワイヤーハーネスをマニホールドマウントの前側と下部プレートに固定しているプッシュインファスナーを取り外す。

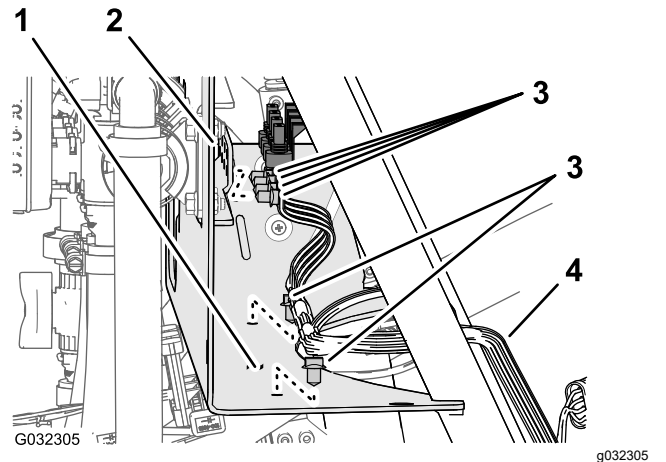


図 17

1. マニホールドマウント下部プレート
2. マニホールドマウント前側
3. プッシュファスナー
4. リアワイヤーハーネス

4. リアワイヤーハーネスの3ソケットコネクタを圧カトランスデューサーの3ピンコネクタから外す。

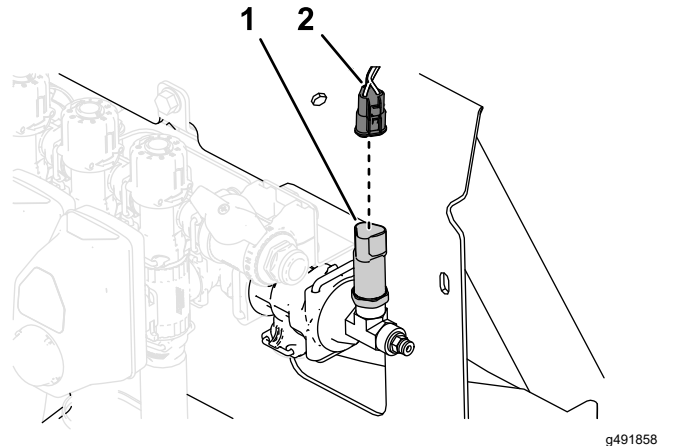


図 18

1. 3ピンコネクタ圧カトランスデューサ
2. 3ソケットコネクタリアワイヤハーネス

5. マシンの背面で、次の手順に従ってリフトシリンダーマニホールドの次の2ソケット コネクタを取り外す。

- 右—アップソレノイド
- 左—アップソレノイド
- 有効化ソレノイド
- 右—ダウンソレノイド
- 左—ダウンソレノイド

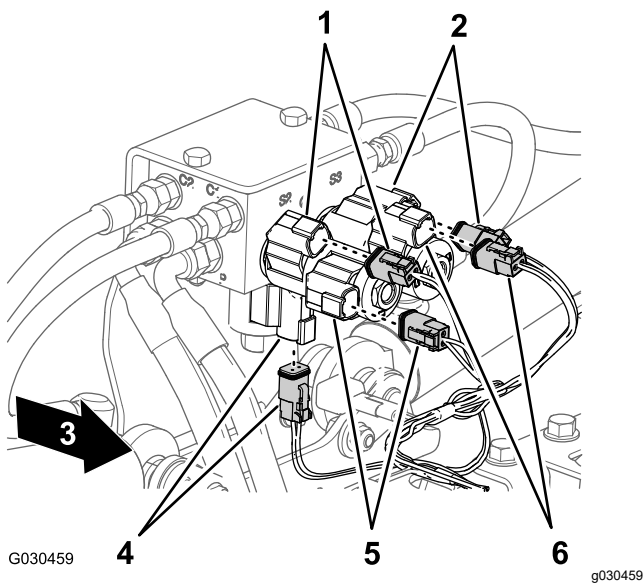


図 19

1. 右—アップ (ソレノイドとメインハーネスのコネクタ)
2. 左—アップ (ソレノイドとメインハーネスのコネクタ)
3. マシン前方
4. 有効化 (ソレノイドとメインハーネスのコネクタ)
5. 右—ダウン (ソレノイドとメインハーネスのコネクタ)
6. 左—ダウン (ソレノイドとメインハーネスのコネクタ)

6. マシンの後部、スプレーポンプの内側で、後部のメインハーネスの2ソケットコネクタをポンプ用リレーの2ピン コネクタから外す。

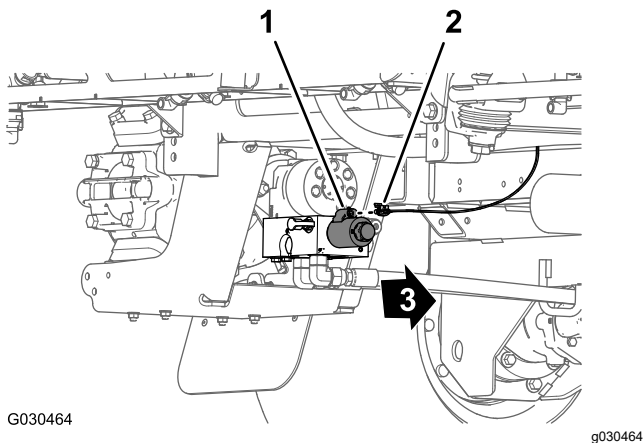


図 20

1. 2ピンコネクタポンプ用リレー
2. 2ソケットコネクタ後メインハーネス
3. マシン前方

7. リアワイヤーハーネスをリアクロスチューブ油圧トラクションモーターの後方の穴に固定しているプッシュインファスナーを取り外す。

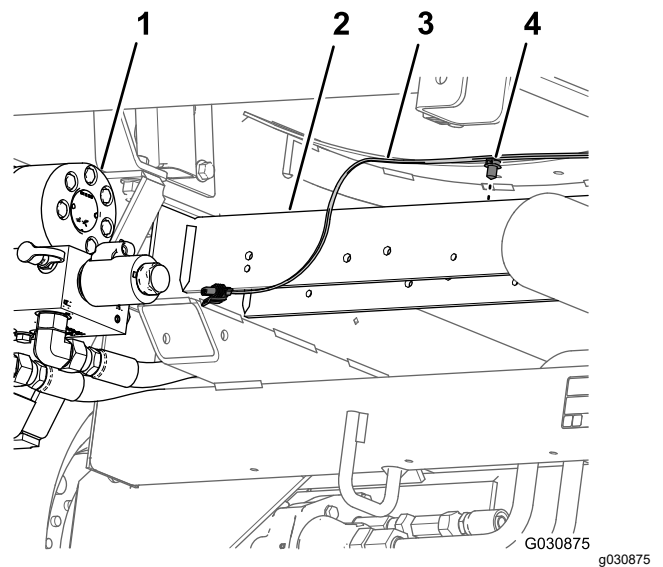


図 21

1. 散水用ポンプ
2. リアクロスチューブ
3. リアワイヤーハーネス
4. プッシュインファスナー

8. マシンのリアワイヤーハーネスからダッシュゲージ用圧力感知チューブを取り外す。

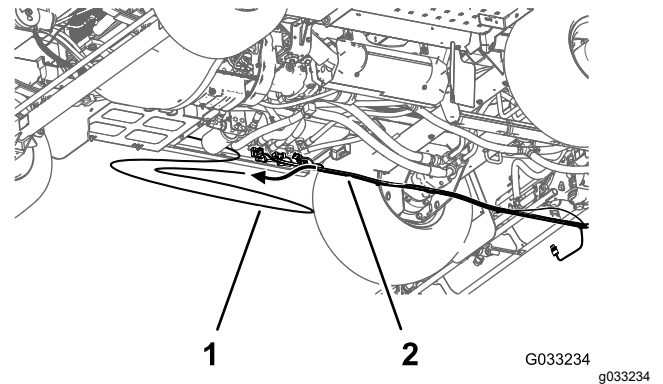


図 22

1. 圧力感知チューブダッシュゲージ
2. リアワイヤーハーネス

9. リアワイヤーハーネスをマシンから取り外す。

注 マシンから外したリアメインハーネスは廃棄して構いません。

6

レートコントロールスイッチの 取り外し

この作業に必要なパーツ

1	ケーブルタイ
1	スイッチのプラグ

手順

1. マシンのダッシュパネルの下から、レート制御スイッチのロックタブと一緒に、レート制御スイッチをダッシュパネルから押し上げます。

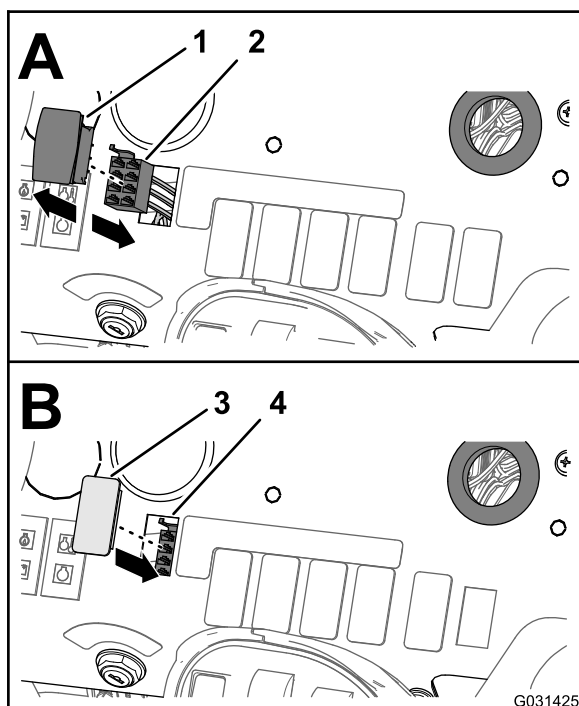


図 23

1. レート制御スイッチ
2. 8ソケットコネクタフロントハーネス
3. スwitchのプラグ
4. 穴ダッシュパネル

2. マシンのフロントハーネスの8ソケットコネクタ(「レートスイッチ」というラベルが付いている)をスイッチの8ピンコネクタから外す。

注 マシンから外したレートスイッチは、もう使用しません。

3. フロントハーネスの、レートスイッチ用の枝線を、ダッシュボードの穴から出して、配線分岐をケーブルタイでフロントハーネスに縛り付ける。

4. スwitchプラグを、プラグがパネルにしっかりとカチッと音がするまでダッシュパネルに差し込む。

7

ブームセクションバルブの取り外し

必要なパーツはありません。

セクションバルブから圧カトランスデューサを外す

注 後の取り付けや交換部品として使えるよう、全ての部品を保管しておいてください。

1. フィッティングキャップ、T字継手、および圧カトランスデューサをブームセクションのバルブの端に固定しているリテーナを取り外します。

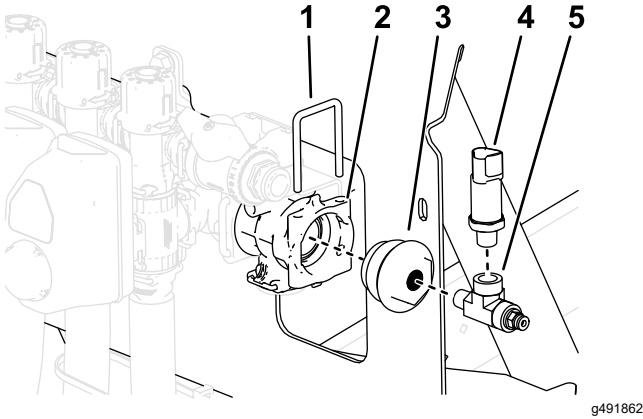


図 24

1. リテーナ
2. 右側セクションバルブエンド
3. フィッティングキャップ
4. 圧カトランスデューサ
5. T字継手

2. キャップ、トランスデューサー、T字継手を切り離す。

カップリングチューブとリデューサーアダプタを取り外す

注 特に明記されていない限り、全ての部品は後で取り付けたり、交換部品として使えるように保管しておいてください。

1. バルブマウントをマニホールドマウントに固定しているボルト、ワッシャー、ロックナットそれぞれ2個を取り外す。

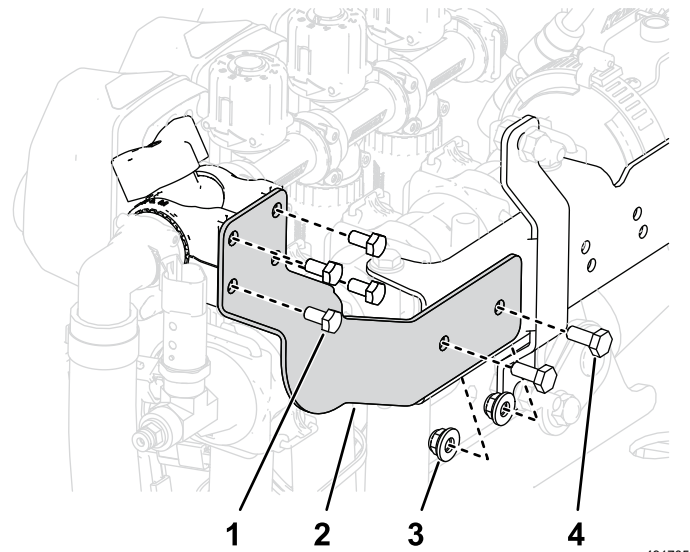


図 25

2. 3つのブームセクションバルブをマウントブラケットに固定しているフランジヘッドボルト (1/4 x 3")2本、フランジロックナット (1/4")2個、およびワッシャー4個を緩める (取り外さないこと)。

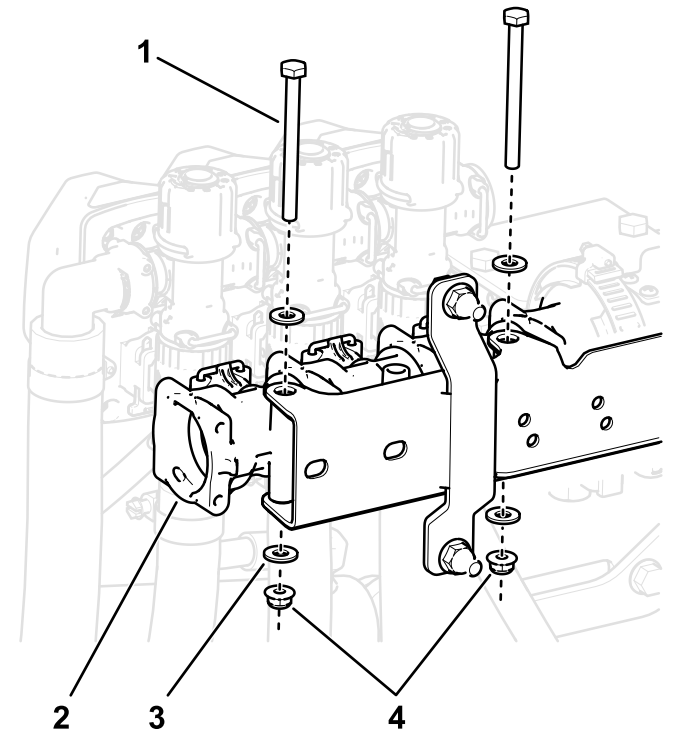


図 26

1. フランジヘッドボルト1/4 x 3"
2. セクションバルブ
3. ワッシャー1/4"
4. ロックナット1/4"

3. ブームセクションバルブ3個をフローメータに固定しているフランジクランプとガスケットを取り外す。

注 フローメータ は取り外さないこと。

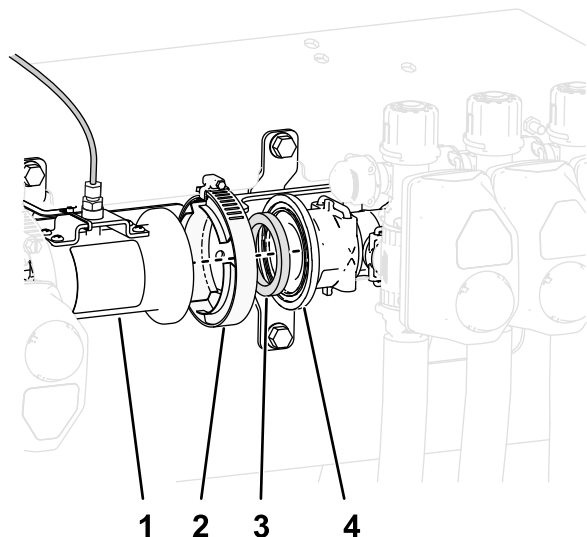


図 27

- | | |
|-----------------|----------------------|
| 1. フローメータ | 3. ガasket 外径 1-5/16" |
| 2. フランジクランプ(2") | 4. フランジ右側セクションバルブ |

5. 中央のブームセクションの下で、ブームセクションの供給ホースをバーブT字継手に固定しているホースクランプを取り外す。

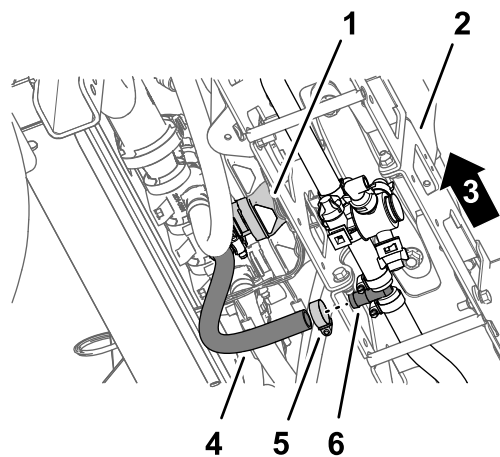


図 29

- | | |
|--------------------|---------------------|
| 1. センターブームセクションバルブ | 4. ホースセンターブームセクション) |
| 2. センターブームセクション | 5. ホースクランプ |
| 3. マシンの左側 | 6. バーブ字継手 |

ブームセクションホースを取り外す

1. 外側のブームセクションで、ブームセクションの供給ホースをバーブT字継手に固定しているホースクランプを取り外す。

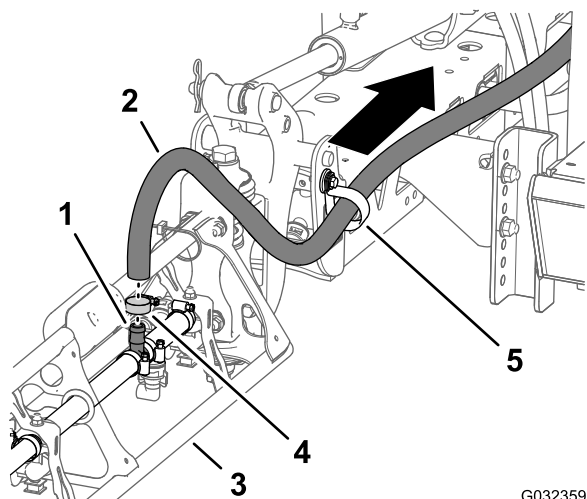


図 28

- | | |
|----------------------|------------|
| 1. バーブ字継手 | 4. ホースクランプ |
| 2. 供給ホースアウターブームセクション | 5. R クランプ |
| 3. アウターブームセクション | |

2. T字継手からホースを取り外す。
3. ホースの自由端をR クランプから取り外す。
4. もう一方のアウターブームセクションの供給ホースでも、ステップ 13 を繰り返す。

6. ストレートフィッティングをブームセクションバルブのクイックディスコネクトフィッティングに固定しているリテーナを取り外す。

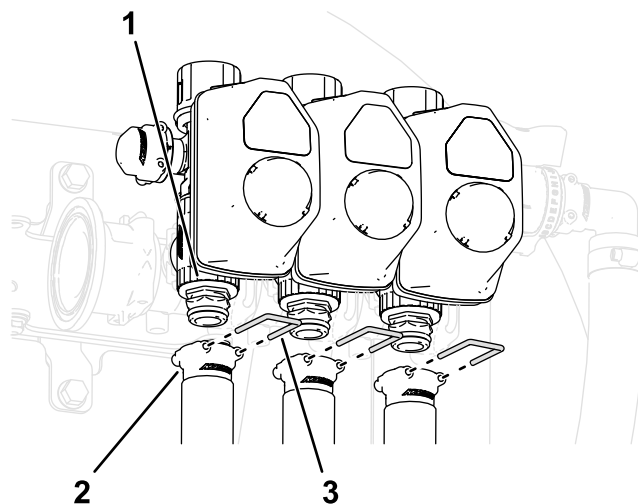


図 30

- | | |
|----------------------------------|---------|
| 1. クイックディスコネクトフィッティングブームセクションバルブ | 3. リテーナ |
| 2. バーブ付きストレートフィッティング | |

7. ブームセクションのバルブから切断されたホースを取り外す。

バイパスホースを取り外す

1. アッパーバイパスホースの下端で、フランジヘッドボルト (5/16 x 3/4")、ワッシャー (5/16")、およびアッパーバイパスホースをマシンのリアサドルプレートに固定している R クランプを取り外す。

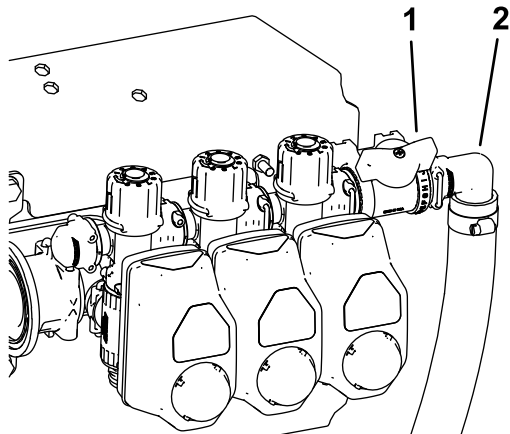
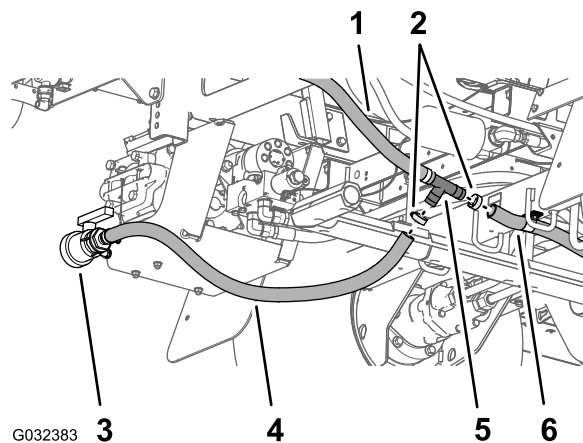


図 31

g492170

1. バイパスシャットオフバルブ
2. アッパーバイパスホースと 90°バンプフィッティング

4. ドレンバルブホースとリアタンクドレンホースをバンプ付き T 字継手に固定しているホースクランプを取り外す。



G032383

g032383

図 33

2016 年度のマシン

1. ロアバイパスホース
2. ホースクランプ
3. ドレンバルブ
4. ドレンバルブホース
5. バンプ字フ継手
6. リアタンクドレンホース

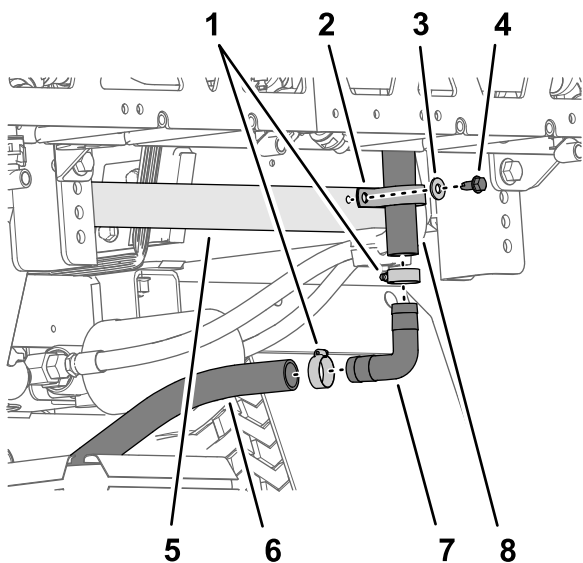


図 32

g189630

1. ホースクランプ
2. R クランプ
3. ワッシャー 5/16"
4. フランジヘッドボルト 5/16" x 3/4"
5. リアサドルプレートシャーシフレーム
6. ロアバイパスホース
7. 90°バンプ付き継手
8. アッパーバイパスホース

2. アッパーバイパス ホースとロアバイパス ホースを 90 °バンプフィッティングに固定している 2つのホースクランプを取り外して保持する。
3. 90°バンプフィッティングをホースから取り外して保持する。

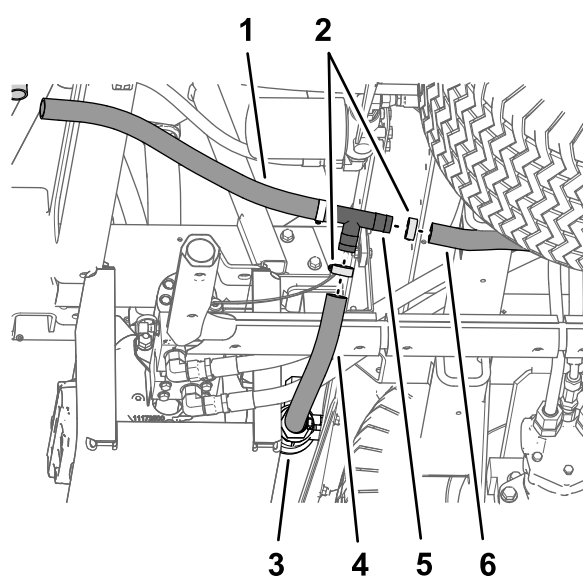


図 34

g189629

2017年以降のモデル

1. ロアバイパスホース
2. ホースクランプ
3. ドレンバルブ
4. ドレンバルブホース
5. バンプ字フ継手
6. リアタンクドレンホース

5. リアタンクのドレンのドレンバルブホースから T 字継手を取り外す。
6. バイパス ホースの 90 °バンプ付き継手を右ブームセクションバルブのバイパスバルブのクイックディスコネクトフィッティングに固定しているリテーナーを取り外し、ホースとバンプ付き継手を切り離す。

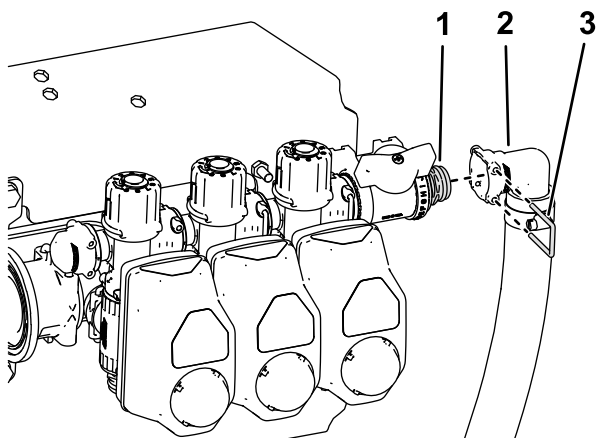


図 35

1. クイックディスコネクトフィッティングバイパスシャットオフバルブ
2. 90°バンプ付き継手
3. リターナ

g492171

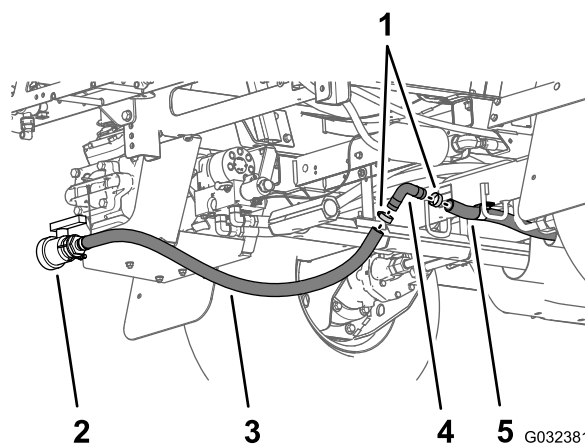


図 37

2016 年のマシン

1. ホースクランプ
2. ドレンバルブ
3. ドレンバルブのホース
4. 90°バンプ付き継手
5. リアタンクドレンホース

G032381

g032381

7. 上下のバイパスホースをマシンから取り外す。

注 取り外したシャットオフバルブ、T字継手、および上下のバイパスホースは不要です。

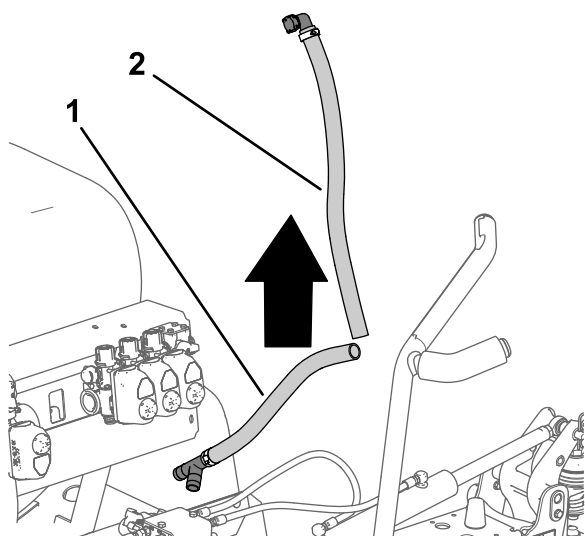


図 36

1. ロアバイパスホース
2. アッパーバイパスホース

g492172

8. バンプ付き90° フィッティングステップ 3 で外したものを、ドレンバルブホースとタンク後部ドレンホースに取り付ける。

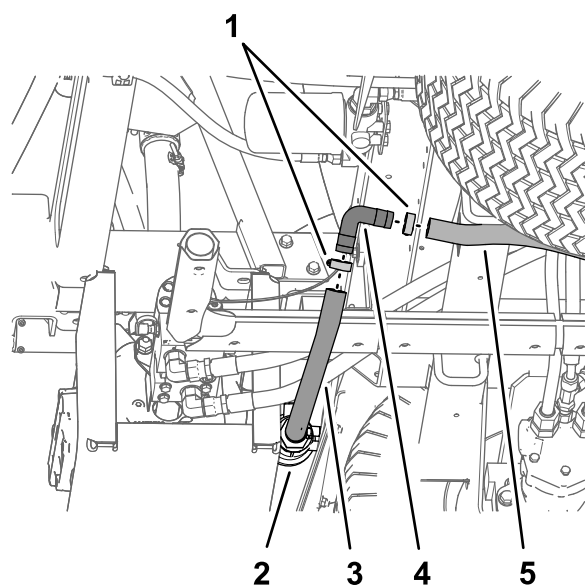


図 38

2017年以降のモデル

1. ホースクランプ
2. ドレンバルブ
3. ドレンバルブのホース
4. 90°バンプ付き継手
5. リアタンクドレンホース

g189641

9. バンプ付き90° フィッティングとドレンホース2本を固定するホースクランプステップ 2 で外したものを使用すると。

バルブアクチュエータの取り外し

1. アクチュエータをセクションバルブアセンブリのマニホールドバルブに固定しているリテーナを取り外して保持する。

注 リテーナの2本の足を寄せながら下へ押すと外れます。

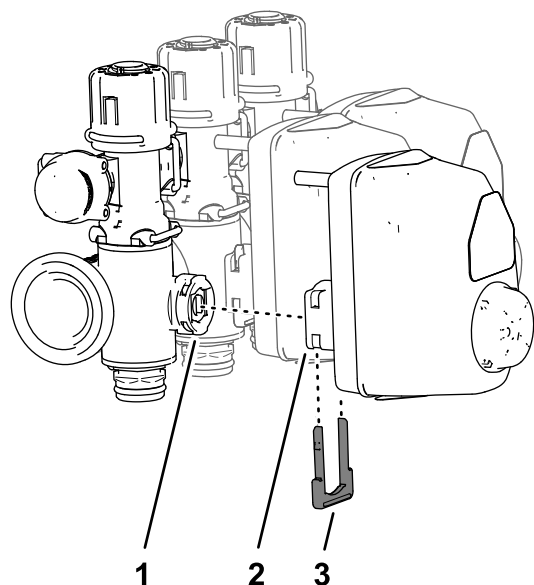


図 39

g492173

1. ステムポートマニホールドバルブ
2. アクチュエータセクションバルブ
3. リテーナ

2. アクチュエータをマニホールドバルブから取り外して保持する。
3. 他の 2 つのバルブ アクチュエータに対してこれらの手順を繰り返す。

ブームセクションバルブをマニホールドマウントから分解する

1. ブーム セクションバルブをマニホールド マウント (図 26) に固定しているボルト (1/4 x 3")2本、ワッシャー4個、およびロックナット (1/4")2個を取り外す。
2. ブームセクションバルブをマニホールドマウントから取り外し、バルブを脇に置く。

注 ブームセクションバルブは保管しておく。ボルト、ワッシャー、ロックナットは廃棄しても構いません。

8

バルブマウント、レート/セクションコントローラー、セクションバルブの取り付け

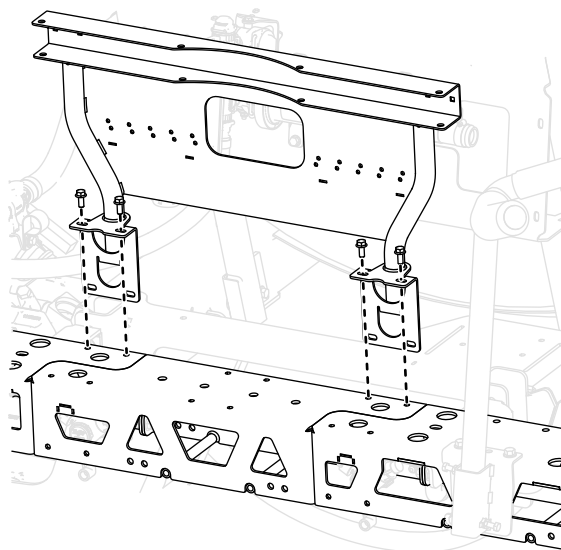
この作業に必要なパーツ

1	バルブマウントとバルブアセンブリ
1	レート/セクションコントローラー
4	マグネット
4	ボルト#8
4	ワッシャー8枚
4	ロックナット#8
2	平ワッシャー1/4"
8	フランジヘッドボルト5/16 x 3/4"
8	フランジロックナット5/16"
2	フランジヘッドボルト1/4 x 3/4"
2	フランジロックナット1/4"

バルブマウントとバルブアセンブリのマシンへの取り付け

吊り上げ装置に必要な能力: 23kg

1. 指定された容量の吊り上げ装置を使って、バルブマウントを持ち上げ、中央のブームセクションの上に位置合わせる。



g492233

図 40

1. バルブマウントとバルブアセンブリ

- バルブマウントのマウントブラケットの穴をセンターブーム部のトラスフレームの穴に合わせる。

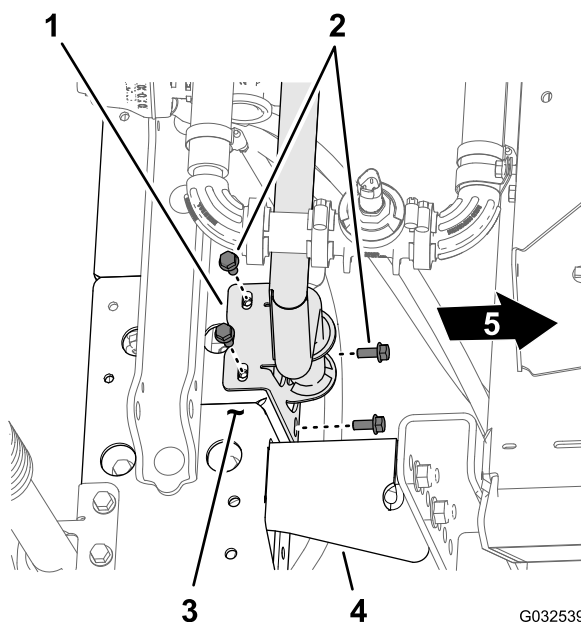


図 41

- 取り付けブラケットバルブ マウント
- フランジヘッドボルト5/16 x 3/4"
- トラスフレームセンターブームセクション)
- サポートブラケット
- マシン前方

- ボルト (5/16 x 3/4")4本とフランジ ロックナット (5/16")4個を使って、バルブ マウントをトラス フレームに組み付ける。

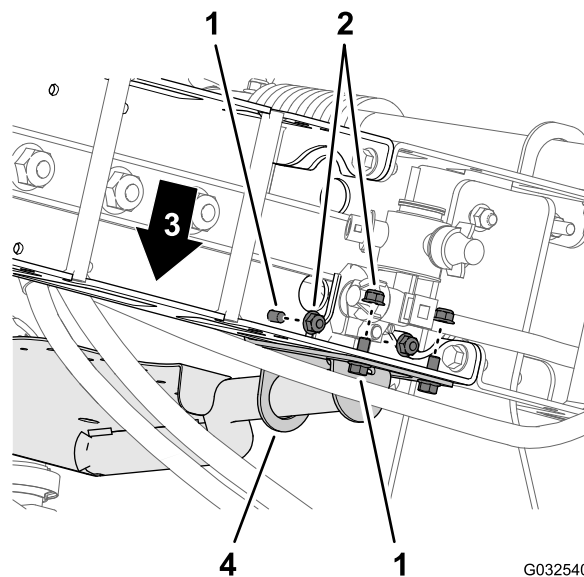


図 42

- フランジヘッドボルト5/16 x 3/4"
- フランジロックナット5/16"
- マシン前方
- 取り付けブラケットバルブ マウント

- バルブマウントの他のマウントブラケットを他のトラスフレームに対して上記の手順を繰り返す。
- フランジヘッドボルトとフランジロックナットを 1978-2542 N·cm 2.14-2.74kg.m でトルク締めする。
- キャップをマニホールドアセンブリに固定しているリテーナーを取り外し、バイパスブラケットをバルブの上部に合わせる。

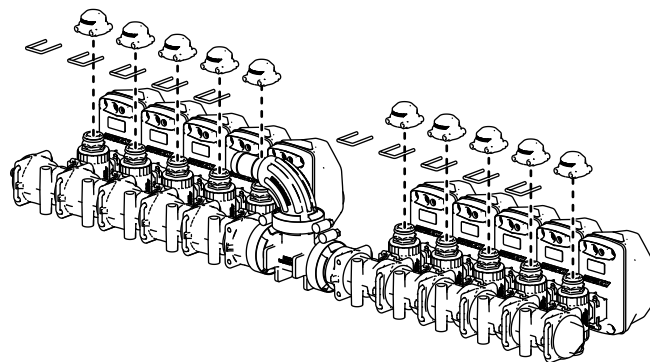


図 43

- キャップとリテーナーを取り付けてバイパスブラケットをマニホールドアセンブリに固定する。

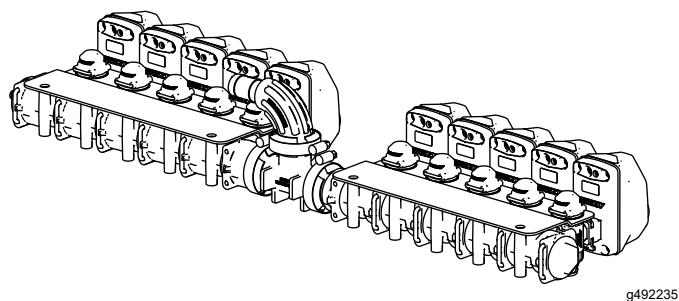


図 44

8. 図 45に示すように、ボルト (1/4 x 3")4本、ワッシャー (5/8")8枚、およびロックナット (1/4")4個を使って、バイパスブラケットとマニホールドアセンブリをバルブ マウントに組み付ける。

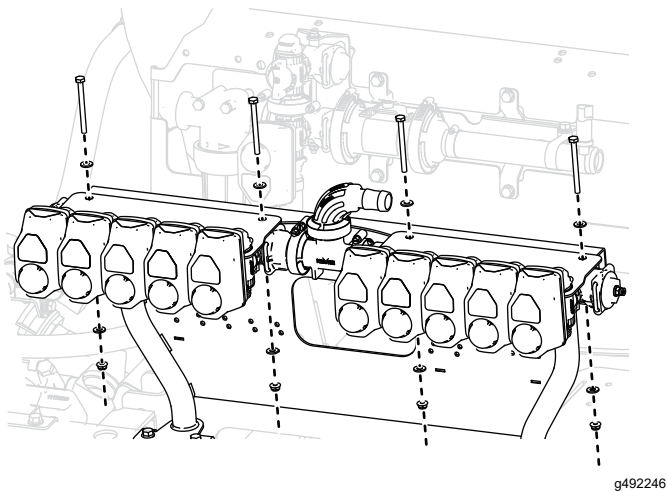


図 45

レート/セクションコントローラーのバルブマウントへの取り付け

1. ボルト(#8)4本とロックナット(#8)4個を使って、マグネットと平ワッシャー (1/4") をレート/セクションコントローラーに取り付ける。

注 さらに4分の1回転手締めして、アセンブリを固定する。締めすぎるとマグネットが損傷する可能性があります。

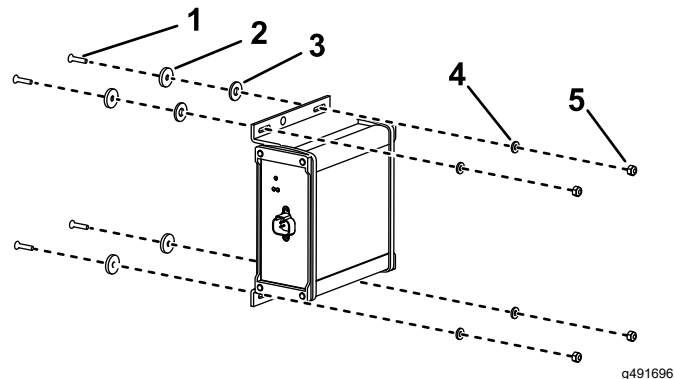


図 46

- | | |
|---------------|----------|
| 1. ボルト(#8) | 4. ワッシャー |
| 2. マグネット | 5. ナット#8 |
| 3. 平ワッシャー1/4" | |

2. コントローラーアセンブリをバルブマウント上に置く。

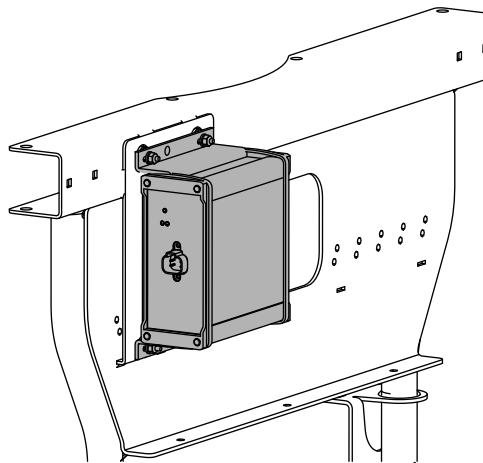


図 47

9

圧カトランスデューサーの再配置

この作業に必要なパーツ

1	バーブ付きフランジフィッティング1"
1	ホース 1x7-1/4"
4	ホースクランプ
1	圧カトランスデューサ
1	マニホルド
1	ホース 1x8-1/2"
1	R クランプ

圧カトランスデューサをマニホルドに取り付ける

1. 圧カトランスデューサおよびガスケットを備えたポート付き継手キャップをマニホルドのT字継手フランジに位置合わせする。

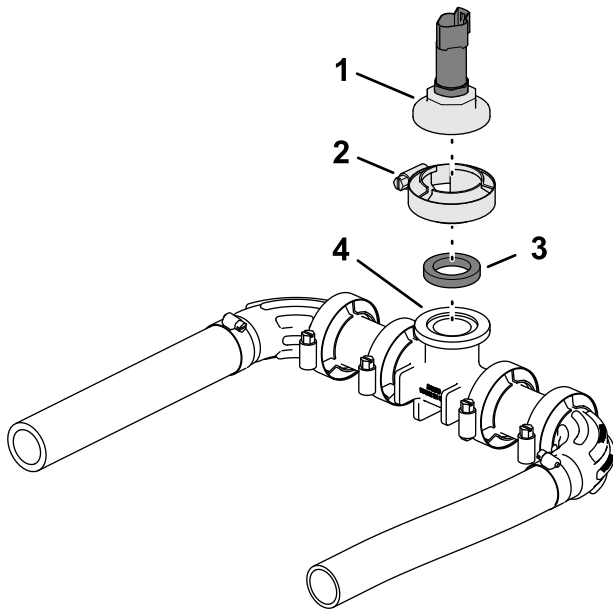


図 48

1. 圧カトランスデューサとポート付き継手キャップ
2. フランジクランプ
3. ガスケット
4. T字継手マニホルド

2. フランジクランプを使って、継手キャップとガスケットをT字継手に固定する。

圧カトランスデューサマニホルドを取り付ける

1. ホース (1x7-1/4")を圧カトランスデューサーとマニホルドのバーブエルボ継手に取り付ける。

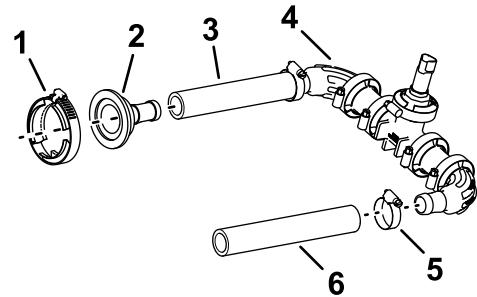


図 49

1. フランジクランプ
2. フランジからホースへのアダプターフィッティング
3. ホース 1x7-1/4"
4. 圧カトランスデューサとマニホルド
5. ホースクランプ
6. ホース 1x8-1/2"

2. ホースとバーブ付き継手をホースクランプで固定する。
3. ホース(1x 8-1/2")を圧カトランスデューサーとマニホルドのもう一方のバーブ付きエルボ継手に取り付ける。
4. ホースとバーブフィッティングをホースクランプで固定する。

圧カトランスデューサをマシンに取り付ける

1. 圧カトランスデューサーとマニホールドに取り付けられたホース (x7-1/4") をフローメーターのバープ付きフランジ継手に取り付ける。

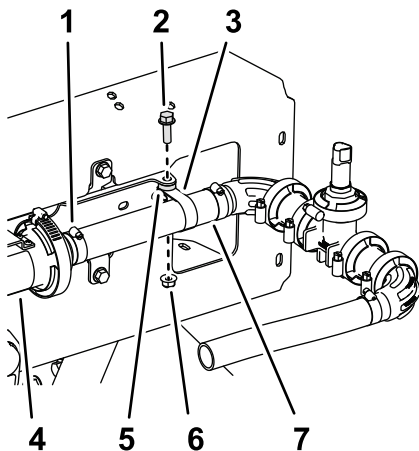


図 50

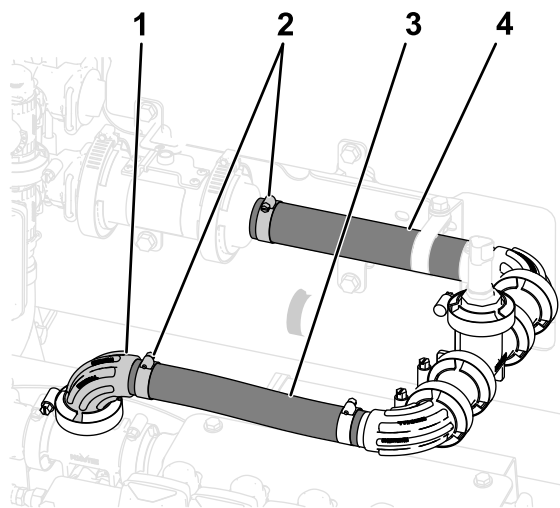
g492176

1. ホースクランプ
2. フランジヘッドボルト 1/4 x 3/4
3. R クランプ
4. フローメーター
5. スペーサ
6. フランジロックナット 1/4
7. ホース 1x7-1/4

2. ホースクランプを使ってホースをバープ付きフランジ継手に仮止めする。
3. Rクランプと付属のフランジヘッドボルト(1/4x3/4") およびフランジロックナット(1/4")を使って、圧カトランスデューサーとマニホールドをマニホールドマウントに固定する。

散水バルブマニホールドへのホースの取り付け

1. ホース (1 x 8-1/2") を 90°フランジ継手(1")に取り付ける。



g492218

図 51

1. 90度フランジ継手 1"
2. ホースクランプ
3. ホース 1x8-1/2"
4. ホース 1x7-1/4"

2. ホースクランプを使用してホースをフランジ継手に固定する。
3. ホース 1x 7-1/4" をバープ付きフランジ継手 1" に固定するホースクランプ [圧カトランスデューサをマシンに取り付ける \(ページ 22\)](#) で入れておいたものを締め付ける [図 51](#) を参照。

10

3セクションシステムのホースの取り外し

必要なパーツはありません。

手順

1. タレット間のホースを切断する。

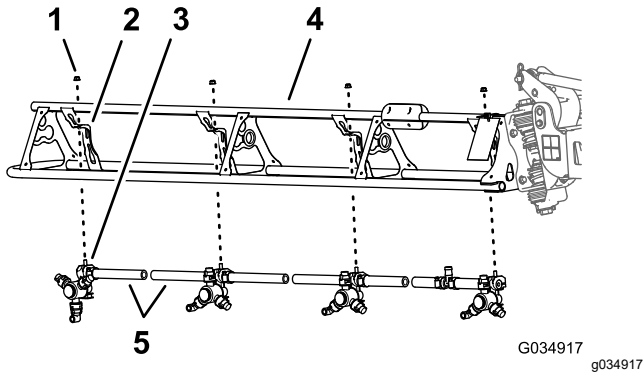


図 52

1. フランジロックナット5/16"
2. タレットサポート
3. タレット
4. アウターブームセクション
5. ホース内径3/4"

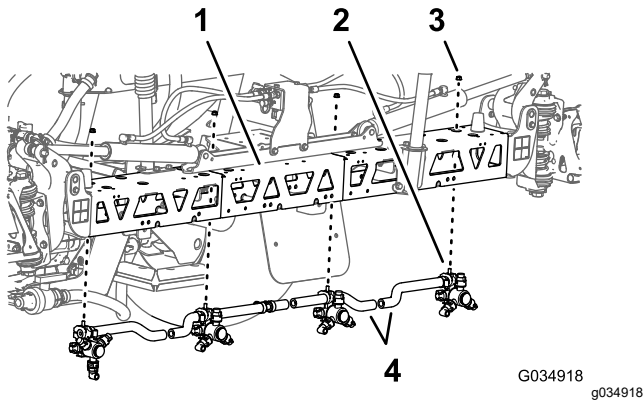


図 53

1. センターブームセクション
2. タレット
3. フランジロックナット5/16"
4. ホース内径3/4"

2. タレットをサポートに固定しているフランジロックナット(5/16")を取り外す。

注 クランプを開くと、アッパークランプから六角ヘッドボルト5/16 x 3/4"—ステンレス鋼が外れてくるので、再利用のため捨てないでください。
フランジのロックナットとタレットを保持する。
ホースバーブを廃棄し、ホースのセクションを切断する。

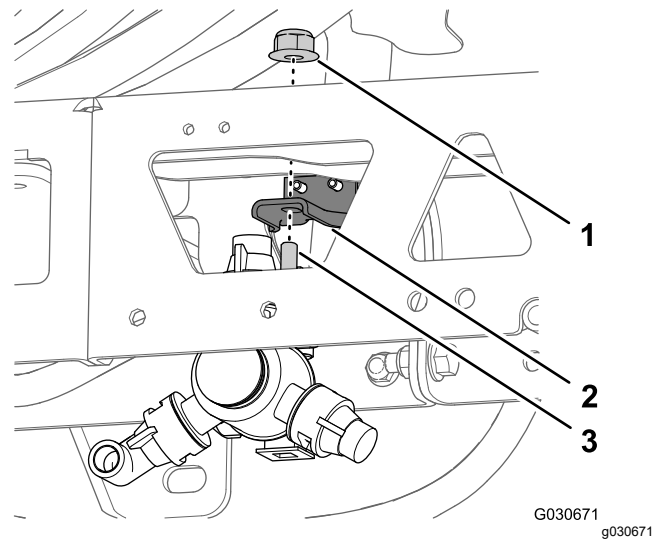
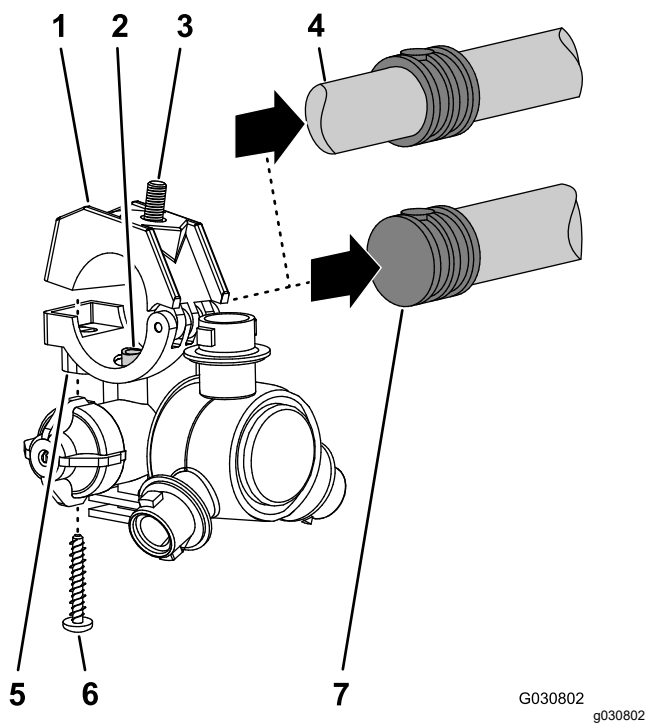


図 54

1. フランジナット (5/16")
2. タレットマウント
3. 六角ヘッドボルト5/16 x 3/4"

3. ステンレス鋼のネジ (#12 x 1-1/4") を取り外し、バースホースのシャンクを取り外す。

注 クランプを開けると、六角ボルト(5/16 x 3/4" - ステンレス鋼) がクランプ上部半分から外れてくるので、再利用のため捨てないでください。



G030802
g030802

図 55

- | | |
|-------------------------------|------------------------------|
| 1. クランプの上半分 | 5. タレット |
| 2. トランスファチューブ | 6. ステンレスねじ#12 x 1-1/4" |
| 3. 六角ボルト (5/16 x 3/4"-ステンレス鋼) | 7. 片側バーブ付きホースシャ
ンク3/4"ホース |
| 4. 両側バーブ付きホースシャ
ンク3/4"ホース | |

11

ホースの取り付け

この作業に必要なパーツ

2	供給ホース279cm
2	供給ホース234cm
4	供給ホース188cm
2	供給ホース81cm
2	R クランプ
2	ダブルRクランプ
2	シングルRクランプ

ホースをセクションバルブに組み付ける

注 バーブ付き継手はカップラに完全に差し込んでください。

リテーナーを使ってバーブ継手をカップラーに固定する。

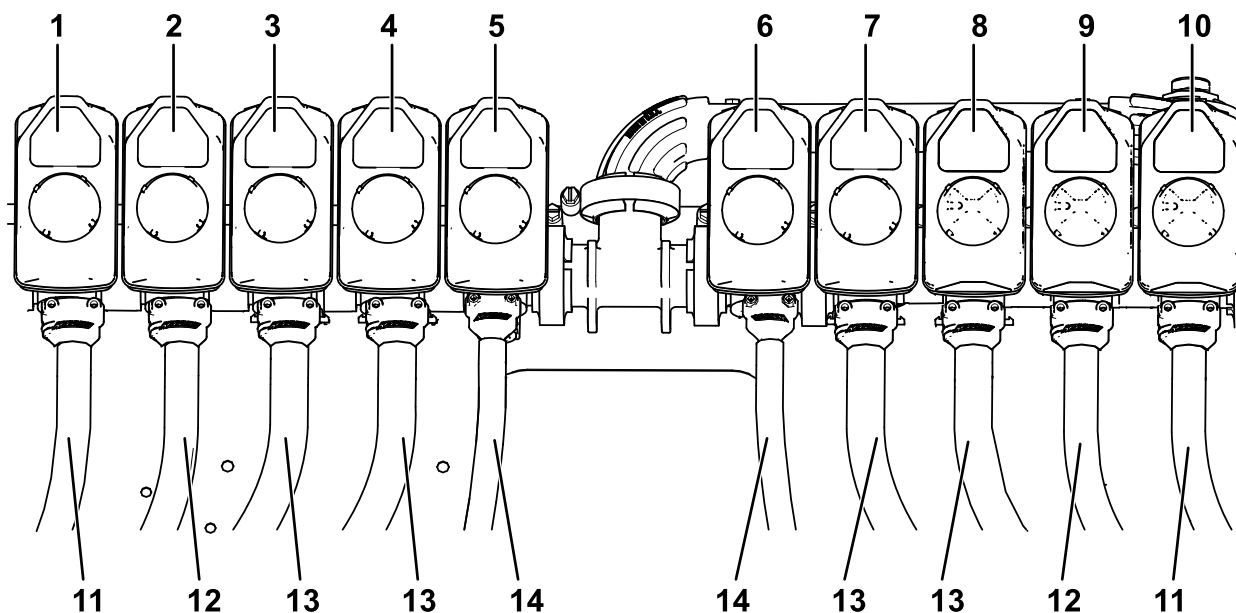


図 56

g491701

- | | | |
|--------------|----------------|----------------|
| 1. セクションバルブ1 | 6. セクションバルブ6 | 11. 供給ホース279cm |
| 2. セクションバルブ2 | 7. セクションバルブ7 | 12. 供給ホース234cm |
| 3. セクションバルブ3 | 8. セクションバルブ8 | 13. 供給ホース188cm |
| 4. セクションバルブ4 | 9. セクションバルブ9 | 14. 供給ホース81cm |
| 5. セクションバルブ5 | 10. セクションバルブ10 | |

注 供給ホース アセンブリ81cmには、2本の分岐ホースと2本のシングルバーブ ホースシャंकを備えたT字継手が付いています。

ブームセクション	セクションバルブ	ノズル	供給ホース
左	1	1	279cm
	2	2	234 cm
	3	3	188cm
	4	4	188cm
センター	5	5と6	81cm
	6	7と8	81cm
右	7	9	188cm
	8	10	188cm
	9	11	234 cm
	10	12	279cm

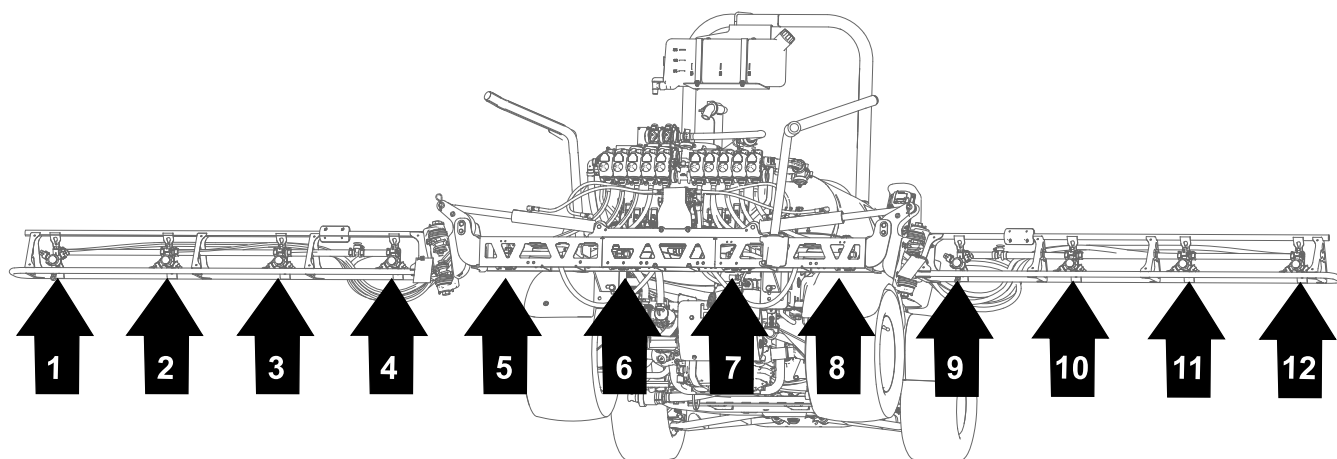
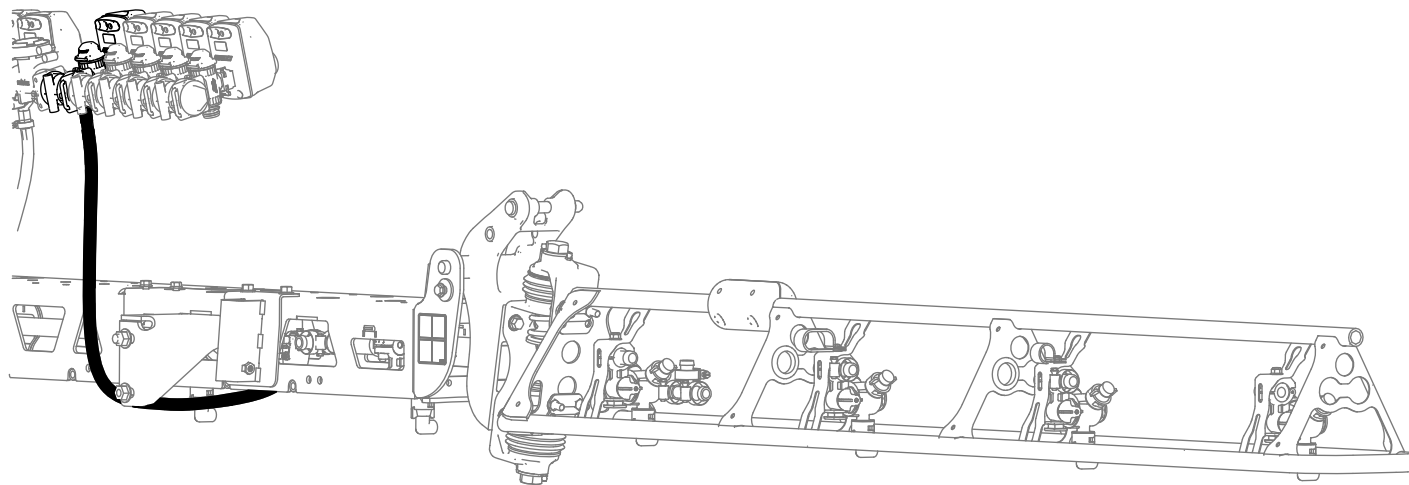


図 57
ノズル位置

g491702

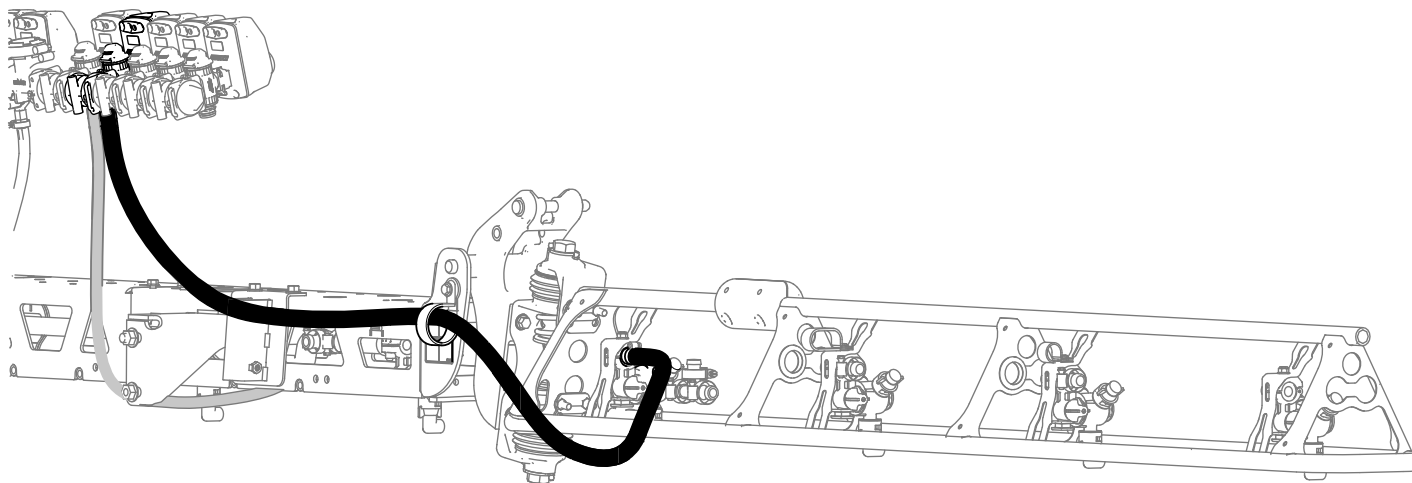
ホースの配設

ホースの配設に図 58スルー図 62を使用する。片面のみが表示される。配設は両側で同じ。



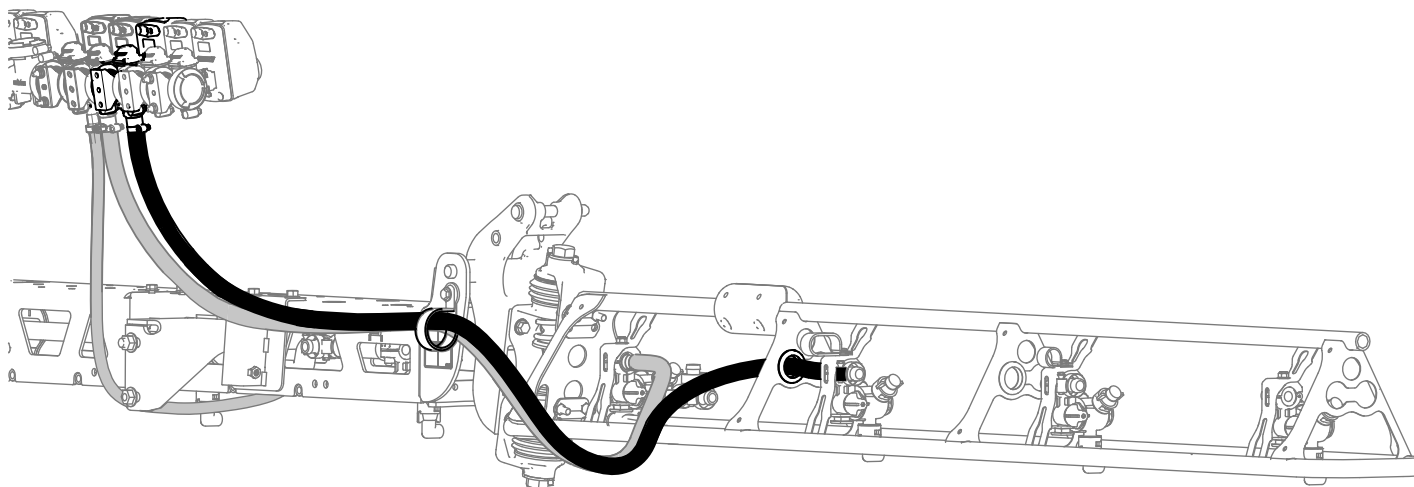
g491703

図 58
81cmホース



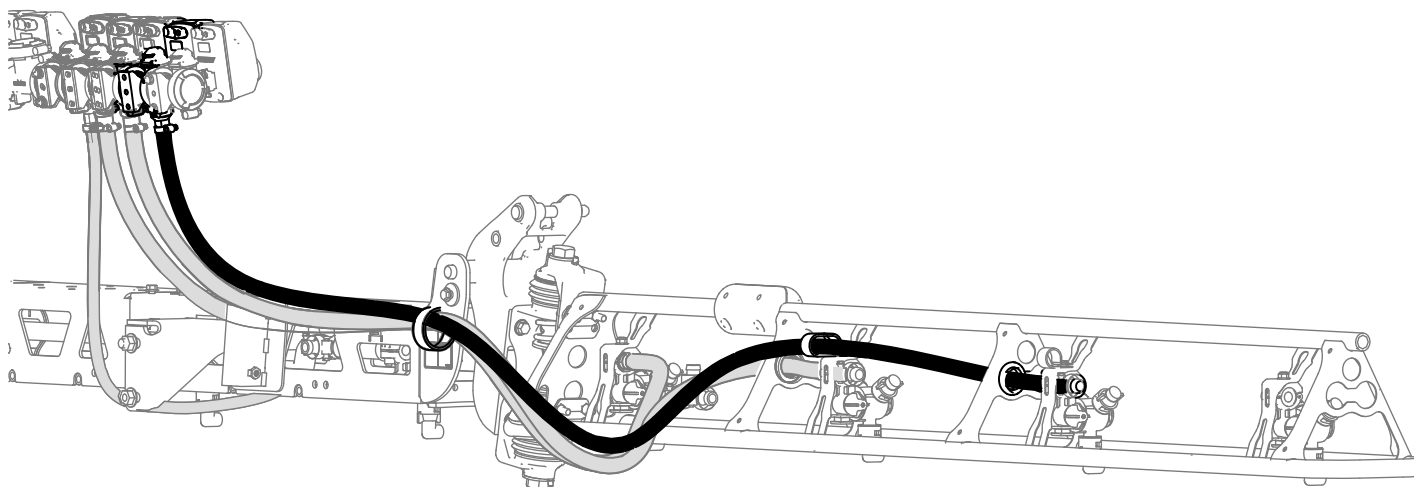
g491704

図 59
188cmホース



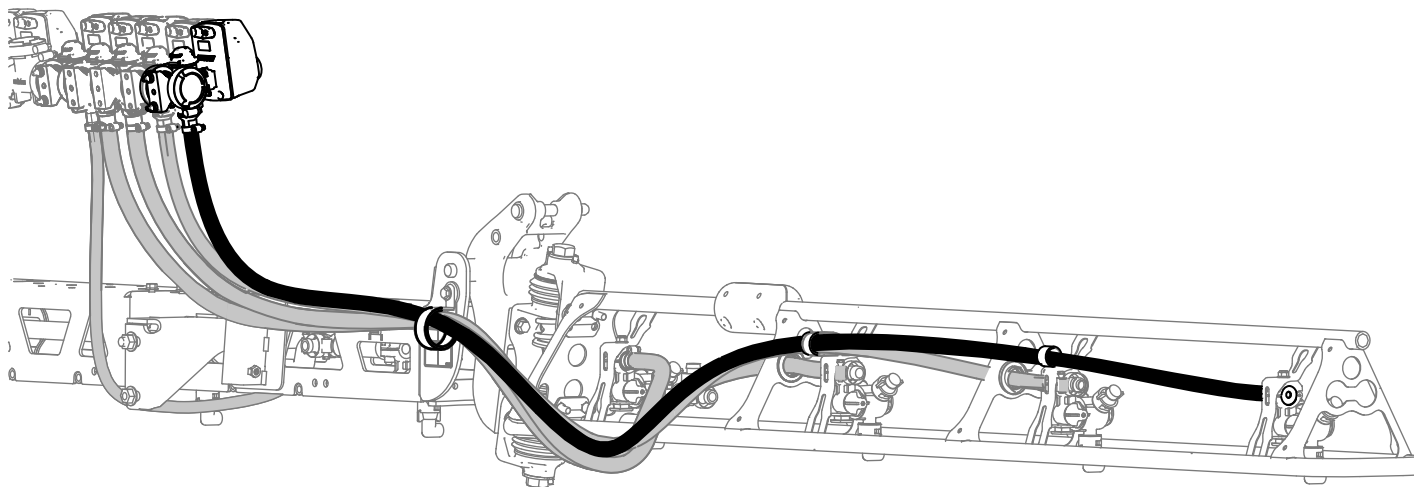
g414000

図 60
188cmホース



g414001

図 61
234cmホース



g414002

図 62
279cmホース

アウターブームセクションへのタレットの取り付け

1. トランスファーチューブをタレットのサドルに合わせる [単一のバーブ付きホースシャンク (1/2") の側面の穴に合わせて]。

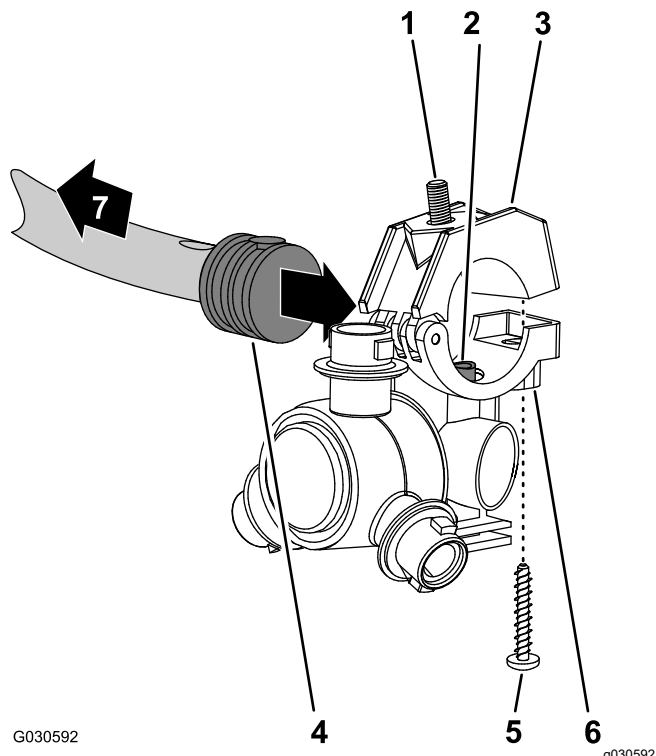


図 63

- | | |
|--------------------------------|-------------------------|
| 1. 六角ヘッドボルト 5/16 x 3/4" ステンレス鋼 | 5. ステンレスねじ #12 x 1-1/4" |
| 2. トランスファチューブ | 6. タレット |
| 3. クランプの上半分 | 7. スプレーセクションへ |
| 4. シングルバーブ付きホース シャンク 1/2" | |

2. バーブホースのシャンクの周りでクランプの上半分を閉じ、ステンレス鋼のネジ (#12 x 1-1/4") でクランプの半分とタレット本体を固定する。ステンレス鋼のネジを 1418N・m (1.51.9kgm) のトルクで締め付ける。

注 クランプを閉じるときに、六角ヘッドボルト 5/16 x 3/4" がクランプの上半分のくぼみにきちんとはまっていることを確認する。

3. 先に取り外したフランジロックナット (5/16") を使って、タレットをマウントに固定する。

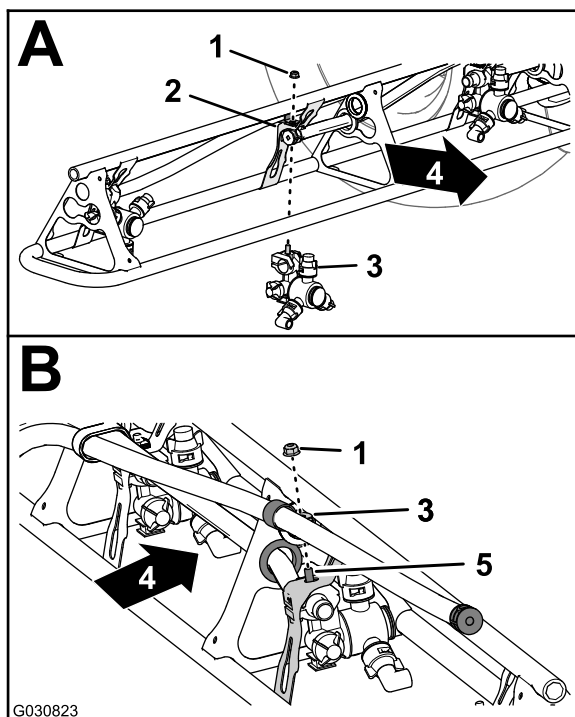


図 64

- | | |
|---------------------|-------------------------------|
| 1. フランジロックナット 5/16" | 4. マシン後方 |
| 2. タレットマウント | 5. 六角ヘッドボルト ステンレス 5/16 x 3/4" |
| 3. タレット | |

4. フランジロックナットを、19.78-25.42N・m 2.0-2.6kg.m にトルク締めする。

センターブームセクションでの供給ホースの配設

1. ホースとバーブ付きカプラー 13 x 810mm が、センターセクションの左右のサポートブラケットの間のセンターブームセクションの前側に位置合わせされていることを確認する。
2. 13 mm のホースとバーブ付きホースシャンクを外側トラスのトラスプレースの間に配設する。

3. タレットのサドルにあるトランスファーチューブを、シングルバーブ付きホースシャンク (1/2") の側面にある穴に合わせる。
4. バーブ付きホースシャンクの周りのアッパークランプ半分を閉じ、ステンレス鋼ネジ (#12 x 1-1/4") でクランプ半分と散水ノズル本体を固定する。ステンレス鋼ネジを 226 282N·cm (0.240.3kgm) でトルク締めする。

重要 ステンレス製のネジを締めすぎないようにする。

注 クランプを閉じるときに、六角ヘッドボルト 5/16 x 3/4" がクランプの上半分のくぼみにきちんとはまっていることを確認する。

5. センターブームセクションの他のホースアセンブリ (散水バルブ 5 または 6) のシングルバーブ付きホースシャンクに対して手順2から4を繰り返す。

センターブームセクションへのタレットの取り付け

1. 先に取り外したタレットの六角ボルト (5/16 x 3/4") をマウントの穴に位置合わせし、フランジロックナット (5/16") でタレットをマウントに仮止めする。

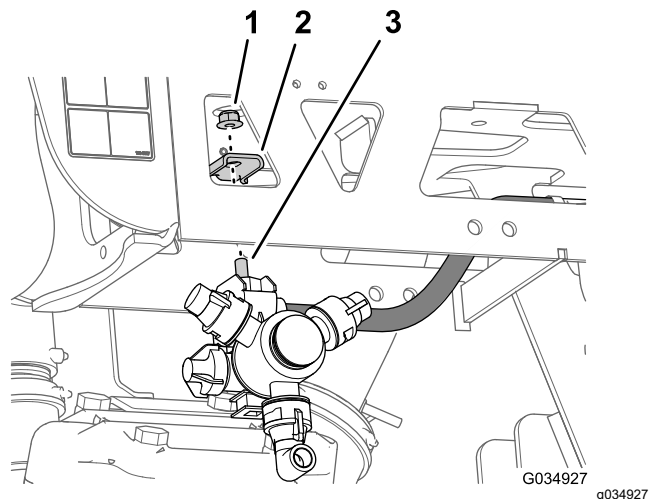


図 68

1. フランジロックナット 5/16" 3. 六角ヘッドボルト 5/16 x 3/4" ステンレス鋼
2. タレットマウント外側

2. 中央ブームセクションの他の3つのタレットに対して上記の手順を繰り返す。
3. フランジロックナットを、1978 2542N·cm 2.02.6kg.m でトルク締めする。

12

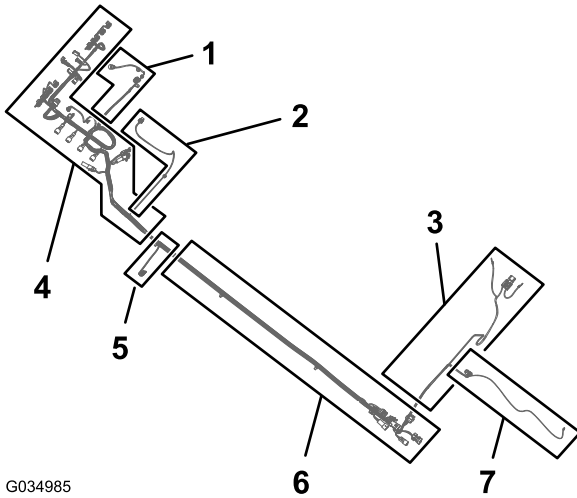
リアワイヤハーネスのマシンへの取り付け

この作業に必要なパーツ

1	リアワイヤハーネス
3	ケーブルタイ

フレームチューブに沿ってワイヤハーネスを配設

1. 新しい電気ハーネスの165cmの分岐と203cmの分岐を見つける。



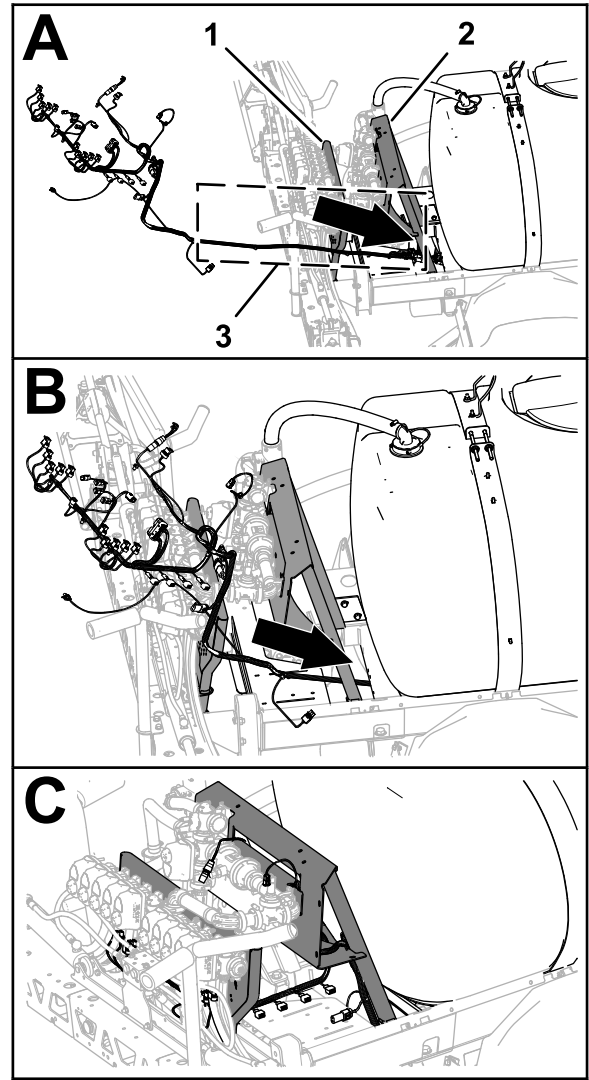
G034985

g034985

図 69

1. 81cm のワイヤーハーネス枝線—フローメータと攪拌バルブ
2. 86cm のワイヤーハーネス枝線—散水ポンプのソレノイド
3. 165cm のワイヤーハーネス枝線—リング端子とヒューズ番号なし
4. 203cm のワイヤーハーネス枝線—ASC10, 昇降シリンダのソレノイド, ノズルバルブ 1 10
5. 33cmワイヤーハーネスの分岐 - 速度センサー
6. 170cm のワイヤーハーネス枝線—フロントハーネスインターフェイスコネクタ
7. 81cmワイヤーハーネス分岐 - 散水ポンプ遮断回路

2. 新しい電気ハーネスの165cm分岐と203cm分岐を10個の散水バルブのバルブマウントとマニホルドマウントの右サポートの間に配設する。



g492806

図 70

1. バルブマウント散水バルブ 3. 165cm の枝線と203cm の枝線電気ハーネス
2. マニホルドマウント
3. 電気ハーネスの165 cmの分岐と203cmの分岐を右フレーム チューブに沿って前方に配設する。

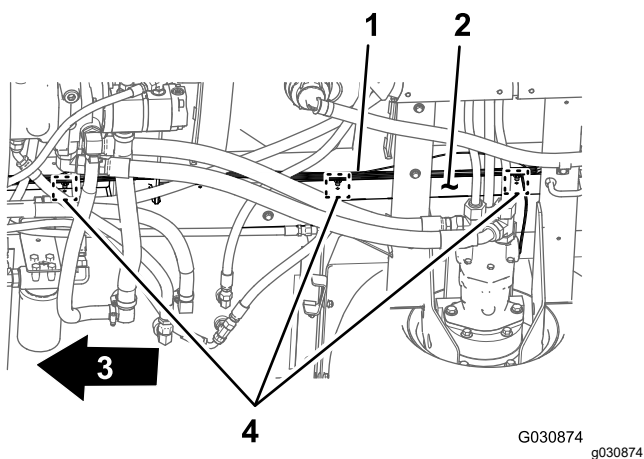


図 71

1. リアワイヤーハーネス— 203cm の枝線
2. 右側フレームチューブ
3. マシン前方
4. 押し込み型ファスナとケーブルタイの位置

4. リアワイヤーハーネスの203cm分岐の押し込み型ファスナーを、古いリアハーネスの押し込み型ファスナーを取り外した右フレーム チューブの穴に挿入する。フロントとリアハーネスの接続を外す (ページ 9) の手順3を参照方。

前後のワイヤーハーネス接続する

注 前後のワイヤーハーネスの接続を行う時は、ホイストでマシンを持ち上げて行うこと。

1. マシンの下から、右側のフレームチューブに沿って、マシンの前後のワイヤーハーネスの電気コネクタを見つける。

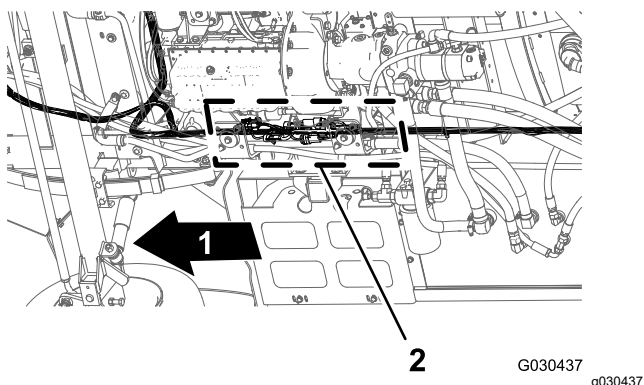


図 72

1. マシン前方
2. コネクタのインタフェースフロントとリアハーネス

2. 散水ハーネス相互接続用のフロントハーネスの10ソケットコネクタを、散水ハーネス相互接続用のリアハーネスの10ピンコネクタに接続する (図 73)。

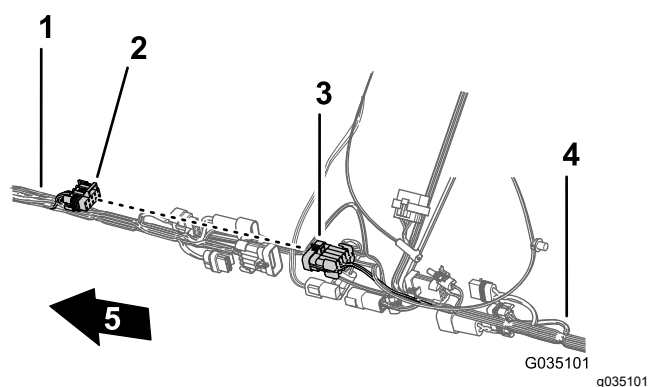


図 73

1. フロントワイヤーハーネス
2. 10ソケットコネクタ - 散水ハーネス相互接続 (フロントハーネス)
3. 10ピンコネクタ - 散水ハーネス相互接続 (リアハーネス)
4. リアワイヤーハーネス
5. マシン前方

3. 散水ハーネス相互接続用のフロントハーネスの8ピンコネクタを、レートスイッチ用のリアハーネスの8ソケットコネクタに接続する。

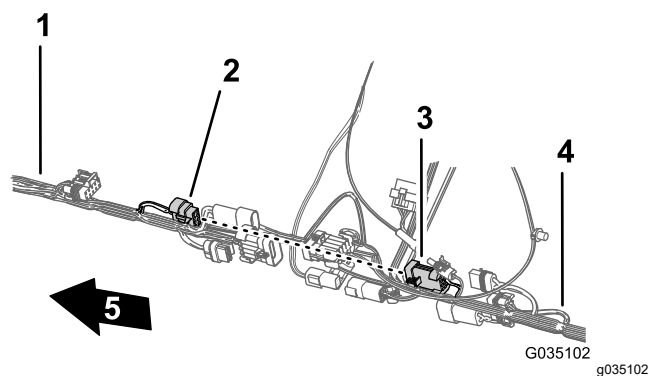


図 74

1. フロントワイヤーハーネス
2. 8ピンコネクタ - 散水ハーネス相互接続 (フロントハーネス)
3. 8ソケットコネクタ - レートスイッチリアハーネス
4. リアワイヤーハーネス
5. マシン前方

4. すずぎポンプ用フロントハーネスの2ピンコネクタをすずぎポンプ用リアハーネスの2ソケットコネクタに接続する。

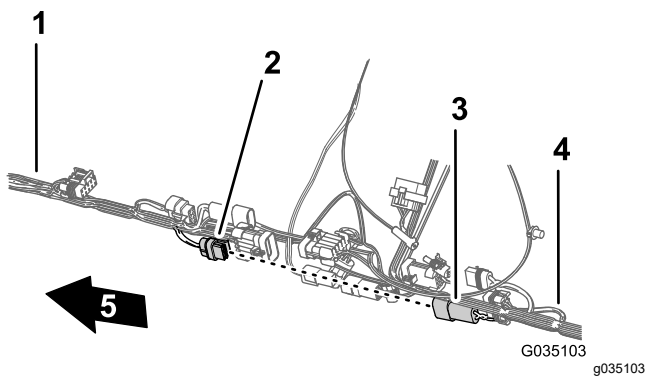


図 75

1. フロントワイヤハーネス
2. 2ソケットコネクタすぎポンプリアハーネス
3. 2ピンコネクタすぎポンプフロントハーネス
4. リアワイヤハーネス
5. マシン前方

5. ホースリール電源用のフロントハーネスの2ピンコネクタを、ホースリール電源用のリアハーネスの2ソケットコネクタに接続する。

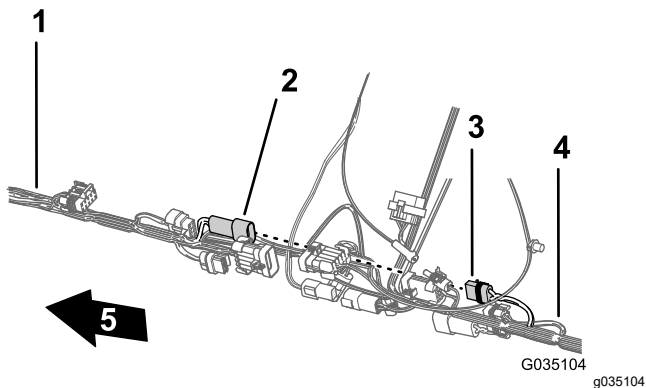


図 76

1. フロントワイヤハーネス
2. 2ピンコネクタホースリールフロントハーネス
3. 2ソケットコネクタホースリールリアハーネス
4. リアワイヤハーネス
5. マシン前方

6. 散水ハーネス相互接続用のフロントハーネスの10ピンコネクタを、散水ハーネス相互接続用のリアハーネスの10ソケットコネクタに接続する。

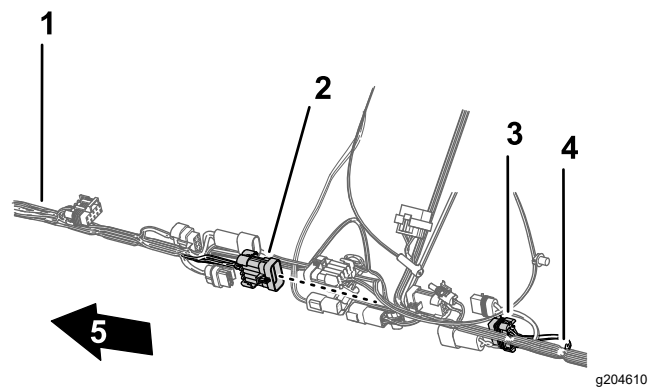


図 77

1. フロントワイヤハーネス
2. 10ピンコネクタ - 散水ハーネス相互接続 (フロントハーネス)
3. 10ソケットコネクタ - 散水ハーネス相互接続 (リアハーネス)
4. リアワイヤハーネス
5. マシン前方

7. ナビゲーション用電気ハーネスとデータ用ハーネスの接続を容易にするために、リアワイヤハーネスの1ソケットコネクタとリアワイヤハーネスの4ソケットコネクタがハーネスの上部に揃うようにする。

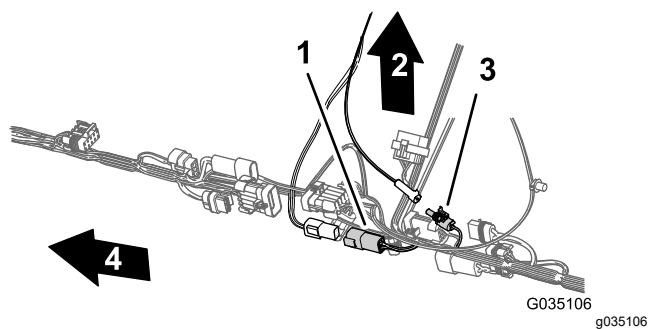


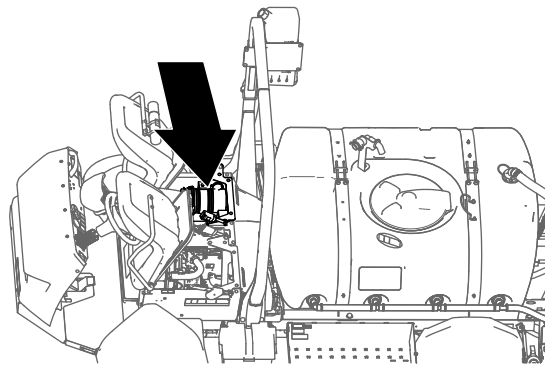
図 78

1. 4ソケットコネクタリアワイヤハーネス
2. マシンの上方
3. 1ソケットコネクタリアワイヤハーネス
4. マシン前方

8. リアワイヤハーネスのポンプ中断リレーをシートサポート用アングル部材の右側サポートに固定する。

ダッシュゲージの圧力感知チューブをリアワイヤーハーネスに沿って配設

1. ダッシュゲージの圧力感知チューブをマシンのリアワイヤーハーネスに沿って配設する。



g191268

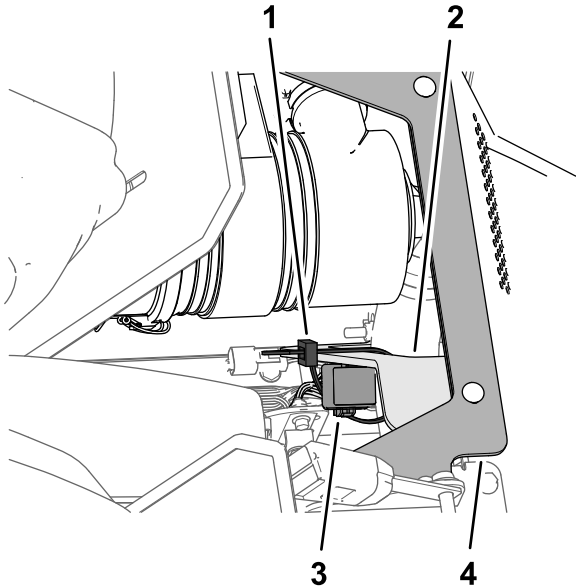
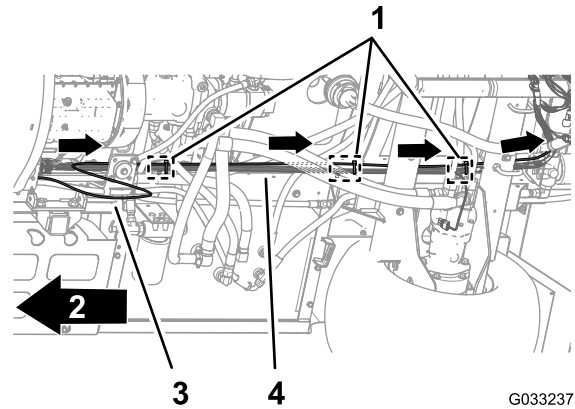


図 79

- | | |
|-----------|-------------------|
| 1. ケーブルタイ | 3. ポンプの中断リレー |
| 2. 右側サポート | 4. シートサポート用アングル部材 |



G033237

g033237

図 80

- | | |
|---------------------------------------|---------------|
| 1. ケーブルタイ (押し込み型ファスナ3個—シャーシのアンカーポイント) | 3. 圧力検知チューブ |
| 2. マシン前方 | 4. リアワイヤーハーネス |

2. リアワイヤーハーネスのシャーシアンカーポイントにある押し込み型ファスナ3個に隣接する3本のケーブルタイを使って、感圧チューブをリアワイヤーハーネスに固定する。

重要 感圧チューブをつまんだり潰したりしないこと。ケーブルタイはチューブを支えるのに十分な量以上は締めないこと。

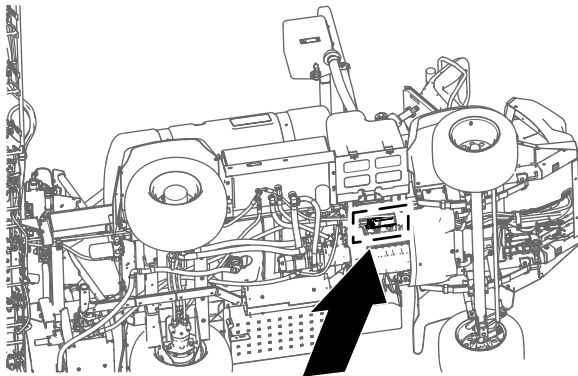
13

エンジンコントロールモジュールと取り付けブラケットの取り付け

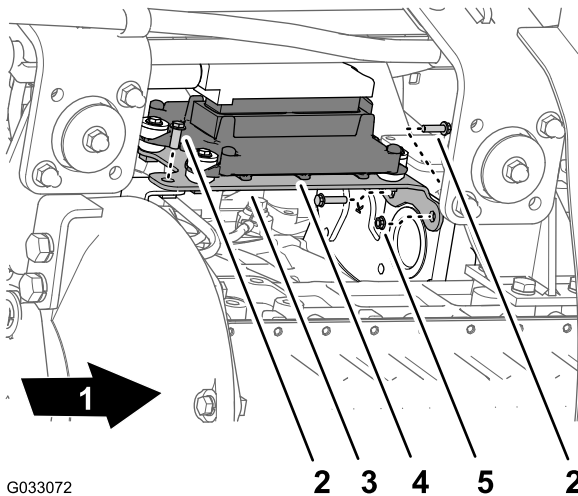
必要なパーツはありません。

手順

1. エンジンコントロールモジュールの取り付けブラケットの穴を、エンジンのサポートブラケットおよびエンジンのアクセサリケースの穴に合わせる。



g189642



G033072

g033072

図 81

1. マシン前方
 2. フランジヘッドボルト
 3. 取り付けブラケット
 4. エンジン制御モジュール
 5. フランジナット
2. **3 エンジンコントロールモジュールと取り付けブラケットの取り外し (ページ 8)**のステップ1で取り外したフランジヘッドボルトと3本とフランジナット1個を使って、取り付けブラケットをエンジンに組み付ける。ボルトとナットを手締めする。

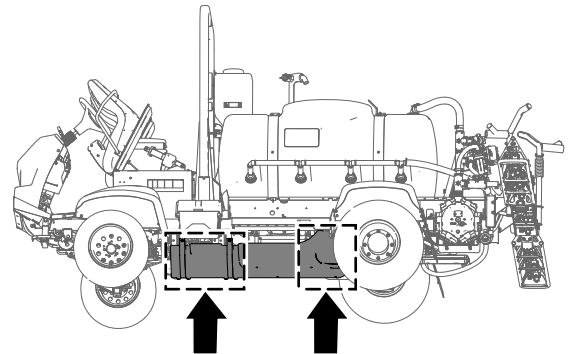
14

キャリッジ下シュラウドの取り付け

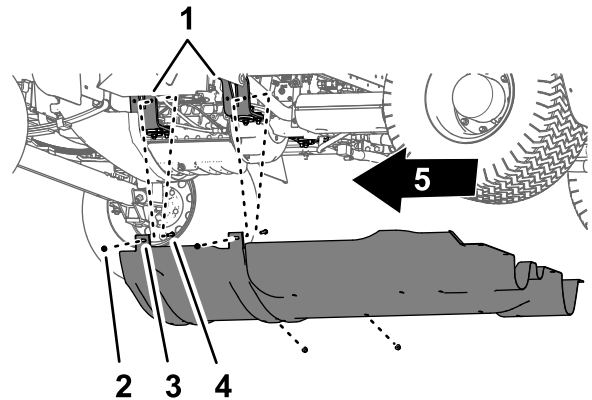
必要なパーツはありません。

手順

1. キャリッジ下シュラウドをマシンのシャーシ下部に合わせる。



g189584



g189583

図 82

1. エンジンマウント
 2. ボルト 分かりやすいように 図示
 3. キャリッジ下シュラウド
 4. フランジロックナット 5/16"
 5. マシン前方
2. キャリッジ下シュラウドの前方取り付けフランジを、マシンのエンジンマウントブラケットのボルトとキャリッジボルトに滑り込ませる。
 3. **2 キャリッジ下シュラウドの取り外し (ページ 7)**のステップ2で取り外したフランジロックナット (5/16") 4本を使って、キャリッジ下シュラウドをエンジンマウントブラケットにボルトで組み付ける。
 4. キャリッジ下シュラウドの後部の穴をシャーシの穴に合わせる。

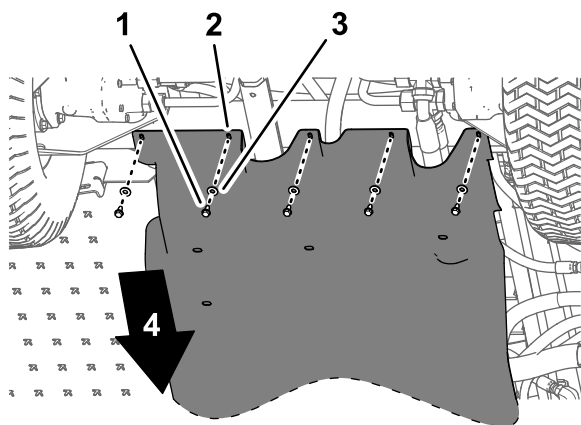


図 83

図は 2017 年度モデル。2016年度モデルもほぼ同じ。

1. フランジヘッドボルト5/16" x 7/8"
 2. キャリッジ下シュラウド
 3. ワッシャ5/16" x 7/8"
 4. マシン前方
-
5. 次のように、2 キャリッジ下シュラウドの取り外し(ページ 7)のステップ1で取り外したハードウェアを使って、キャリッジ下シュラウドの後部をシャーシに組み付ける。
 - 2016 年度のマシン — フランジヘッドボルト 5/16" x 7/8" 7本とワッシャ5/16" 7枚
 - 2017 年度以降のマシン — フランジヘッドボルト 5/16" x 7/8" 5本とワッシャ5/16" 5枚
 6. ボルトとナットを11291582N・cm 1.21.7kg.mでトルク締めする。

15

リアワイヤハーネスの接続

この作業に必要なパーツ

3	ケーブルタイ
---	--------

ワイヤハーネスをマニホールドマウントへ配線する

1. ワイヤハーネスの203cmの分岐をバルブマウントのサポートストラットの内側に、10個のバルブマウントに向かって後方に配設する。

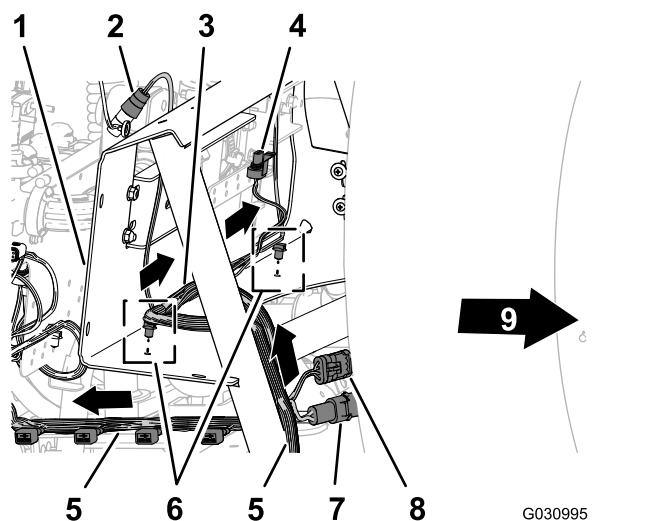


図 84

1. マニホールドマウント
2. 203 cmワイヤーハーネス分岐 - ASC10、リフトシリンダーソレノイド、110noセクションバルブ
3. 81cm のワイヤーハーネス枝線—フローメータと攪拌バルブ
4. 電気コネクタ攪拌バルブ
5. 5 cmワイヤーハーネス
6. プッシュファスナー
7. 2ピンコネクタ(ホースリール電源)
8. 3ソケットコネクタホースリール
9. マシン前方

2. フローメータと攪拌バルブ用の81cmワイヤーハーネス分岐をマニホールドマウントの前面に通して配線する。
3. 81cmワイヤーハーネス分岐の押し込み型ファスナーをマニホールドマウントの下側フランジの穴に挿入する。

ワイヤーハーネスをバルブ10本用マウントへ配線

1. セクションバルブ用の10個のコンネクタを使って、203cmのワイヤーハーネス分岐をバルブ10本用マウントの背面を横切ってバルブの後方と下に配線する。

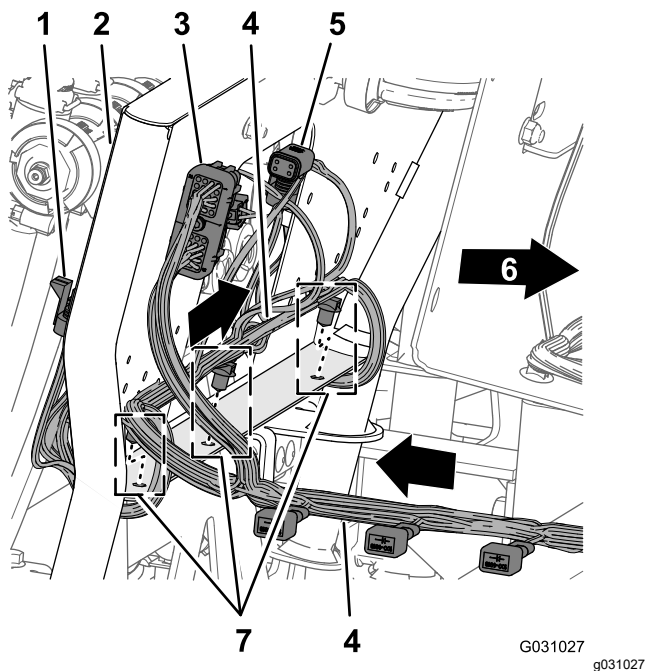


図 85

1. 3ソケットコネクタ(ノズルバルブ位置10)
2. バルブ10本用マウント
3. 40ソケットコネクタASC 10
4. 203cmワイヤーハーネス分岐 - ASC10、リフトシリンダーソレノイド、ノズルバルブ 110
5. 4ソケットコネクタASC 10へ
6. マシン前方
7. プッシュファスナー

2. 203cm ワイヤーハーネス分岐の押し込み型ファスナーをバルブ10本用マウントの下側フランジの穴に挿入する。

スプレーポンプのワイヤーハーネスの配線

1. 散水ポンプソレノイド用の86cmワイヤーハーネス分岐を散水フレーム チャンネルの上部を横切って散水ポンプ ソレノイドに向かって下に配線する。

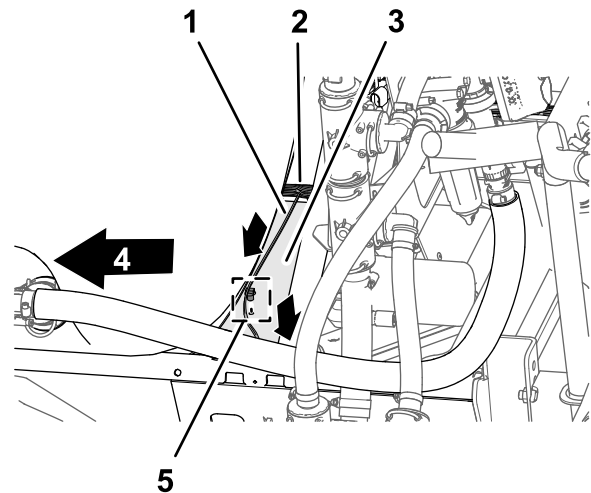


図 86

1. 86cm のハーネス枝線—散水ポンプのソレノイド
2. 203cmワイヤーハーネス分岐 - ASC10、リフトシリンダーソレノイド、ノズルバルブ 110
3. チャンネル部材スプレーヤのフレーム
4. マシン前方
5. プッシュインファスナー

2. 86cmワイヤーハーネス分岐の押し込み型ファスナーを散水フレーム チャンネルの穴に挿入する。

ワイヤハーネスをマニホールドマウントの各機器に接続する

1. フローメータというラベルと圧カトランスデューサというラベルが付いた203cmワイヤハーネス分岐のコネクタをマニホールドマウントの後方に配線する。

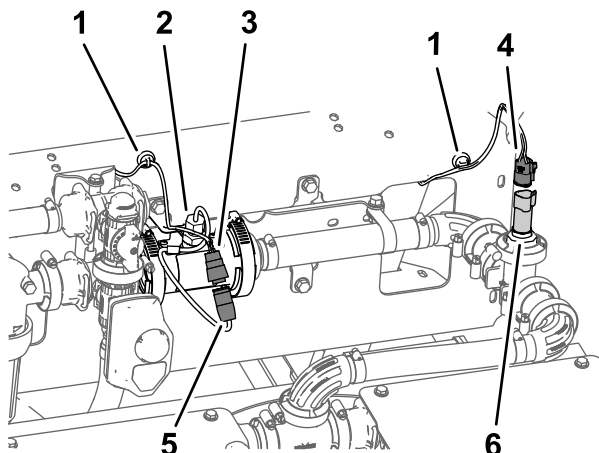


図 87

1. 磁石式のハーネスアンカー
 2. フローメータ
 3. 3ソケットコネクタリアワイヤハーネスフローメータというラベル付き
 4. 3ソケットコネクタリアワイヤハーネス圧カトランスデューサというラベル付き
 5. 3ピンコネクタフローメータ
 6. 3ピンコネクタ圧カトランスデューサ
-
2. フローメータ用の203cmワイヤハーネス分岐の3ソケットコネクタ(ラベルなし)をフローメータハーネスの3ピンコネクタに接続する。
 3. 圧カトランスデューサとラベルの付いた203cmワイヤハーネス分岐の3ソケットコネクタを、圧カトランスデューサの3ピンコネクタに接続する。
 4. フローメータと圧カトランスデューサのマグネットハーネスアンカーをマニホールドマウントの表面に貼り付ける。
 5. 攪拌バルブのハーネス用の3ピンコネクタをマニホールドマウントの前方に配線する。

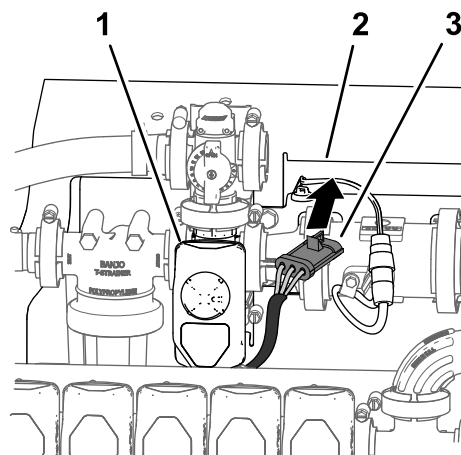


図 88

1. 攪拌バルブ
2. マニホールドマウント
3. 3ソケットコネクタ攪拌バルブのハーネス

6. 攪拌バルブのハーネス用の3ピンコネクタを、攪拌バルブというラベルが付いた203cmワイヤハーネス分岐の3ソケットコネクタに接続する。

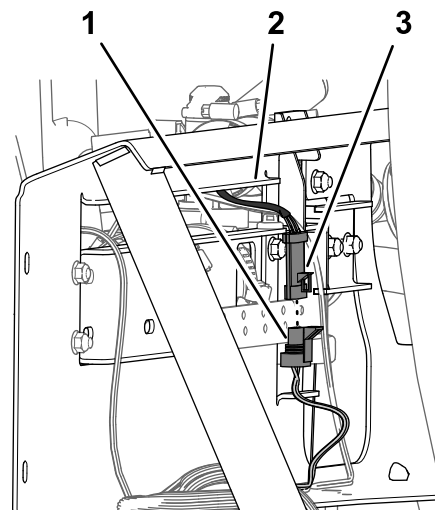


図 89

1. 3ピンコネクタリアワイヤハーネス攪拌バルブというラベルが付
2. マニホールドマウント
3. 3ソケットコネクタ攪拌バルブのハーネス

ワイヤーハーネスを昇降シリンダのマニホルドの各ソレノイドに接続する

1. 昇降シリンダー マニホルドの底部で、イネーブルソレノイドというラベルが付いたリア ワイヤーハーネスの2 ソケットコネクタを、イネーブルソレノイドの2 ピンコネクタに接続する。

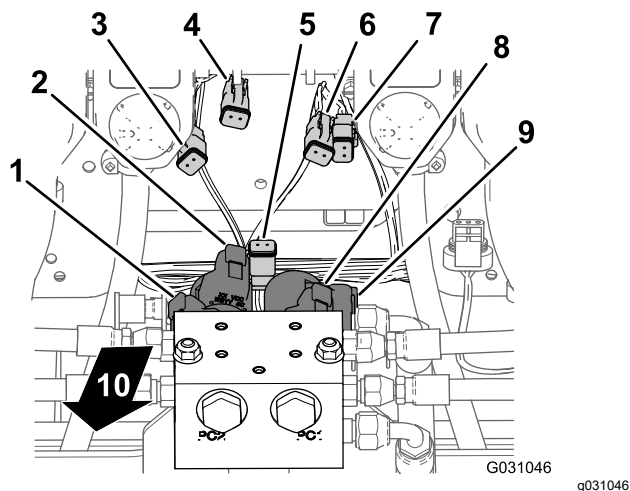


図 90

- | | |
|---------------------------------------|-------------------------------|
| 1. 2ピンコネクタ左降下ソレノイド昇降シリンダマニホルド | 6. 2ソケットコネクタ右上昇メインハーネスのコネクタ |
| 2. 2ピンコネクタ左上昇ソレノイド昇降シリンダマニホルド | 7. 2ソケットコネクタ右上昇メインハーネスのコネクタ |
| 3. 2ソケットコネクタ左降下メインハーネスのコネクタ | 8. 2ピンコネクタ右上昇ソレノイド昇降シリンダマニホルド |
| 4. 2ソケットコネクタ左上昇メインハーネスのコネクタ | 9. 2ピンコネクタ右降下ソレノイド昇降シリンダマニホルド |
| 5. 2ソケットコネクタイネーブルソレノイド (メインハーネスのコネクタ) | 10. マシン後方 |

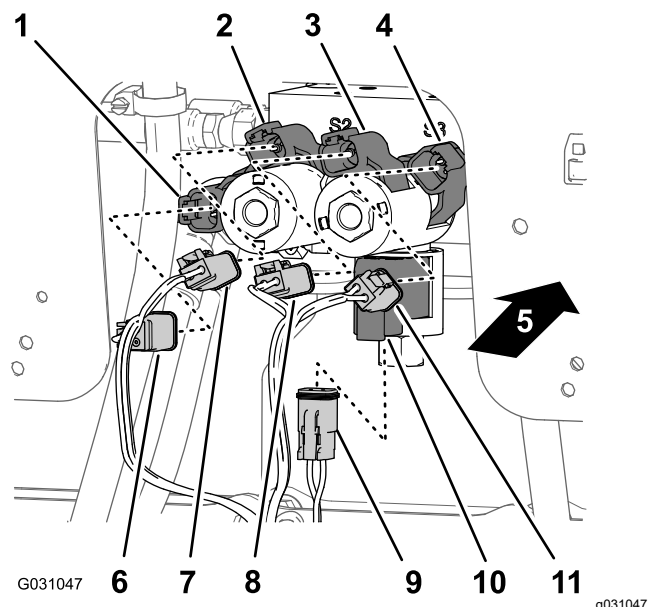


図 91

- | | |
|-------------------------------|---------------------------------------|
| 1. 2ピンコネクタ右降下ソレノイド昇降シリンダマニホルド | 7. 2ソケットコネクタ右上昇メインハーネスのコネクタ |
| 2. 2ピンコネクタ右上昇ソレノイド昇降シリンダマニホルド | 8. 2ソケットコネクタ左上昇メインハーネスのコネクタ |
| 3. 2ピンコネクタ左上昇ソレノイド昇降シリンダマニホルド | 9. 2ソケットコネクタイネーブルソレノイド (メインハーネスのコネクタ) |
| 4. 2ピンコネクタ左降下ソレノイド昇降シリンダマニホルド | 10. 2ピンコネクタイネーブルソレノイド昇降シリンダマニホルド |
| 5. マシン後方 | 11. 2ソケットコネクタ左降下メインハーネスのコネクタ |
| 6. 2ソケットコネクタ右降下メインハーネスのコネクタ | |

2. 右下のソレノイドで、**右降下**というラベルが付いた後部ワイヤーハーネスの2 ソケットコネクタを、右降下ソレノイドの2 ピンコネクタに接続する。
3. 右上のソレノイドで、**右上昇**というラベルが付いた後部ワイヤーハーネスの2 ソケットコネクタを、右上昇ソレノイドの2 ピンコネクタに接続する。
4. 左下のソレノイドで、**左降下**というラベルが付いた後部ワイヤーハーネスの2 ソケットコネクタを、左降下ソレノイドの2 ピンコネクタに接続する。
5. 左上のソレノイドで、後方ワイヤーハーネスの**左上昇**というラベルのついた2ソケットコネクタを、左上昇ソレノイドの2ピンコネクタに接続する。

ワイヤーハーネスと散水バルブの接続

1. ノズルバルブ 1ノズルバルブ5のラベルが付けた203cmワイヤーハーネス分岐の3 ソケットコネクタを、10バルブマウントの後方、ノズルバルブ15の下に配線する。

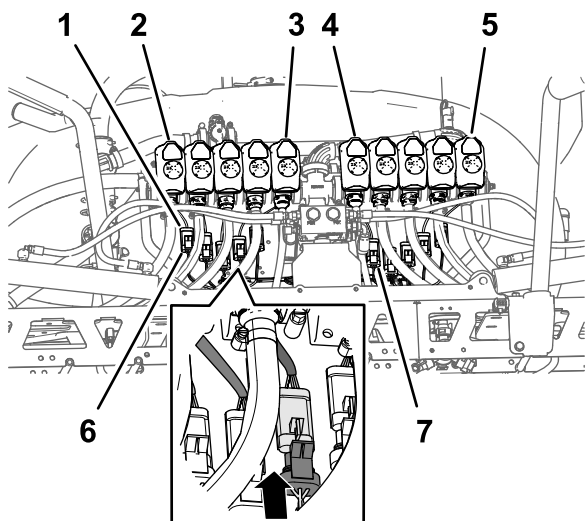


図 92

g491698

1. 3ピンコネクタノズルバルブのハーネス
2. ノズルバルブ 1番
3. ノズルバルブ 5番
4. ノズルバルブ 6番
5. ノズルバルブ 10番
6. 3ピンソケットコネクタリアワイヤハーネスラベルはノズルバルブ 1
7. 3ピンソケットコネクタ後方ワイヤハーネスラベルはノズルバルブ 6

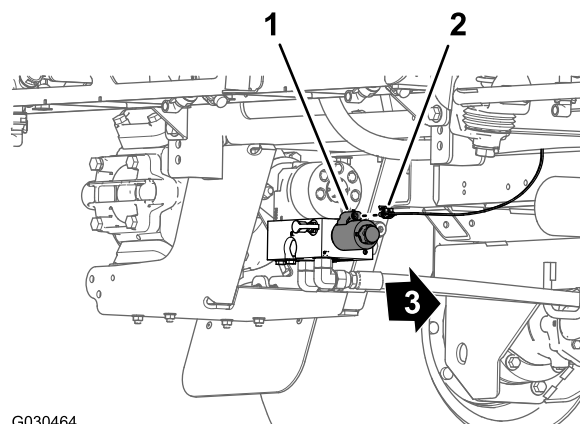
2. **ノズルバルブ6ノズルバルブ 10**のラベルが付いた203cmワイヤハーネス分岐の3ソケットコネクタを、10バルブマウントの後方、ノズルバルブ 610の下に配線する。
3. **ノズル 1**というラベルが付いたリアワイヤハーネスの3ピンソケットコネクタを、ノズルバルブ 1のハーネスの3ピンコネクタに接続する。

重要リアワイヤハーネスのラベルの付いた各3ピンソケットコネクタを、ノズルとバルブの各位置で正しい3ピンコネクタに接続することが重要。

4. ノズルバルブ位置210で手順3を繰り返す。

ワイヤーハーネスと散水ポンプおよび速度センサーの接続

1. マシンの後ろで—散水ポンプの内側で、86cmワイヤハーネス分岐の**散水ポンプソレノイド**というラベルの付いた2ソケットコネクタをポンプ用リレーの2ピンコネクタに接続する。



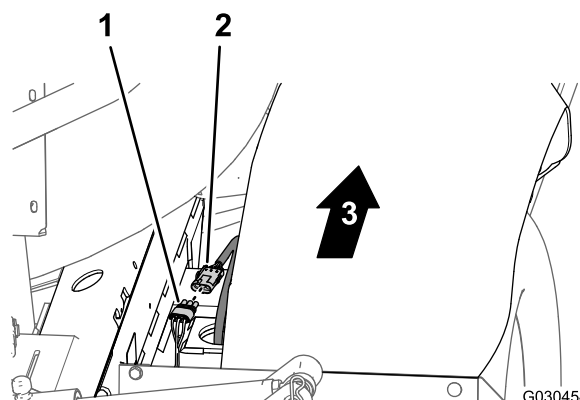
G030464

g030464

図 93

1. 2ピンコネクタポンプ用リレー
2. 2ソケットコネクタワイヤハーネスの 86cm 枝線
3. マシン前方

2. マシンの後部 (右フレームチューブと右フェンダーの間) で、リアメインハーネスの3ソケットコネクタ (マークなし) と、右油圧トラクションモーターの速度センサーハーネスの3ピンコネクタを接続する。



G030454

g030454

図 94

1. 3ソケットコネクタ後部、メインハーネス
2. 3ピンコネクタ油圧モーターのハーネス
3. マシン前方

ワイヤーハーネスをエンジンルームを通して配線する

1. ワイヤーハーネスの165cmの分岐を上配線し、エンジンシュラウドの右側のサポートに沿って、エンジンコンパートメントの後部、エアフィルターとエンジンを接続するダクトの前方に配線する。

注 この 165cmリアワイヤーハーネスの枝線の最終的な固定は **ナビゲーション用データと電気ハーネスをバッテリーに配線 (ページ 52)**で行う。

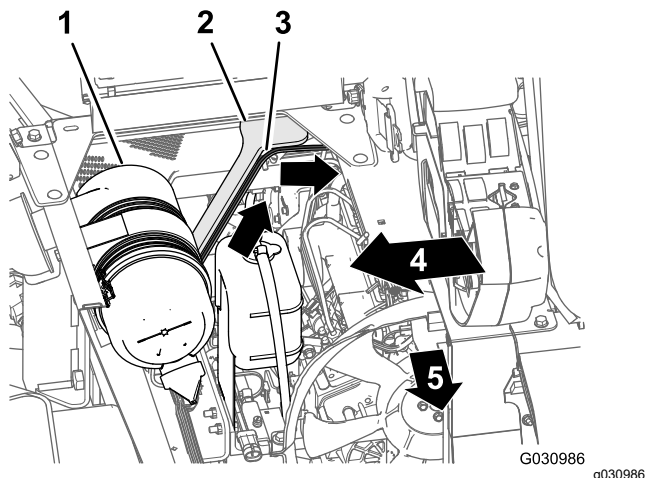


図 95

1. エアフィルタ エンジン
2. エンジンシュラウドのサポート右側
3. 165cm の枝線リアワイヤーハーネス
4. マシン右側
5. マシン前方

2. 165cmワイヤーハーネスの分岐をシートボックスアングル部材を越えて、エンジンシュラウドの左側のサポートに沿って下に配線する。

注 この 165cmリアワイヤーハーネスの枝線の最終的な固定は **ナビゲーション用データと電気ハーネスをバッテリーに配線 (ページ 52)**で行う。

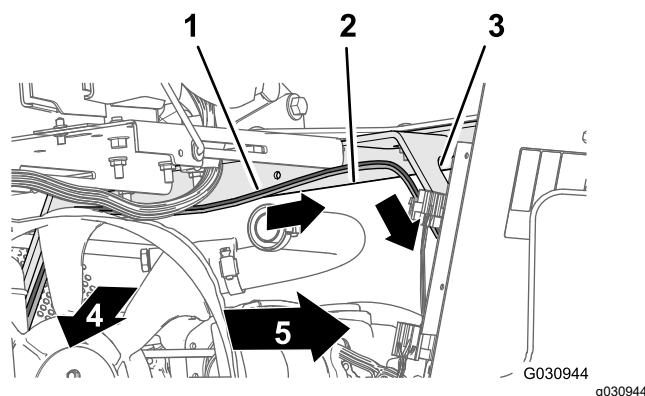


図 96

1. 165cm の枝線リアワイヤーハーネス
2. シートボックスのアングル部材
3. エンジンシュラウドのサポート左側
4. マシン前方
5. マシンの左側

3. 165cmリアワイヤーハーネスの枝線を、エンジンシュラウドの左側のサポートに沿って、左側のフレームチューブの下に配線する。

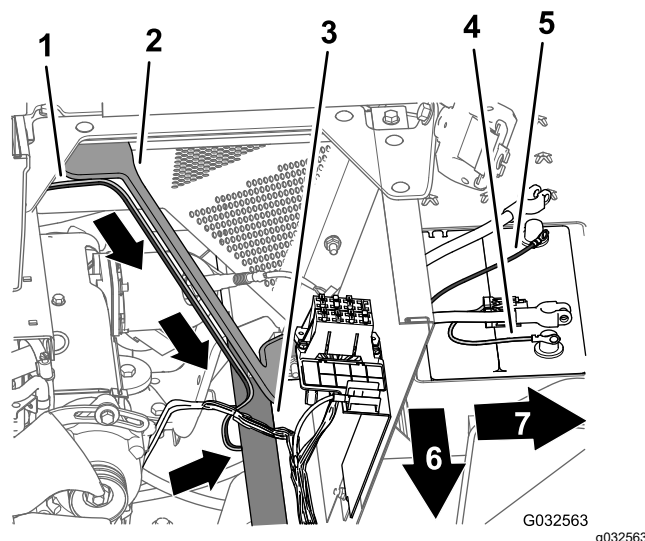


図 97

1. 165cm の枝線リアワイヤーハーネス
2. エンジンシュラウドのサポート左側
3. 左側フレームチューブ
4. プラス端子赤ワイヤー165cmの枝線リアワイヤーハーネス
5. マイナス端子黒ワイヤー165cmの枝線リアワイヤーハーネス
6. マシン前方
7. マシンの左側

4. 50A ヒューズとワイヤーハーネスの 165cm 分岐のプラスおよびマイナスのリング端子をバッテリーの上部に配線する。

注 次の手順でリング端末のインストールを完了する。

散水ポンプ遮断回路のワイヤーハーネスの配線

1. 運転席を前に倒して、座席についている支え棒をコンソールチャンネルのくぼみに入れて固定する。
2. センターコンソールの左側でカバーを固定している5本のフランジヘッドボルト (1/4 x 3/4") を取り外す。

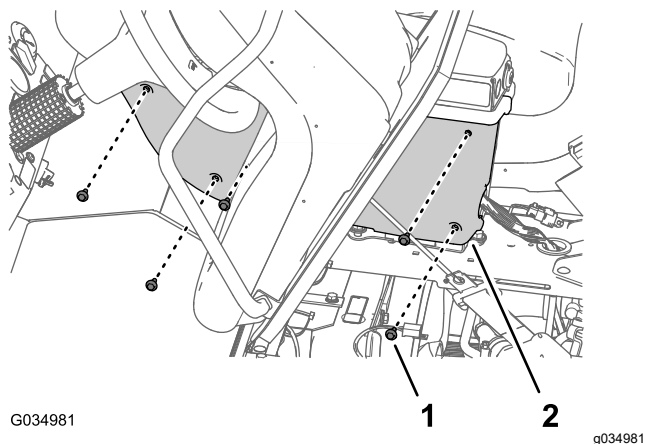


図 98

1. フランジヘッドボルト 1/4 x 3/4"
2. カバー (左側 — 中央コンソール)

3. センターコンソールからカバーを外す。

注 必要に応じて、センターコンソールからカバーを取り外すときに運転席を下に回転させる。

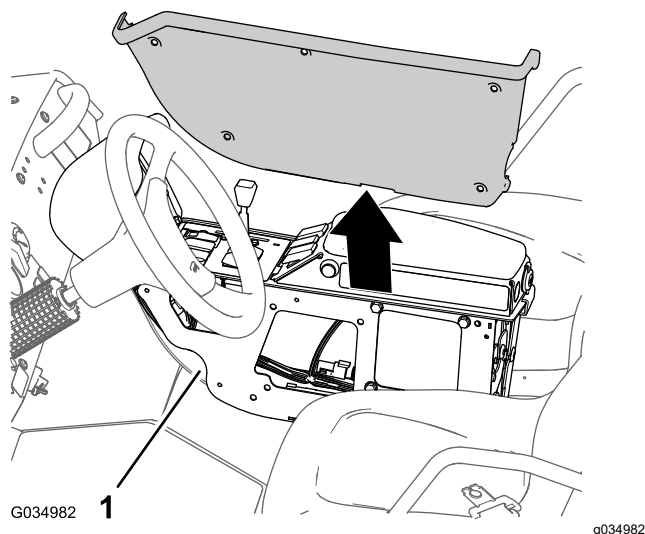


図 99

1. コンソールのフレーム

4. リアワイヤーハーネスの81cmの枝線をフロントワイヤーハーネスに沿って、コンソールチャンネルのグロメットを通して上に配線する。

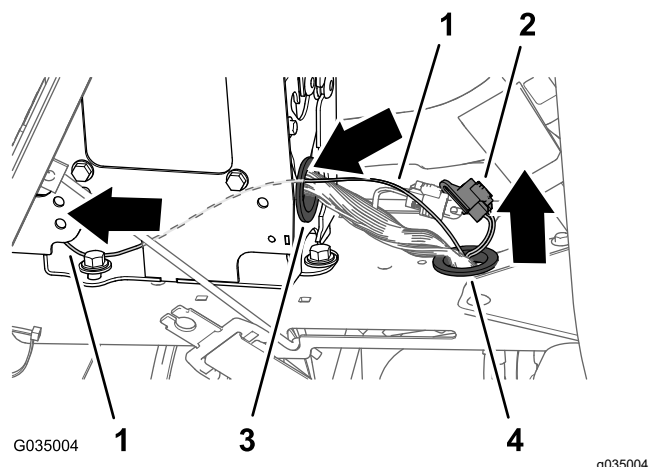


図 100

1. 81cmワイヤーハーネス分岐 - 散水ポンプ遮断回路
2. 3ソケットコネクタCAN診断用
3. グロメット中央コンソール
4. グロメットコンソールのチャネル材

5. リアワイヤーハーネスの81cmの枝線をフロントワイヤーハーネスに沿って前方に配線し、センターコンソール後部のグロメットに通す。

散水ポンプスイッチへの散水ポンプ遮断回路の追加

1. 散水ポンプスイッチの8ソケットコネクタのラッチを押し込み、コネクタをスイッチから分離する。

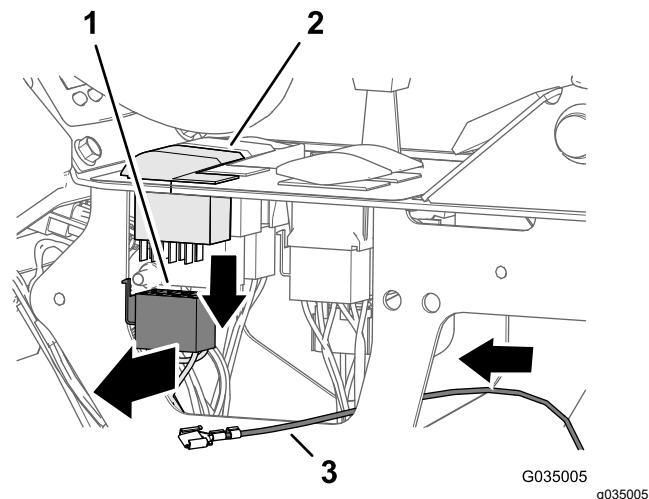
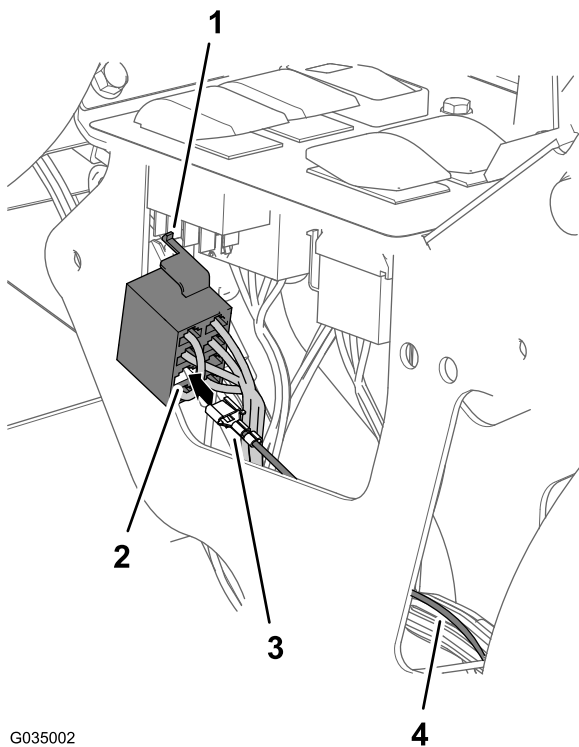


図 101

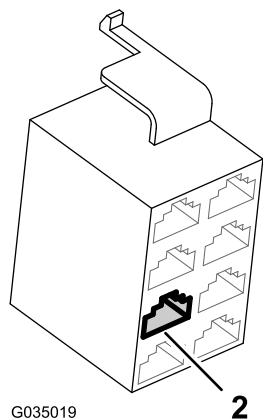
1. 8ソケットコネクタ散水ポンプスイッチ
2. 散水ポンプスイッチ
3. 81cmのワイヤーハーネス枝線

2. コネクタの背面が見え、ラッチが上になるように8ソケットコネクタを配置する。



G035002

g035002



G035019

g035019

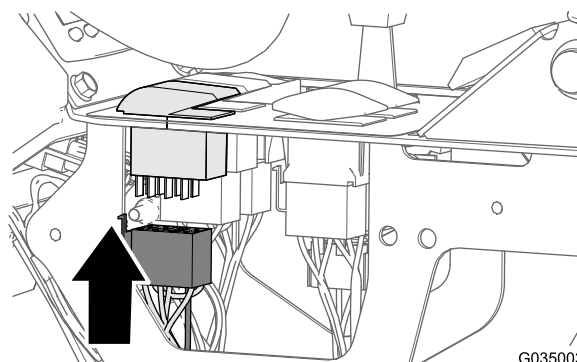
図 102

1. ラッチ8ソケットコネクタ) 3. 端子81cm ワイヤーハーネスの枝線
2. 端子位置 #4 (8ソケットコネクタ - 散水ポンプ スイッチ) 4. 81cm のワイヤーハーネス枝線

3. リアワイヤーハーネスの81cm枝線端の端子を8ソケットコネクタの端子位置 #4 に挿入する。

注 端子についているラッチを、8ソケットコネクタに確実に掛ける。

4. ワイヤーハーネスの場合は8ソケットコネクタを、散水ポンプスイッチの場合は8ピンコネクタを接続する。

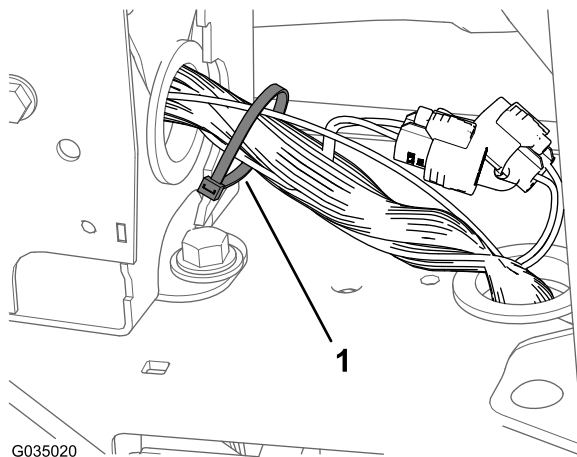


G035003

g035003

図 103

5. リアワイヤーハーネスの81cm枝線をマシンのフロントワイヤーハーネスに固定する。



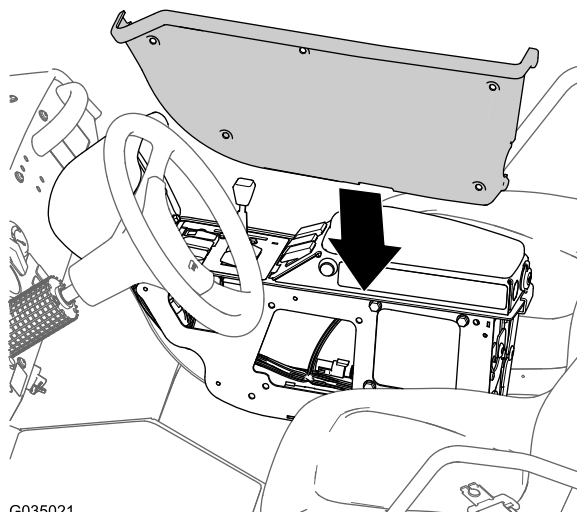
G035020

g035020

図 104

1. ケーブルタイ

6. 取り外したカバー(図 99)をセンターコンソールの左側に合わせる。



G035021

g035021

図 105

- 前に取り外した (図 98) フランジヘッド ボルト (1/4 x 3/4") 5本を使ってカバーをセンターコンソールに取り付け、ボルトを 520 678 N・cm (0.560.73kgm) でトルク締めする。

16

ダッシュゲージ用感圧チューブの接続

必要なパーツはありません。

ダッシュゲージ用感圧チューブの接続

- ダッシュボード内の圧力計からの感圧チューブの端をバルブセクションの端にあるカップラに合わせる。

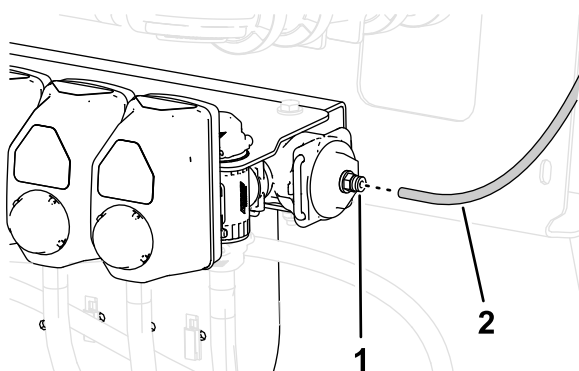


図 106

g491699

- カップラ
 - 感圧チューブダッシュ圧力計より
- 感知チューブが完全に固定されるまで、感知チューブをカップラに挿入する。

17

ナビゲーション受信機の取り付け

この作業に必要なパーツ

1	ナビゲーション受信機
1	受信機用マウント
4	ボルトM5
4	ワッシャー
4	ボルト
4	フランジロックナット3/8"

手順

- ボルト (M5) 4本とワッシャー4個を使って、受信機を受信機マウントに固定する。

注 両方の矢印がマシンの正面を向くようにする

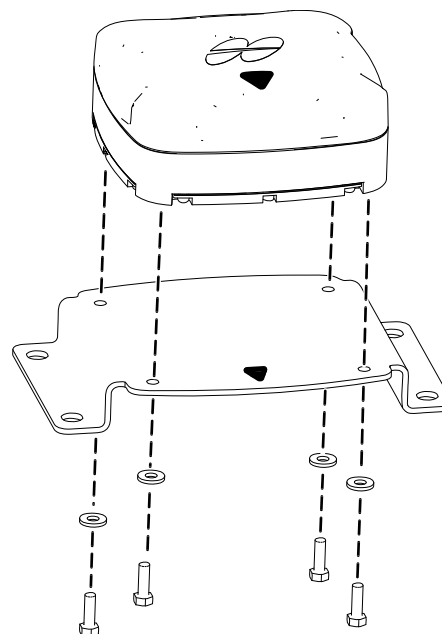


図 107

g423319

- レシーバー マウントの矢印をロールバーの中央に合わせ、U ボルト4 本とロックナット (3/8 インチ) 4個を使ってアセンブリをROPSに固定する。

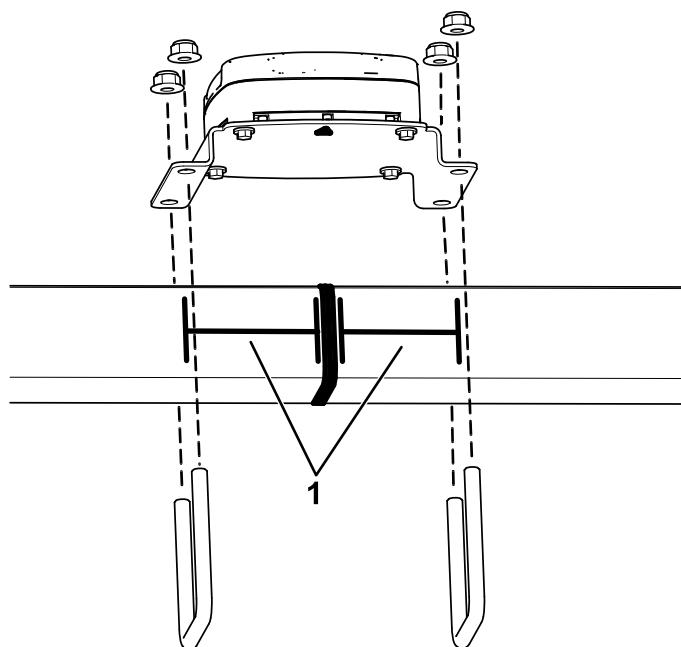


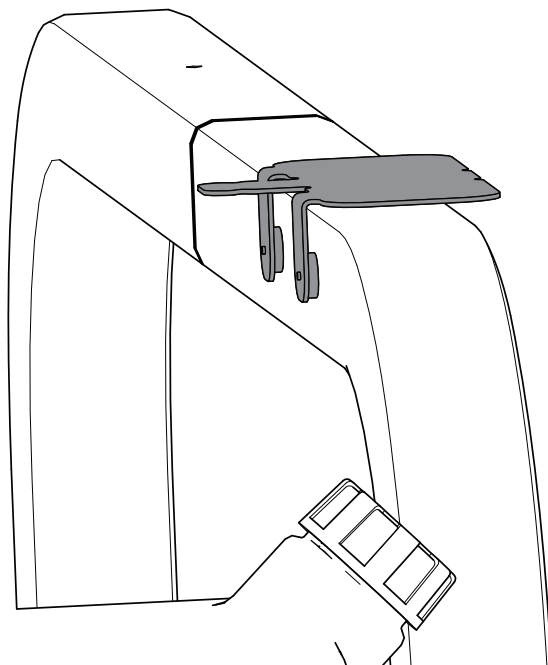
図 108

g412964

1. これらが同じ測定値になるようにする。

モデムアンテナの取り付け

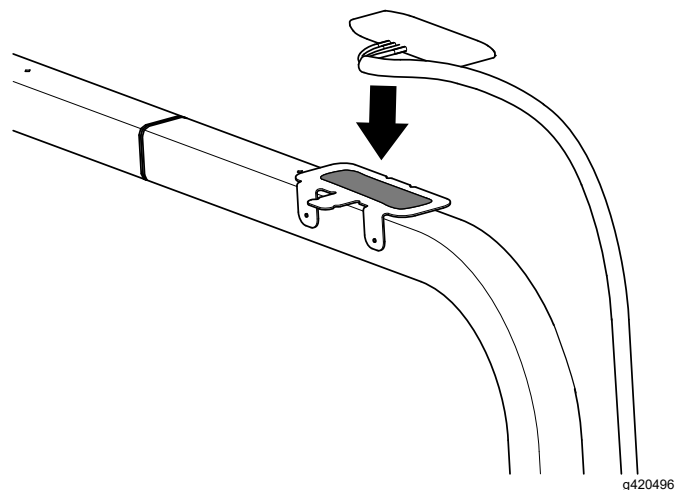
1. モデムアンテナブラケットをロールバーに取り付ける。



g413025

図 109

2. アンテナの取り付け面に付着したグリースや油を取り除く。
3. 両面テープの裏紙を剥がし、アンテナをマウントに貼り付ける。



g420496

図 110

4. アンテナとワイヤーハーネスを3本のケーブルタイでマウントに固定する。

18

モデムアンテナをマシンに取り付け

この作業に必要なパーツ

1	アンテナマウント
2	リベット
2	マグネット
1	モデムアンテナ
1	高感度アンテナ
7	ケーブルタイ

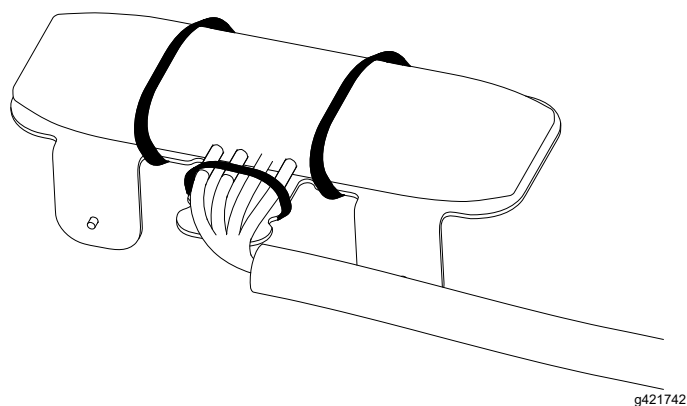


図 111

-
5. 高感度アンテナをロールバーに設置する。

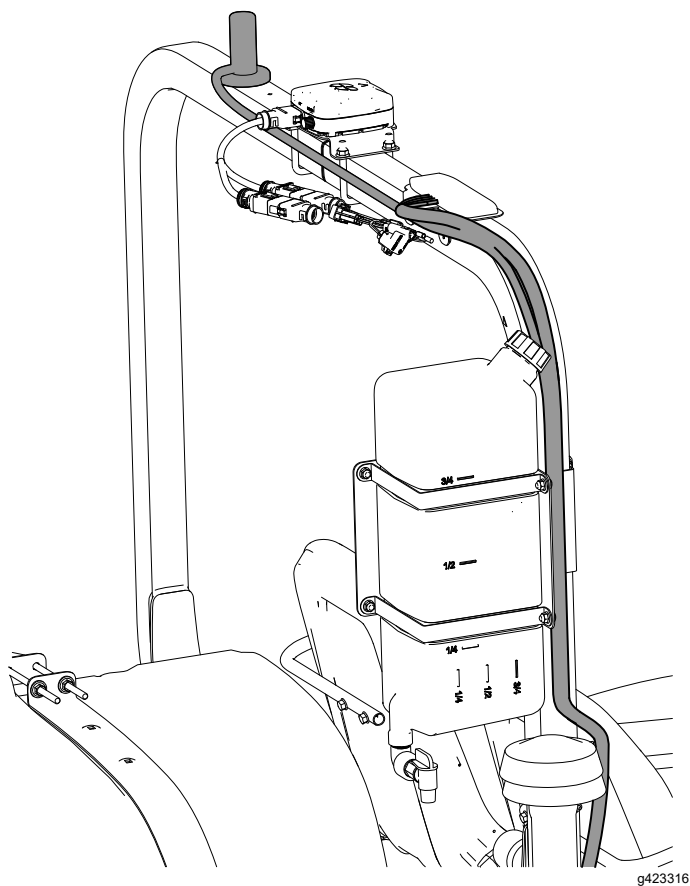


図 112

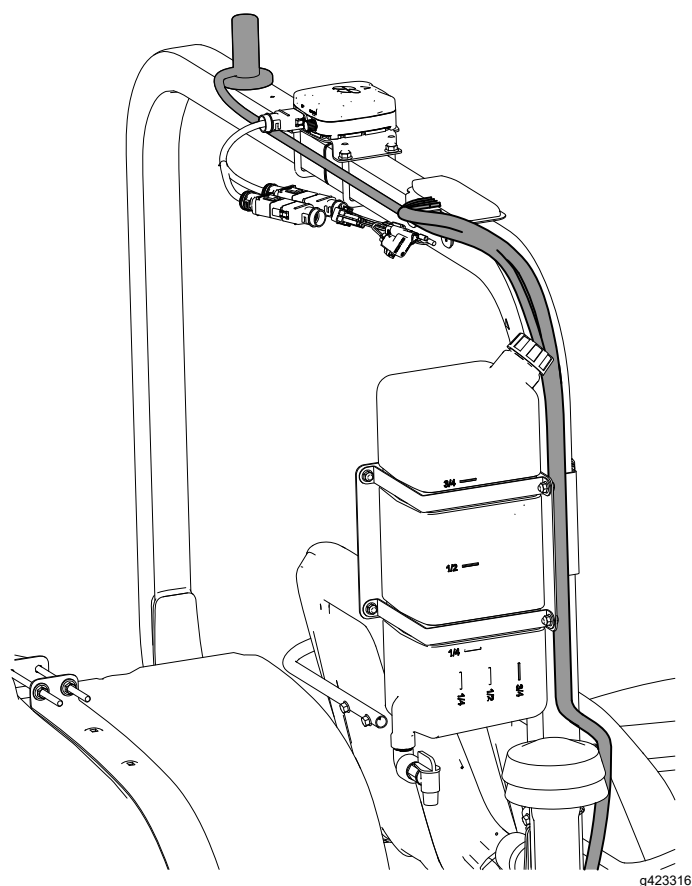


図 113

-
2. ハーネスを下前方に配線する。

モデムとアンテナのハーネスの配線

1. モデムアンテナハーネスをロールバーに沿って右側に配線する。

19

ディスプレイの取り付け

この作業に必要なパーツ

1	ディスプレイ
1	ボールマウント
1	モニターアーム
1	補強ブラケット
4	フランジヘッドボルト 1/4 x 1-1/2"
4	ワッシャ1/4"
4	フランジロックナット1/4"

ダッシュパネルの準備

1. ダッシュパネルの握りハンドルの左側にある4つの穴のパンチアウト (1/4") を見つける。

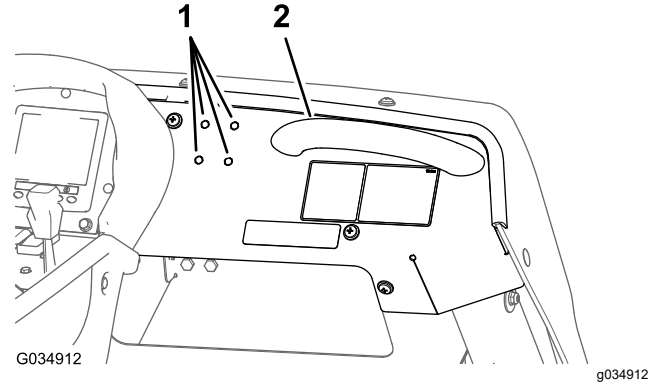


図 114

1. 打ち抜き穴6mmダッシュパネル 2. 握りハンドル

2. ダッシュパネルから4つの打ち抜き穴を取り外す。

フードブラケットの取り外し

1. フードブラケットをダッシュボードに固定しているプラスなベネジ (1/4 x 1") 2本とロックナット (1/4") を取り外す。

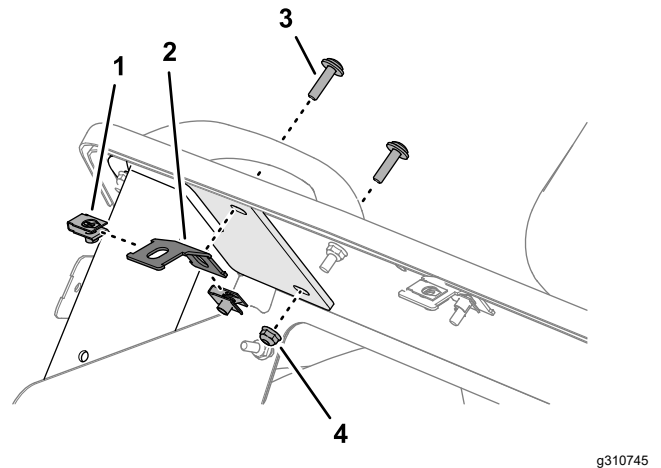


図 115

1. クリップナット(1/4") 3. プラスなベネジ (1/4 x 1")
2. フードブラケット 4. フランジロックナット1/4"

2. クリップナット (1/4") 2個をフードブラケットから取り外す。

注 プラスのなベネジ、フランジロックナット、およびクリップナットは保管しておき、フードブラケットは廃棄する。

補強ブラケットの準備

前に取り外したクリップナットを補強ブラケットに取り付ける。

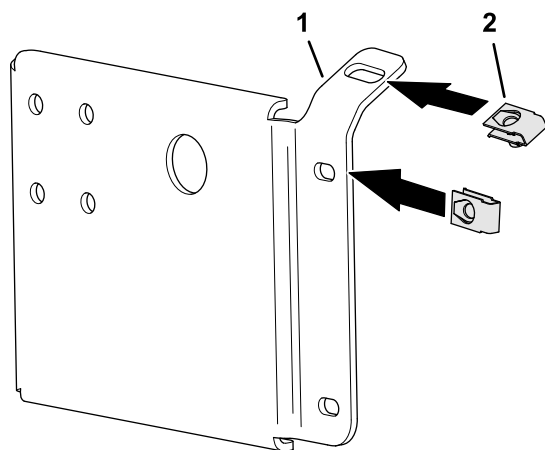


図 116

g310743

1. 補強ブラケット 2. クリップナット

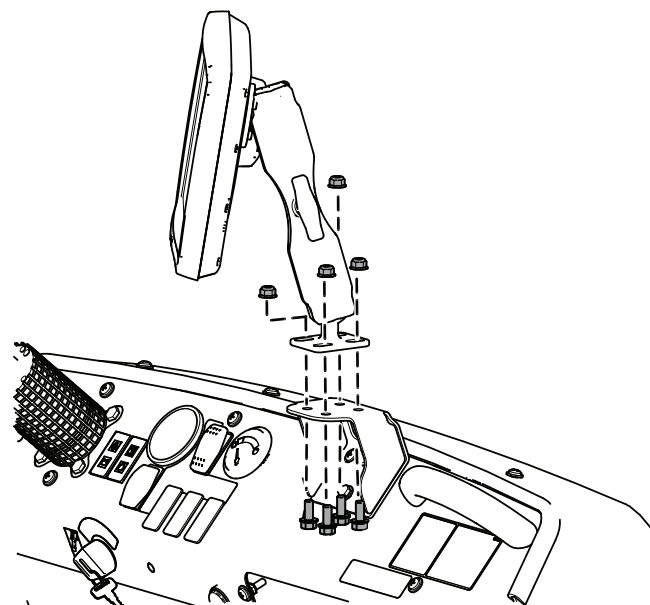


図 118

g413141

ボールピボットマウントブラケットの取り付け

1. フランジヘッドボルト (1/4 x 1-1/2") 4本とワッシャー4個を使ってブラケットをダッシュボードに組み付け、フランジロックナット (1/4") 4個で補強プレートに固定する。

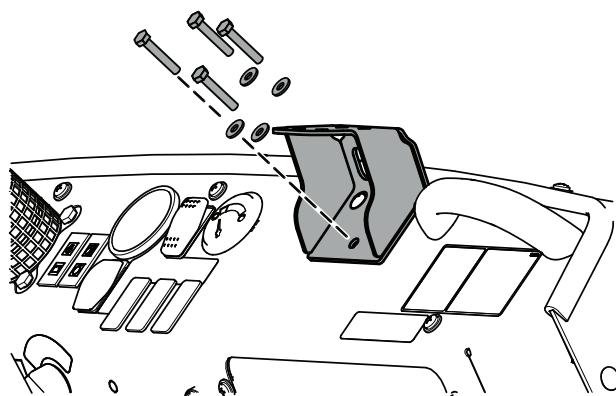


図 117

g413140

2. 以前取り外したプラスなベネジ (1/4 x 1") 2本とフランジロックナット (1/4") を使って、補強プレートを緩く組み付ける。
3. フランジヘッドボルト、プラスなベネジ、およびフランジロックナットを11631435N·cm (1.261.55kgm) でトルク締めする。

ディスプレイの取り付け

1. ボルト (5/16") 4本とナット (5/16") 4個を使って、ディスプレイアセンブリをブラケットに固定する。

20

ナビゲーションコンポーネント関係のワイヤハーネスの取り付け

この作業に必要なパーツ

1	ハーネスアダプタ
1	データおよび電気ハーネス
8	ケーブルタイ

ナビゲーション用データと電気ハーネスの識別

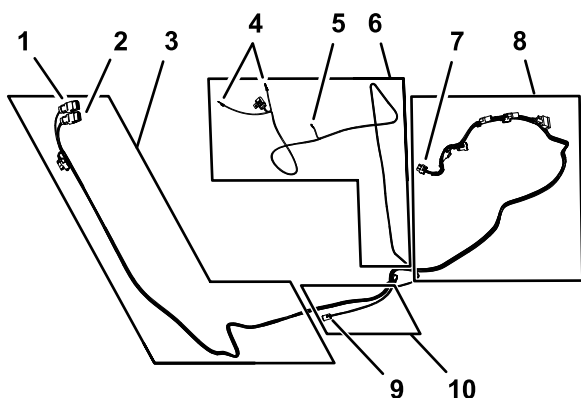


図 119

g310848

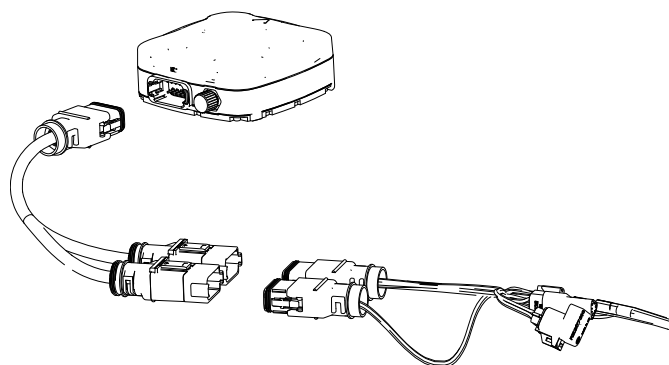
1. 12 ソケットコネクタ - ナビゲーション 受信機 AGI4 A コネクタ (グレー)
2. 12 ソケットコネクタ - ナビゲーション 受信機 AGI4 B コネクタ (グレー)
3. 302cm データハーネス枝線 (ナビゲーション受信機)
4. リング端子 (バッテリーのプラスとバッテリーのマイナスに)
5. ソケットコネクタスイッチング電源
6. 270.5cm電源ハーネス枝線
7. 26 ソケットコネクタ(スプレーヤーモニター)
8. 226cmデータハーネス枝線 (スプレーヤーモニター)
9. 4ピンコネクタリアハーネスインターフェース—CAN 2 ASC 10 バス)
10. 34cmデータハーネス枝線 (リアハーネスインターフェイス)

ナビゲーション用データと電気ハーネスをナビゲーション受信機に接続

1. ナビゲーション用データと電気ハーネスの302cm枝線を、12 ソケットコネクタ (灰色) と12 ソケットコネクタ (黒色) を使って右ROPSチューブに沿ってナビゲーション受信機に向かって配線する。

重要 ワイヤハーネスをROPSチューブに固定する際は、コネクタを引っ張らないよう、ハーネスにある程度の余裕を持たせて固定する。

2. AGI4 A キー (灰色) というラベルの付いたデータハーネスの12 ソケットコネクタの長面にある2つのコネクタを、アダプタハーネスの2つのコネクタスロットに接続する。



g420537

図 120

3. アダプターハーネスを受信機に差し込む。

ナビゲーション用データおよび電気ハーネスをリアGeoLinkハーネスに接続

1. CAN 2 ASC 10 バスというラベルの付いた4ピンコネクタを備えた電気ハーネスの302cmデータハーネス枝線を、マシンの前面および背面のワイヤハーネスが接続される領域まで配線する。
[前後のワイヤハーネス接続する \(ページ 33\)の図 78](#)を参照方。

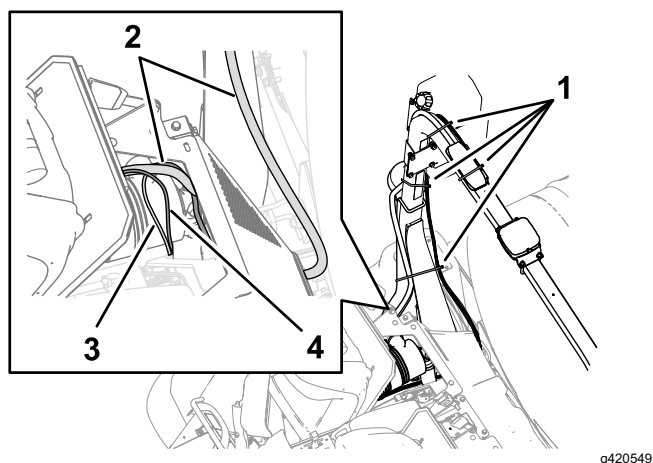


図 121

1. ケーブルタイ
2. 302cm データハーネス枝線 (ナビゲーション受信機)
3. 34cmデータハーネス枝線 (4 ピンコネクタ CAN 2 ASC 10 バス)
4. 270.5cm電源ハーネス枝線

終端抵抗の取り外し

データケーブルの6 ソケットコネクタから終端抵抗を取り外して廃棄する。

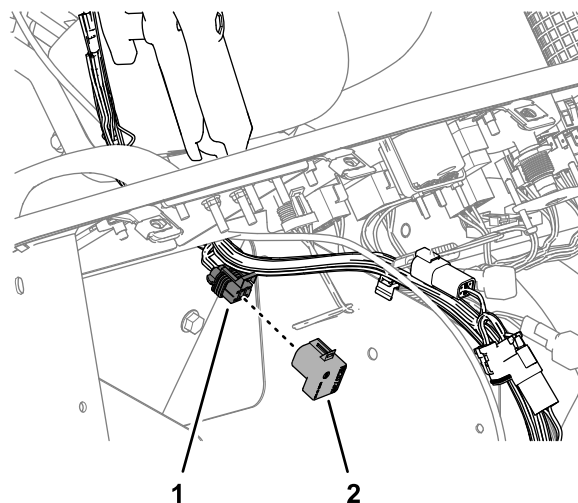


図 123

1. データケーブルの6 ソケットコネクタ
2. 終端抵抗

2. CAN 2 ASC 10 バスというラベルの付いた 4 ピンコネクタを備えた34cmデータハーネスの枝線を、マシンの前面と背面のワイヤ ハーネスが接続される領域まで配線する。前後のワイヤーハーネス接続する (ページ 33)の図 78を参照方。
3. CAN 2 ASC 10 バスというラベルの付いたデータハーネス枝線の4 ピンコネクタを、CAN 2 / 散水コントローラ回路用のリアGeoLinkハーネスの4 ソケットコネクタに接続する。

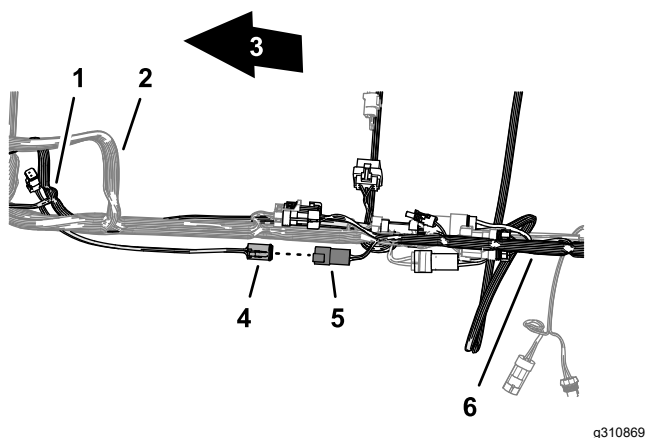


図 122

1. 34cmデータハーネス枝線 (ナビゲーション用データおよび電気ハーネス)
2. マシンのフロントワイヤハーネス
3. マシン前方
4. 4 ピンコネクタ (CAN 2 ASC 10 バスとラベルが付き-データハーネス枝線)
5. 4 ソケットコネクタ (ラベルなしASC 10電源およびCAN-リアGeoLinkワイヤーハーネス)
6. リアGeoLinkワイヤーハーネス

ナビゲーション用データと電気ハーネスをバッテリーに配線

1. ナビゲーション用データと電気ハーネスの270.5cmの電源枝線をシートボックスアングル部材を越えて、エンジンシュラウドの左側のサポートに沿って下に配線する。

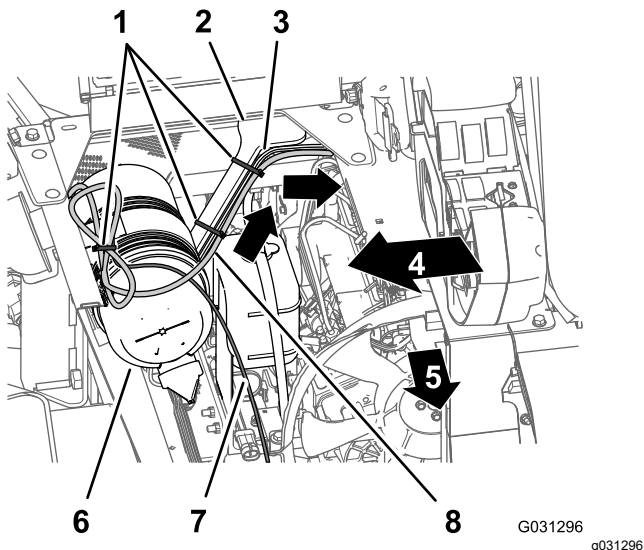


図 124

- | | |
|---------------------------|---------------------------------------|
| 1. ケーブルタイ | 5. マシン前方 |
| 2. エンジンシュラウドのサポート | 6. エアフィルタ エンジン |
| 3. 241cm枝線フロントマシンワイヤーハーネス | 7. 226cmデータハーネス枝線 (スプレーヤーモニター) |
| 4. マシン右側 | 8. 270.5cm電源枝線 (ナビゲーション用データおよび電気ハーネス) |

2. ハーネスをケーブルタイでエンジンシュラウドサポートに固定する。
3. 270.5cmの電源枝線を、エンジンシュラウドの左側のサポートに沿って、左側のフレームチューブの下に配線する。

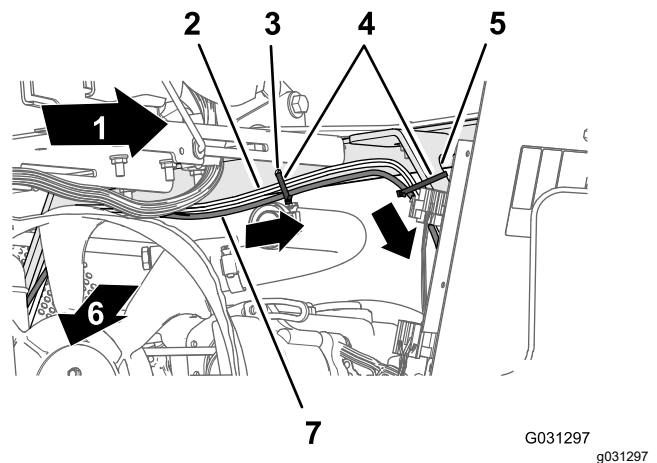


図 125

- | | |
|---------------------------|---------------------------------------|
| 1. マシンの左側 | 5. エンジンシュラウドのサポート |
| 2. 241cm枝線フロントマシンワイヤーハーネス | 6. マシン前方 |
| 3. シートボックス用アングル部材の穴 | 7. 270.5cm電源枝線 (ナビゲーション用データおよび電気ハーネス) |
| 4. ケーブルタイ | |

4. ハーネスをシートボックス用アングル部材の穴とエンジンシュラウドサポートに3本のケーブルタイで固定する。

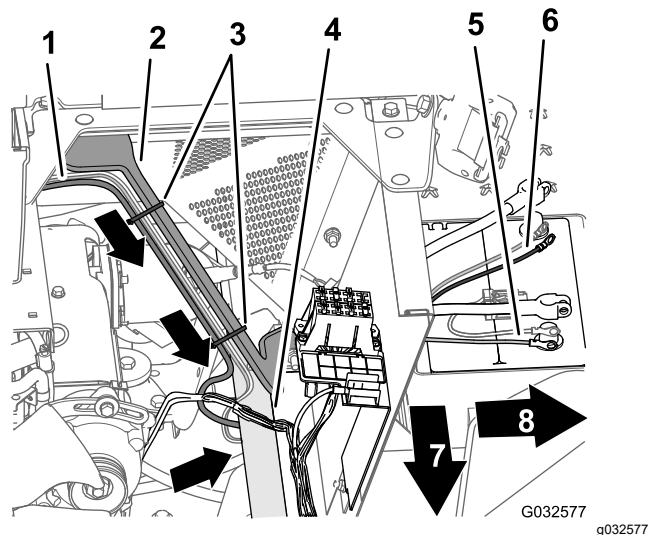


図 126

- | | |
|---------------------------|--|
| 1. 165cm枝線フロントマシンワイヤーハーネス | 5. マイナスリング端子 (黒色ワイヤ) - 電源枝線 (ナビゲーション用データおよび電気ハーネス) |
| 2. エンジンシュラウドのサポート | 6. プラスリング端子 (赤いワイヤ) - 電源枝線 (ナビゲーション用データおよび電気ハーネス) |
| 3. ケーブルタイ | 7. マシン前方 |
| 4. 左側フレームチューブ | 8. マシンの左側 |

- ナビゲーションシステムの電気ハーネスの220cm枝線の10Aヒューズとプラスおよびマイナスのリング端子をバッテリーの上部に配線する。

注 次の手順でリング端末のインストールを完了する。

データケーブルの配線とモニターへの接続

- エンジンコンパートメントの右側で、モニター用の226cmデータハーネス枝線をエンジンエアフィルターの前方、ラジエーターの右下隅に向かって下に配線する。

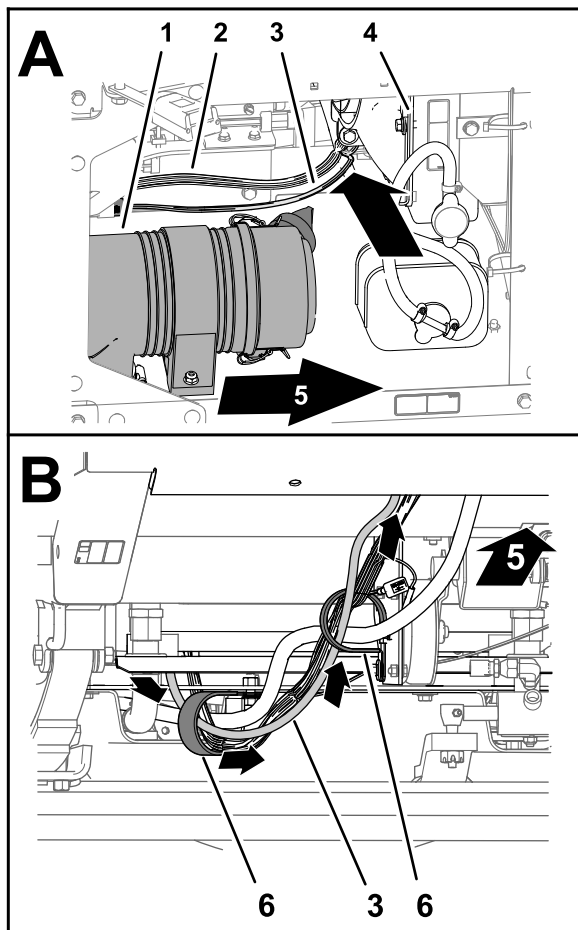


図 127

g310897

- エアフィルタ エンジン
- マシンのフロントワイヤハーネス
- 226cmデータハーネス枝線 (スプレーヤーモニター)
- ラジエーター
- マシン前方
- R クランプ

- ハーネスを前方に配線し、マシン底部にある2つのRクランプを通して、フロアパネルの穴を囲むグロメットを貫通して上に通す。

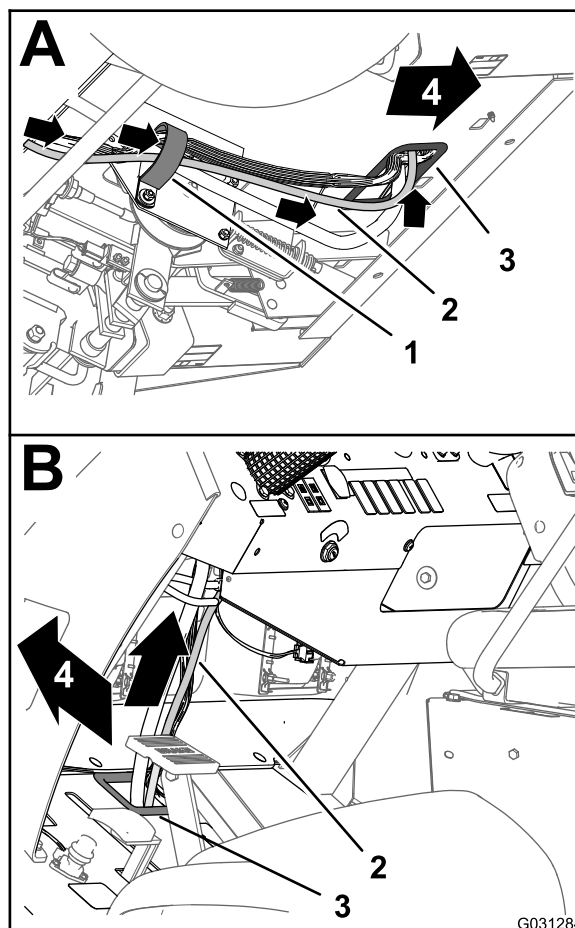


図 128

g031284

- R クランプ
- 226cmデータハーネス枝線 (スプレーヤーモニター)
- グロメットフロアパン
- マシン前方

- ハーネスをケーブルタイ3本でマシンのフロントワイヤーハーネスに固定する。
- 引き続き、ハーネスの枝線をマシンのフロントワイヤーハーネスに沿って上に配線し、ダッシュパネルの穴を囲むグロメットを貫通して上に通す。
- ケーブルをモニターの背面に差し込む。

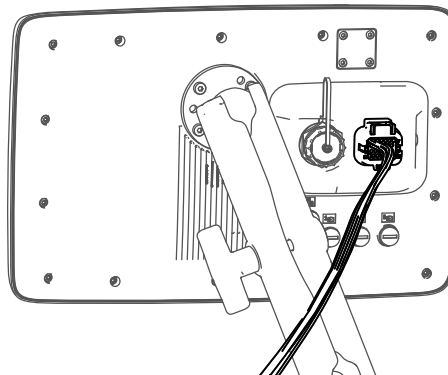


図 129

g422947

21

モデム電源ハーネスのマシンへの取り付け

この作業に必要なパーツ

1	モデム電源ハーネス - 1850mm - GeoLink精密散水システムキット (モデル 41712またはモデル 41713)
5	ケーブルタイ - GeoLink精密散水システムキット (モデル 41712またはモデル 41713)

モデム電源ハーネスの配線

1. 燃料タンクブラケットと右側のフロントフェンダーの間で、モデム電源ハーネスのタブ端子 (スイッチのラベルが付いている) と2つのリング端子 (バッテリーとアースのラベルが付いている) を機械のフレームの下に配線する。

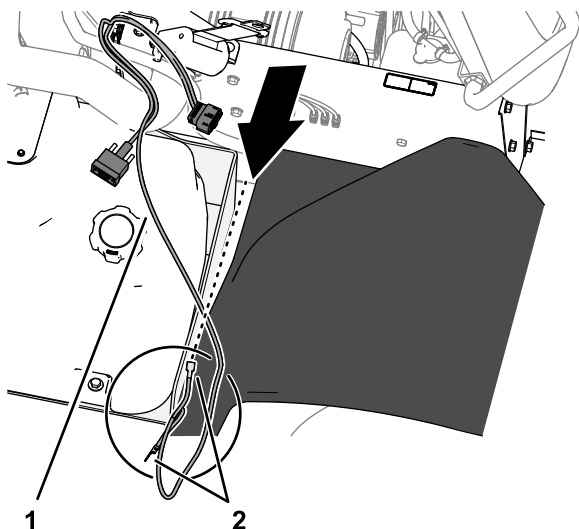
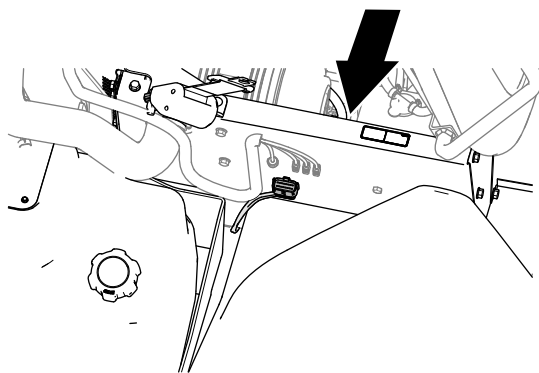


図 130

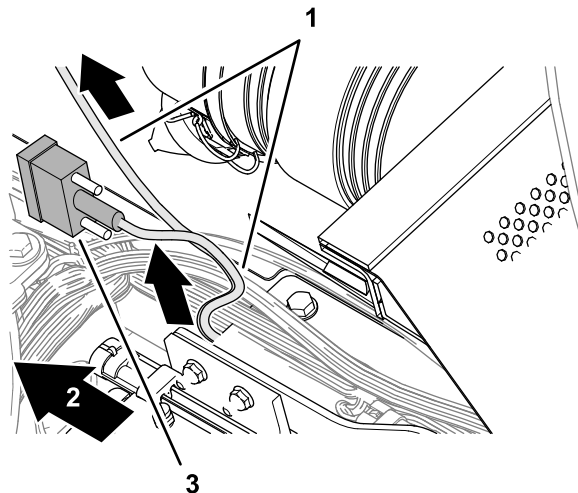
1. モデム電源ハーネス
2. ワイヤ端子

2. 右シートボックスの内側で、モデム電源ハーネスを前方に、RS232というラベルの付いた電源ハーネスコネクタをマシンのワイヤハーネスに沿って配線する。

注 RS232というラベルの付いたコネクタは使用されていない。



g310038

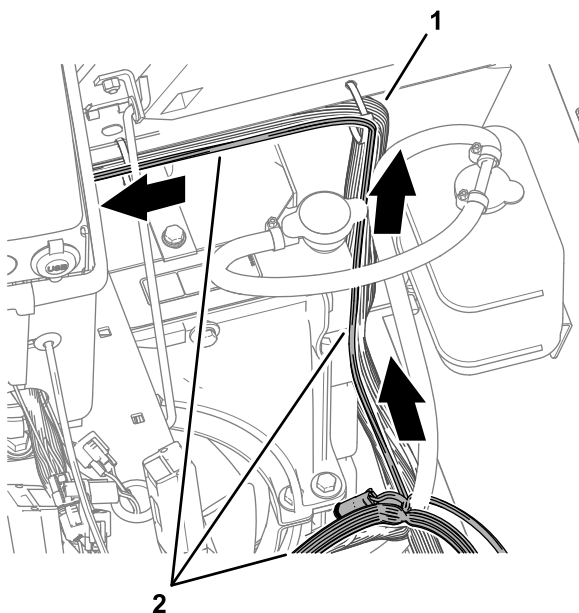


g310039

図 131

1. モデム電源ハーネス
2. マシン前方
3. 9ピンコネクタ (RS232のラベル付き - 未使用)

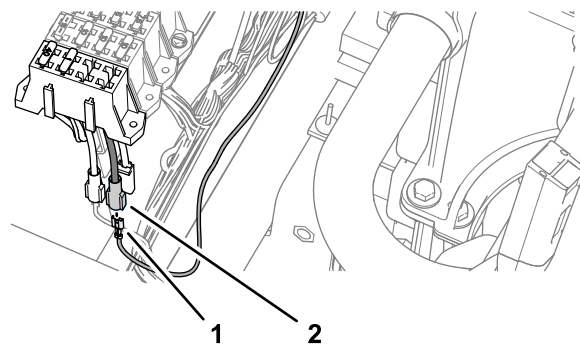
3. モデムの電源ハーネスをラジエーターの上部を横切ってマシンのワイヤハーネスに沿って配線する。



g301675

図 132

1. マシンのワイヤハーネス
2. モデム電源ハーネス

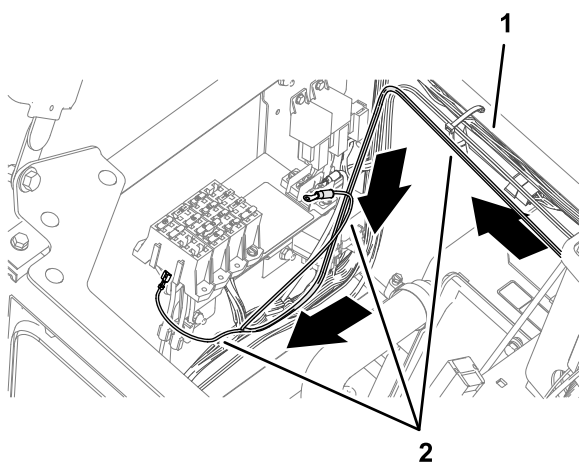


g301670

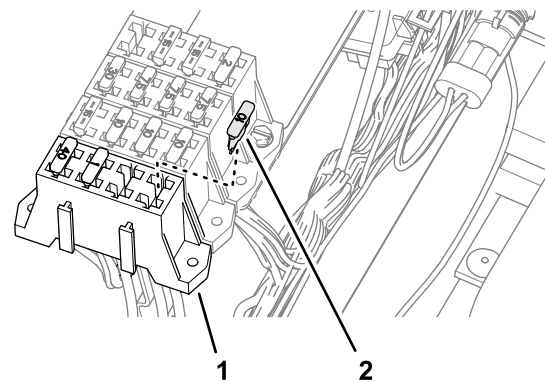
図 133

1. 端子 (バッテリーというラベル付き - モデム電源ハーネス)
2. ソケットコネクタオプション電源ヒューズブロック

2. ステップ1で使ったオプション電源回路のヒューズブロックソケットにヒューズ (10A) を挿入する。



g301795



g301672

図 134

1. ヒューズブロック
2. ヒューズ (10 A)

3. キットワイヤーハーネスのスイッチ電源およびアース分岐を5本の結束バンドでマシンのワイヤーハーネスに固定する。

ワイヤハーネスをヒューズブロックに接続する

1. スイッチというラベルが付いたモデム電源ハーネスの端子を、ヒューズブロックのオプション電源用ソケットコネクタに差し込む。

注 マシンのヒューズブロックに利用可能なオプション電源回路がない場合は、追加のオプションヒューズブロックを取り付ける。必要に応じてToroの正規代理店に問い合わせてください。

ハーネスをバッテリーに配線する

1. バッテリーとアースのラベルが付いたハーネスのリング端子を後方のシートサポートの上に配線する。

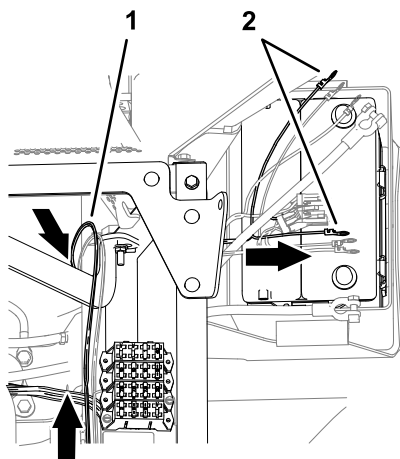


図 135

g315080

2. リング端子を左側のフレームチューブの下とバッテリー上部を横切るように配線する。

注 次の手順で、リング端子をバッテリーケーブルに組み付ける。

22

モデム用データハーネスのマシンへの取り付け

この作業に必要なパーツ

1	モデム用データハーネス - 300cm
8	ケーブルタイ

モデム用データハーネスをディスプレイに接続

モデム用ハーネスコネクタをディスプレイにねじで固定する。

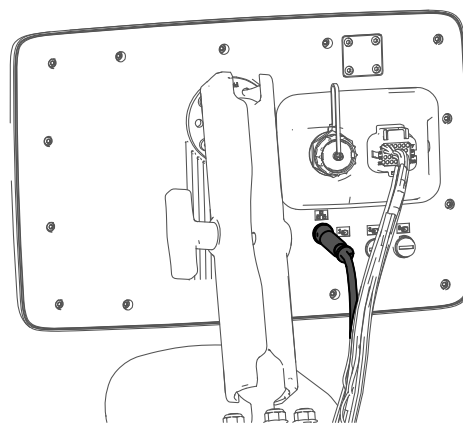


図 136

g420566

モデム用データケーブルの配線

1. モデム用データケーブルをストーリーッジコンパートメントに通す。
2. モデム用データケーブルをマシンのワイヤーハーネスに沿って配線し、フロアプレートのグロメットに通す。

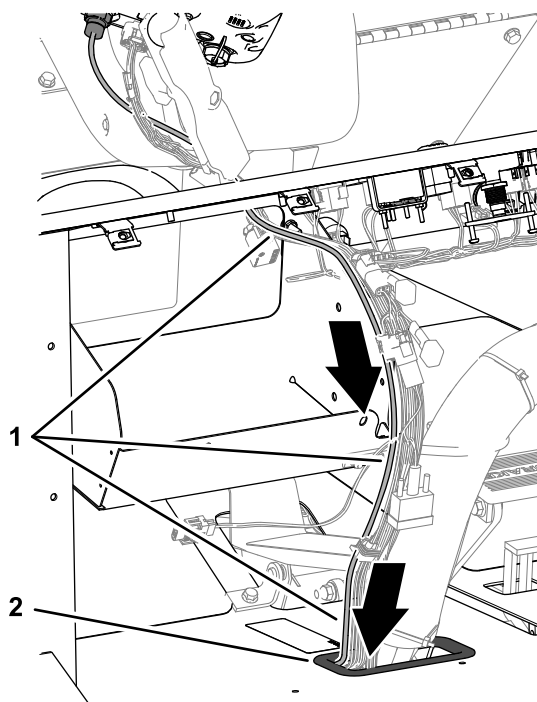


図 137

g310208

1. モデム用データケーブル
2. グロメット床板

3. モデム用データケーブルをケーブルタイ4本でマシンのワイヤーハーネスに固定する。
4. マシンの底部で、モデム用データケーブルをマシンのワイヤーハーネスに沿って後方に配線する。

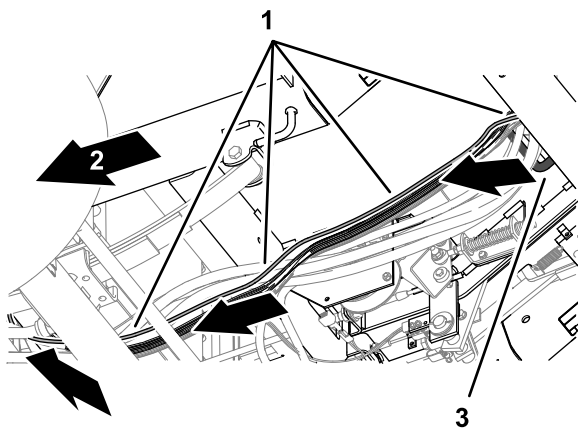


図 138

1. モデム用データケーブル 3. グロメット床板
2. マシン後方

5. ラジエーターの背面で、モデム用データケーブルを上向きに配線する。

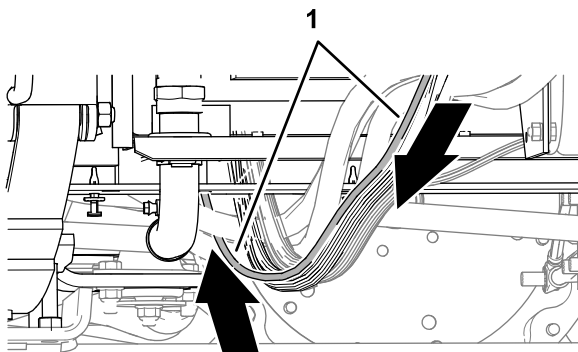
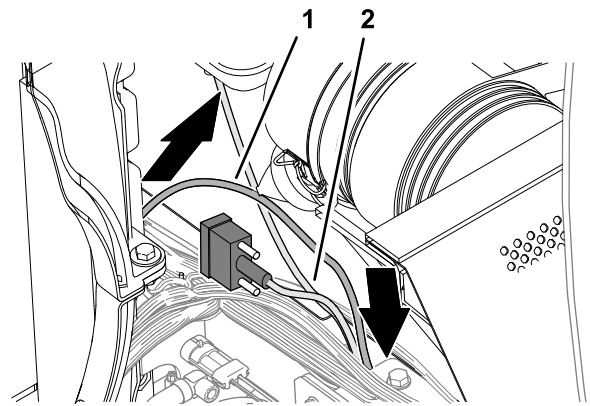


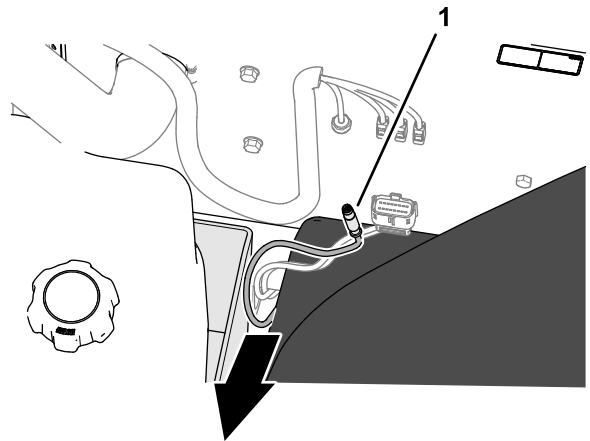
図 139

1. モデム用データケーブル

6. モデム用データケーブルをケーブルタイ4本でマシンのワイヤーハーネスに固定する。
7. モデム用データケーブルをモデム電源ハーネスに沿って、マシンの右側から出し、燃料タンクブラケットと右側のフロントフェンダーの間に配線する。



g310211



g310212

図 140

1. モデム用データケーブル 2. モデム電源ハーネス

23

CL-55モデムのインストール

この作業に必要なパーツ

1	CL-55モデム
1	モデムブラケット
2	ボルト (#10 x 1-3/4")
2	スペーサ
2	ロックナット (#10)

アンテナハーネスのをモデムへの接続

1. WiFiというラベルが付いたモデムアンテナハーネスの同軸コネクタを、WiFi/BTというマークが付いたCL-55モデムの同軸ポートに差し込み、同軸コネクタを締める。

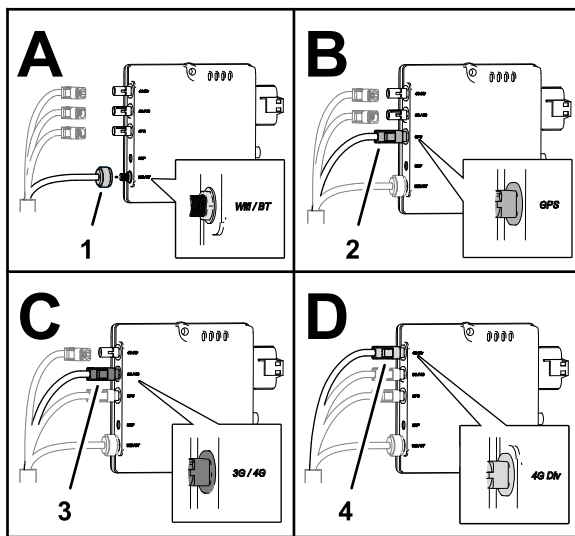


図 141

g310538

1. 同軸コネクタ (WiFiというラベル付き- モデムアンテナハーネス)
2. 青色の同軸押し込み型コネクタ (GNSSというラベル付き- モデムアンテナハーネス)
3. バイオレット同軸押し込み型コネクタ (LTE-1というラベル付き- モデムアンテナハーネス)
4. 赤色の同軸押し込み型コネクタ (LTE-2というラベル付き- モデムアンテナハーネス)

2. GNSSというラベルが付いたモデムアンテナハーネスの青い同軸押し込み型コネクタを、GPSというマークが付いたCL-55モデムのコネクタに、コネクタがしっかりとラッチされるまで差し込む。
3. LTE-1というラベルが付いたモデムアンテナハーネスの紫色の同軸押し込み型コネクタを、3G / 4Gというマークが付いたCL-55モデムのコネクタに、コネクタがしっかりとラッチされるまで差し込む。
4. **CDMAモデムのみ**LTE-2というラベルが付いたモデムアンテナハーネスの赤い同軸押し込み型コネクタを、4G DIVというマークが付いたCL-55モデムのコネクタに、コネクタがしっかりとラッチされるまで差し込む。

注 GSMモデムにはLTE-2コネクタがない。

モデムデータと電源ハーネスをモデムに接続

1. イーサネット CL55というラベルが付いたモデムデータハーネスの4ピンコネクタをCL-55モデムの4ソケットコネクタ (マークなし) に差し込み、4ピンコネクタの刻み付きナットを締め付ける。

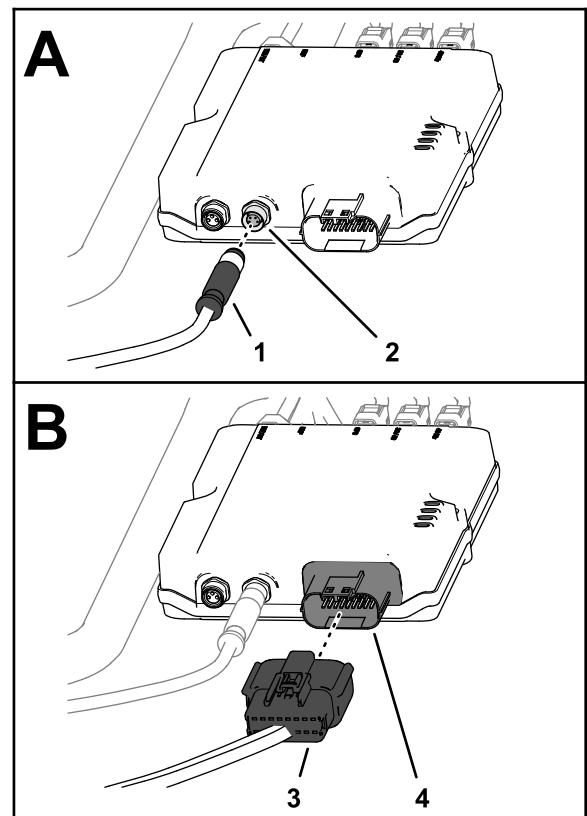


図 142

g310539

1. 4ピンコネクタ (イーサネット CL55というラベル付き - モデムデータハーネス)
2. 4ソケットコネクタ (マークなし - CL-55モデム)
3. 18ソケットコネクタCL55というラベル付き - モデム電源ハーネス)
4. 18ピンコネクタCL-55モデム

2. CL55というラベルが付いたモデム電源ハーネスの18ソケットコネクタをCL-55モデムの18ピンコネクタに差し込む。

モデムのマシンへの取り付け

1. ボルト (#10 x 1-3/4")2本、スペーサー2枚、およびロックナット (#10) 2個を使ってモデムをブラケットに固定する。

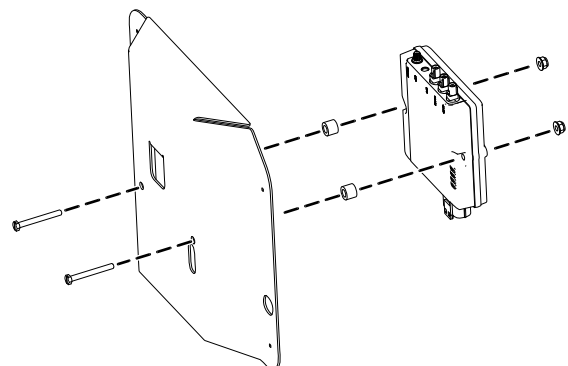


図 143

g423318

2. モデムブラケットを右側のシートボックスパネルのボルトヘッドの上に配置する。

重要ワイヤーハーネスがモデムブラケット内に配線されるようにする。

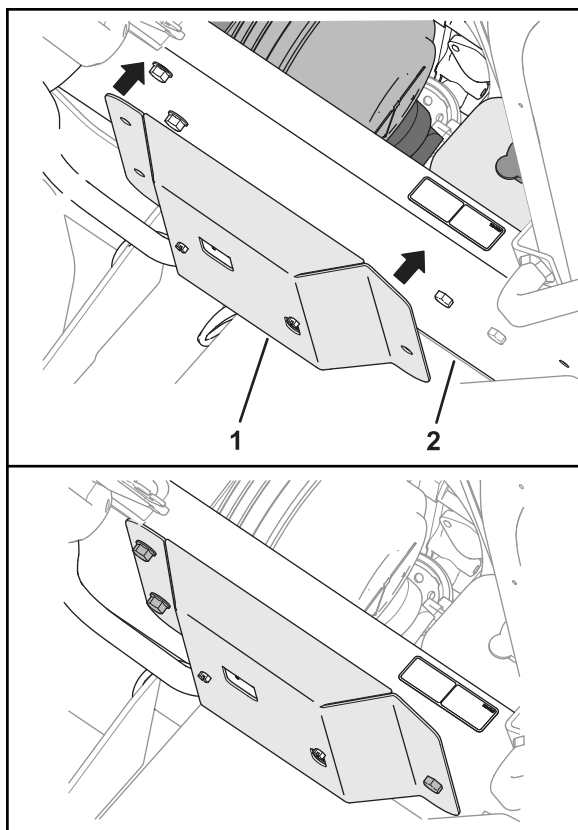


図 144

g338608

1. モデムブラケット
2. 右側のシートボックスパネル

24

ISO-CANバスハーネスの配線

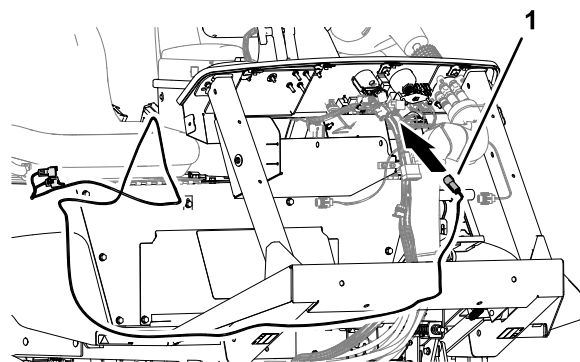
この作業に必要なパーツ

1	ISO-CAN バス ハーネス - 302cm
12	ケーブルタイ

ISO-CAN バス ハーネスをGeoLinkハーネスに接続

複雑なチューブカバー付きGeoLinkナビゲーションケーブル

1. マシンの前面で、ISO-CANバスハーネスの302cmの4ピンコネクタ (To ISOBUSというラベルが付いてい) をダッシュ パネルに向けて配置する。



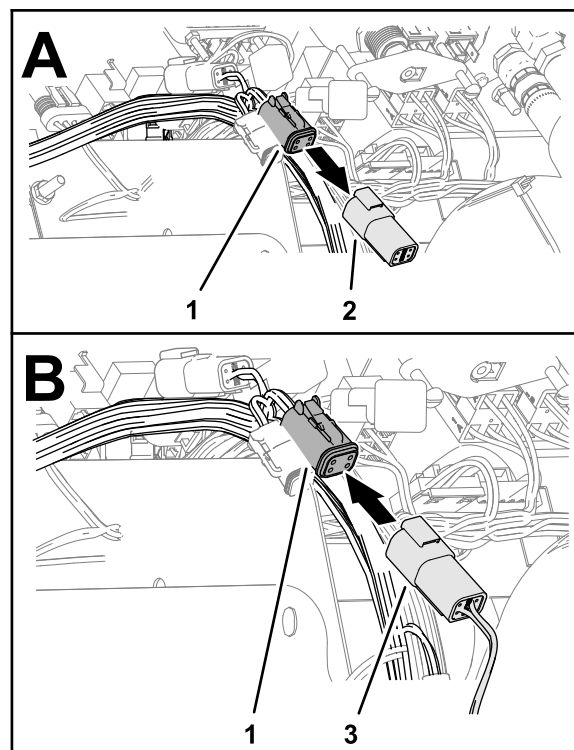
g308950

図 145

1. ISO-CANバスハーネス302cmの4ピンコネクタ (To ISOBUSというラベルが付いている)

2. ISO バス ターミネーターを、CAN 1 ISOBUS ターミネーターというラベルが付いたGeoLinkハーネスの4ソケットコネクタから取り外す。

注 キャップは不要。



g308951

図 146

1. 4ソケットコネクタ (CAN 1 ISOBUS ターミネーターのラベルが付いたGeoLinkハーネス)
2. ターミネーター (ISOバス)
3. 4ピンコネクタ (To ISOBUSというラベルが付いたISO-CANバスハーネス)

3. ISO-CANバス ハーネスのTo ISOBUSコネクタをGeoLinkハーネスのCAN 1 ISOBUSターミネーターコネクタに差し込む。

ハーネスをコンソールベースに配線する

複雑なチューブカバー付きGeoLinkナビゲーションケーブル

1. ISO-CANバスハーネスのもう一方の端を床のグロメットに通す。

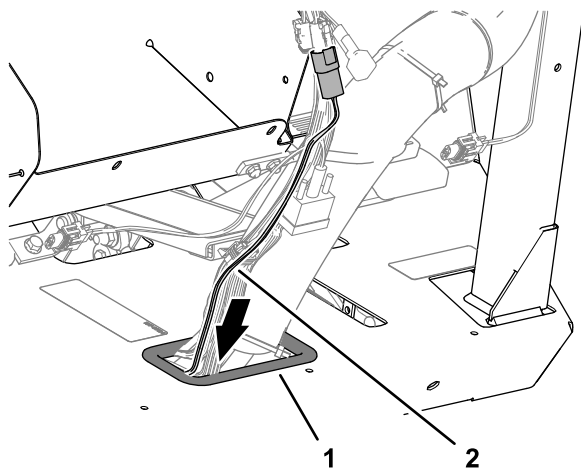


図 147

g308956

1. グロメット床
2. ISO-CANバスハーネス

2. ISO-CANバス ハーネスをケーブル タイ2本でマシンのワイヤーハーネスに固定する。
3. マシンの底部で、ISO-CANバスハーネスをマシンのワイヤーハーネスに沿って配線する。

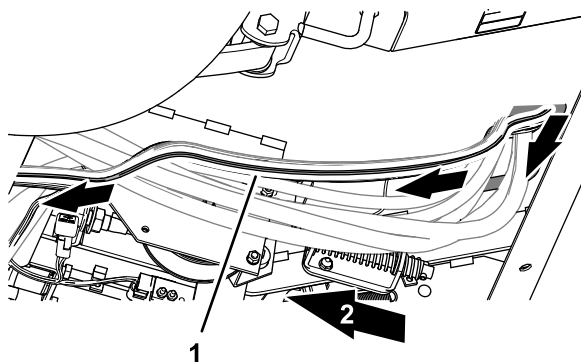


図 148

g308957

1. ISO-CANバスハーネス

4. ISO-CANバスハーネスをケーブルタイ3本でマシンのワイヤーハーネスに固定する。
5. 助手席シートを前方に回転させ、支柱で支える。
6. ラジエーターの右側で、ISO-CANバスハーネスをマシンのワイヤーハーネスに沿ってセンターコンソールに向かって配線する。

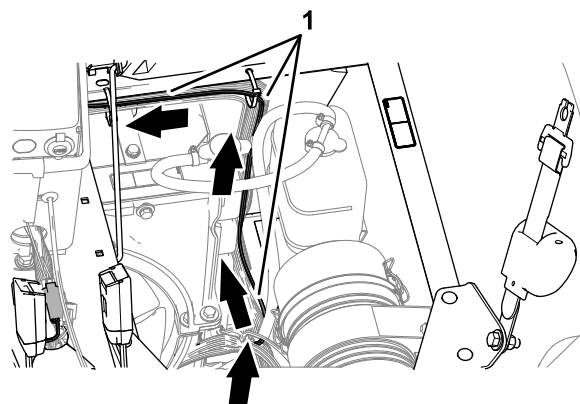


図 149

g308958

1. ISO-CANバスハーネス

7. ISO-CANバス ハーネスをコンソールベースの下でマシンのワイヤーハーネスに沿って配線する。

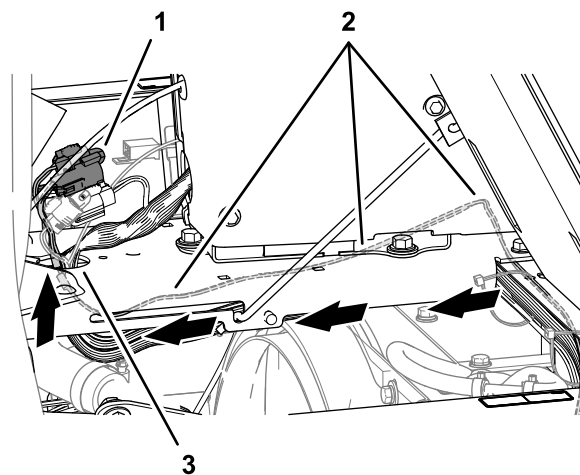


図 150

g308959

1. 3ピンコネクタ (To TORO CANBUSというラベルが付き) および3ソケットコネクタ (CAN PORT Aというラベルが付き)
2. ISO-CANバスハーネス
3. 穴コンソールベース

8. ISO-CANバス ハーネスの3ピンコネクタ (To TORO CANBUSというラベル付き) と3ソケットコネクタ (CAN PORT Aというラベル付き) をコンソールベースの穴に通す。
9. ISO-CANバスハーネスをのケーブルタイ6本でマシンのワイヤーハーネスに固定する。

ISO-CANバスハーネスのマシンワイヤーハーネスへの接続

1. マシンのワイヤーハーネスの3 ソケットコネクタ (CAN診断相互接続というラベル付き) からキャップを取り外す。

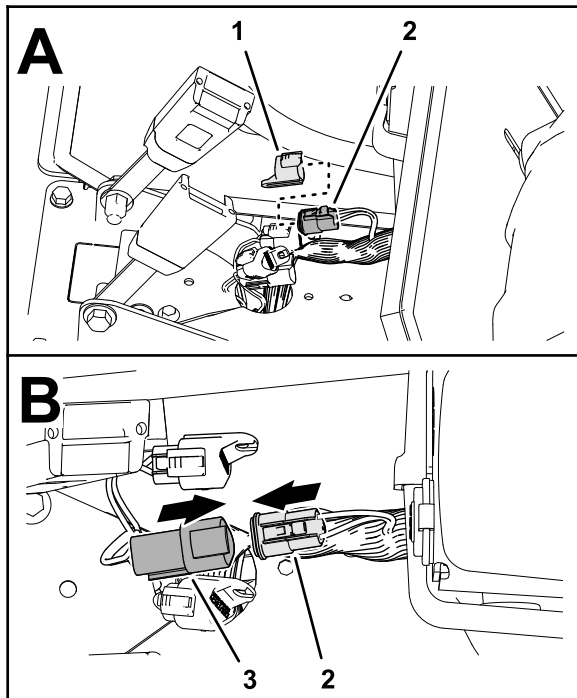


図 151

g308952

1. キャップ
2. 3 ソケット コネクタ (CAN診断相互接続というラベル付きのマシンワイヤーハーネス)
3. 3 ピンコネクタ (To TORO CANBUSとラベル付きのISO-CANバスハーネス)

2. ISO-CAN バス ハーネスの3 ピンコネクタ (To TORO CANBUSというラベル付き) をマシンのワイヤーハーネスの3 ソケットコネクタ (CAN診断相互接続というラベル付き) に差し込む。

25

CANバス抵抗の取り外し

必要なパーツはありません。

コンソールのサイドパネルを取り外す

1. 助手席を下げる。

2. センターコンソールのサイドパネルを固定しているフランジヘッドキャップネジ (1/4 x 3/4") 4本を取り外す。

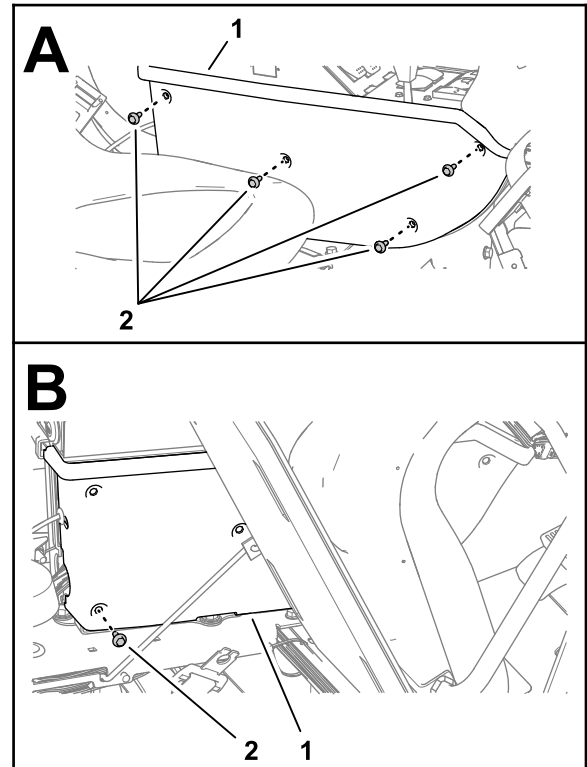


図 152

g301406

1. サイドパネル
2. フランジヘッドキャップネジ (1/4 x 3/4")
3. 助手席を前方に傾けて、後部下部のフランジヘッドキャップネジを取り外す。
4. センターコンソールからサイドパネルを外す。

終端抵抗の取り外し

TECコントローラーの前方で、マシンのワイヤーハーネスの3 ソケットコネクタ (ラベルなし) から75Ω抵抗を取り外して保持する。

注 GeoLinkを備えたMulti Pro 5800スプレーヤー用のAutoSteerキットを取り付けるときに、サイドパネルをセンターコンソールに取り付ける。AutoSteerキットのインストール手順の **セットアップ手順** を参照方。

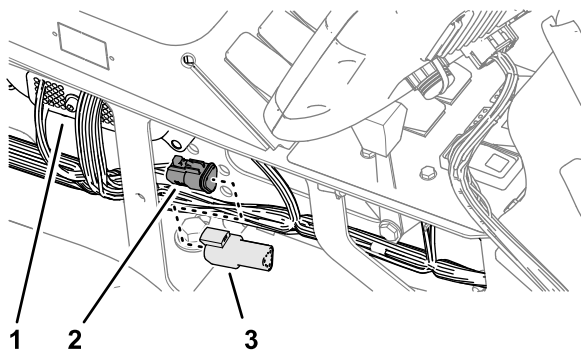


図 153

g308955

1. TECコントローラ
2. 3 ソケットコネクタ (ラベルなし - マシンワイヤーハーネス)
3. 75Ω抵抗 (3ピン)

コンソールのサイドパネルの取り付け

1. フランジヘッドキャップネジ (1/4 x 3/4") 4本を使って、サイドパネルをコンソールフレームに取り付ける。

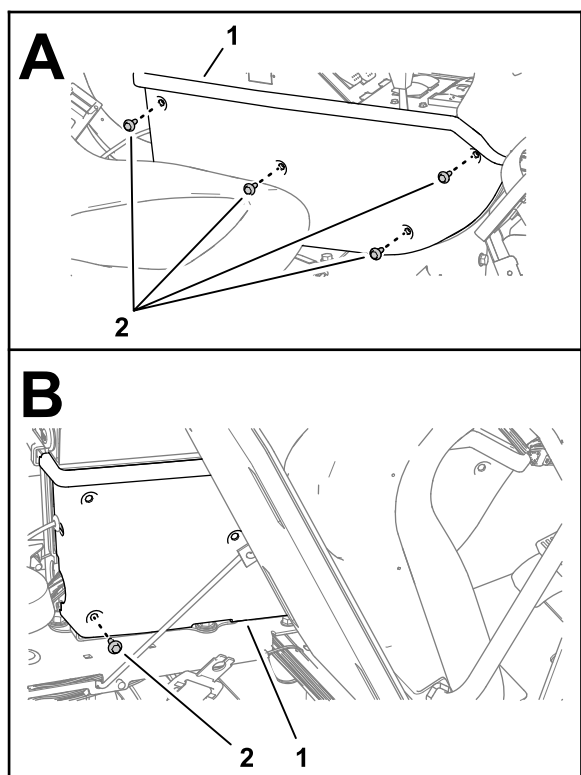


図 154

g301406

1. サイドパネル
 2. フランジヘッドキャップネジ (1/4 x 1/2")
2. シートを前方に傾けて、後部下部にフランジヘッドキャップネジを取り付ける。

26

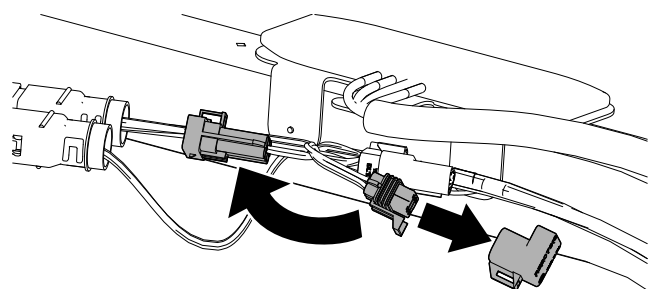
アダプターハーネスと終端抵抗の取り付け

この作業に必要なパーツ

1	アダプターハーネス - 13cm
1	ケーブルタイ

手順

1. 衛星受信機とアンテナで、6 ソケットコネクタのISOバスターミネータを取り外して廃棄する。



g420711

図 155

2. アダプターハーネスの6 ピンコネクタをGeoLinkハーネスの6 ソケットコネクタに 13cm 差し込む。
3. アダプターハーネスをケーブルタイでGeoLinkハーネスに固定する。

27

GeoLink散水システム仕上げキットの取付作業

必要なパーツはありません。

リアGeoLinkハーネス、ナビゲーション用データハーネスおよび電気ハーネス、モデム電源ハーネスのバッテリーケーブルへの取り付け

1. リアワイヤーハーネスのプラス端子赤線、マイナス端子黒線、ヒューズブロック50Aをバッテリーボックスとマシンのシャーシの間に配線する。

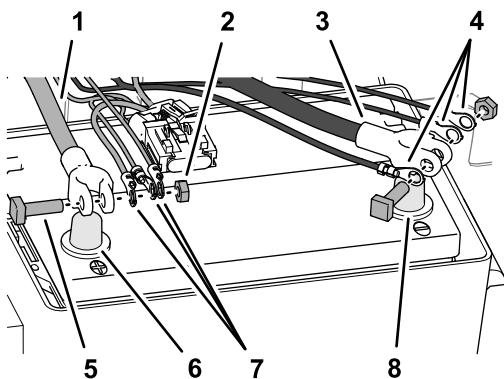


図 156

g315081

1. プラス+ケーブル
 2. 六角ナット
 3. マイナス-ケーブル
 4. マイナスリング端子 (黒色のワイヤ) - リアGeoLinkワイヤハーネス、ナビゲーション用データハーネスおよび電気ハーネス、モデム電源ハーネス
 5. Tボルト
 6. バッテリー端子プラス
 7. プラスのリング端子 (赤色のワイヤ) - GeoLinkリアワイヤハーネス、ナビゲーションデータと電気ハーネス、モデム電源ハーネス
 8. バッテリー端子マイナス
-
2. ナビゲーション電気ハーネスのプラス端子 (赤いワイヤ)、マイナス端子 (黒いワイヤ)、および10Aヒューズブロックをバッテリーボックスとマシンのシャーシの間に配線する。
 3. モデム電源ハーネスのバッテリーとアースというラベルが付いたリング端子を、バッテリーボックスとマシンのシャーシの間に配線する。
 4. バッテリーケーブルの両端子に固定されているTボルトと六角ナットを外す 図 156。
 5. リアワイヤハーネスのプラス端子 (赤いワイヤ)、ナビゲーション電気ハーネスのプラス端子、モデム電源ハーネス、およびバッテリーケーブルのプラス端子にTボルトを取り付ける。
 6. 端子とTボルトを六角ナットで仮止めする。
 7. Tボルトを、リアワイヤハーネスのマイナス端子 (黒いワイヤ)、ナビゲーション電気ハーネスのマイナス端子、モデム電源ハーネス、およびマイナスバッテリーケーブルの端子に取り付ける。
 8. 端子とTボルトを六角ナットで仮止めする。
 9. バッテリーを接続するオペレーターズマニュアルを参照。

マシンの設定プログラミングを行う

1. キースイッチにキーを差し込んでオン位置に回す。

注 エンジン始動させないでください。

2. スプラッシュ画面で、センターのボタン 5 (右端) を押したままにして、メインメニュー画面にアクセスする。



G035069

g035069



G035082

g035082

図 157

1. ボタン5
-
3. メインメニューで、[設定] オプションが強調表示されるまでボタン1またはボタン2を押し、次にボタン4を押して [設定] メニューに移動する。

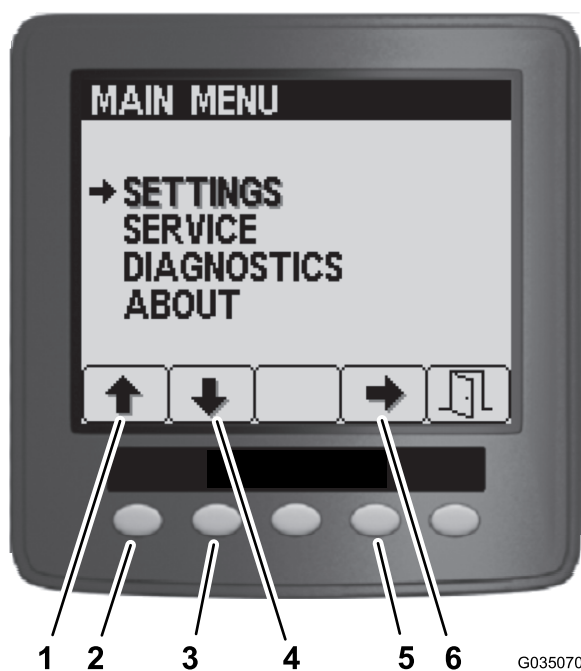


図 158

- | | |
|---------|---------|
| 1. 上矢印 | 4. ボタン2 |
| 2. ボタン1 | 5. ボタン4 |
| 3. 下矢印 | 6. 選択矢印 |

4. [設定] メニューで、GeoLinkオプションが強調表示されるまでボタン1またはボタン2を押し、次にボタン4を押してGeoLinkメニューに移動する。

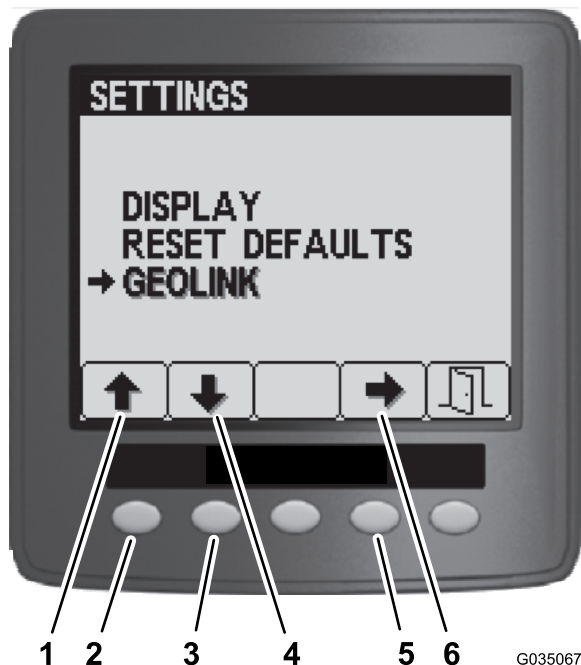


図 159

- | | |
|---------|---------|
| 1. 上矢印 | 4. ボタン2 |
| 2. ボタン1 | 5. ボタン4 |
| 3. 下矢印 | 6. 選択矢印 |

5. GeoLinkメニューで、ボボタン4を押して[はい] オプションを選択し、ボタン5を押して設定を保存し、メニューを終了する。



図 160

- | | |
|---------|-----------|
| 1. ボタン4 | 3. ボタン5 |
| 2. 選択矢印 | 4. Exit終了 |

6. キーを オフ 位置に回す。



図 161

7. キースイッチを オン 位置にする。

注 GeoLinkシステムのスプラッシュ画面がインフォセンターに表示される。



図 162

G035066

g035066

8. キーを オフ 位置に回す。

28

GeoLink機器の電源オン

必要なパーツはありません。

手順

1. イグニッションキーをオンの位置に回す。
2. 以下の各機器に電源が入ったことを確認する
 - コントロールコンソール - グラフィックとテキストを表示する



図 163

g423361

- 衛星受信機—PWRインジケーターが点灯

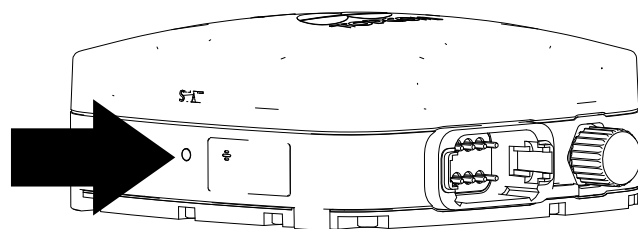


図 164

g423320

- モデム—LED インジケーターが点灯

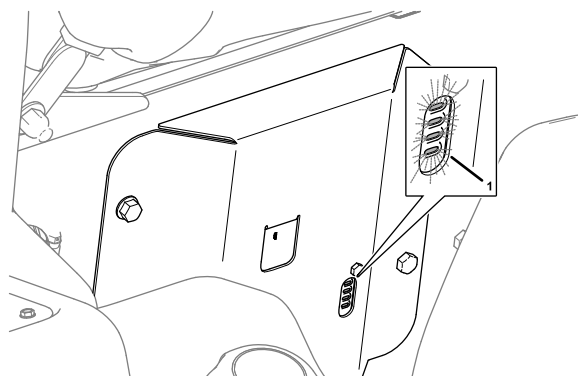


図 165

g306264

1. LEDインジケーター助手席ベース

- 自動セクションコントローラー - ステータスインジケーターが点灯

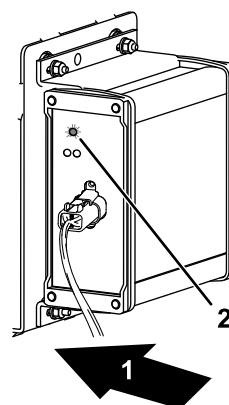


図 166

g491700

1. マシン後方
2. STATUS インジケータブーム自動コントローラ

3. キーを オフ 位置に回す。
4. 以下の機器で電源が切れたことを確認する
 - コントロールコンソール
 - 衛星受信機
 - 自動セクションコントローラ

ソフトウェアセットアップの完了

必要なパーツはありません。

手順

GeoLinkシステムのソフトウェアガイドを参照方

次の手順を完了する

1. ソフトウェアのバージョンを確認する。
2. 単位系を選択する。
3. フィールドを作成する。
4. 新しい製品と適用率を作成する。
5. 散水タスクを作成する。
6. 散水システムをチェック中。
7. 攪拌バイパスバルブのバランス調整を行う。
8. フローメータを校正する。
9. 携帯電話通信の状態を確認する。
10. 代理店ロケーションでコンパスを校正する。
11. 顧客の場所で NVRAM をクリアする。
12. 顧客の場所でコンパスを校正する。



Toro 製品保証

2 年間または 1,500 時間限定保証

保証条件および保証製品

*Toro 社は、Toro 社の製品以下「製品」と呼びますの材質上または製造上の欠陥に対して、2 年間または 1,500 運転時間のうちいずれか早く到達した時点までの品質保証を共同で実施いたします。この保証は、エアレータ以外のすべての機器に適用されます。エアレータ製品については別途保証があります。この品質保証の対象となった場合には、弊社は無料で「製品」の修理を行います。この無償修理には、診断、作業工賃、部品代、運賃が含まれます。保証は「製品」が納品された時点から有効となります。
*アワーメータを装備している機器に対して適用します。

保証請求の手続き

保証修理が必要だと思われる場合には、「製品」を納入した弊社代理店ディストリビュータ又はディーラーに対して、お客様から連絡をして頂くことが必要です。連絡先がわからなかったり、保証内容や条件について疑問がある場合には、以下に問い合わせください。

Toro Commercial Products Service Department
8111 Lyndale Avenue South
Bloomington, MN 55420-1196

952-888-8801 または 800-952-2740
E-mail: commercial.warranty@toro.com

オーナーの責任

製品のオーナーは、オペレーターズマニュアルに記載された整備や調整を実行する責任があります。必要な整備や調整を怠ったことが原因で発生した不具合などの問題点はこの製品保証の対象とはなりません。

保証の対象とならない項目と条件

保証期間内であっても、すべての故障や不具合が保証の対象となるわけではありません。以下に挙げるものは、この保証の対象とはなりません

- Toroの純正交換部品以外の部品を使用したことまたはToroの純正部品以外のアクセサリや製品を搭載して使用したことが原因で発生した故障や不具合。
- 推奨された整備や調整を行わなかったことが原因で生じた故障や不具合。
- 運転上の過失、無謀運転など「製品」を著しく過酷な条件で使用したことが原因で生じた故障や不具合。
- 製品を正常に使用したことによって消耗した交換パーツ通常の使用に伴って磨耗消耗する部品類とは、ブレーキパッドおよびライニング、クラッチライニング、ブレード、リール、ローアおよびベアリングシールドタイプ、グリス注入タイプ共、ベッドナイフ、タイン、点火プラグ、キャスタホイール、ベアリング、タイヤ、フィルタ、ベルトなどを言い、その他、液剤散布用の部品としてダイヤフラム、ノズル、フローメータ、チェックバルブが含まれますが、これらに限定されません。
- 以下のような外部要因が原因で発生する不具合天候、格納保管条件、異物、未承認の燃料、冷却液、潤滑剤、添加物、水、薬品などの使用を含むがこれらに限定されない。
- エンジンのための適正な燃料ガソリン、軽油、バイオディーゼルなどを使用しなかったり、品質基準から外れた燃料を使用したために発生した不具合。
- 通常の使用に伴う運転音や振動、汚れや傷、劣化。通常の使用に伴う「汚れや傷」とは、運転席のシート、マシンの塗装、ステッカー類、窓などに発生する汚れや傷を含みます。

米国とカナダ以外のお客様へ

米国またはカナダから輸出された製品の保証についてのお問い合わせは、お買いあげのToro社販売代理店ディストリビュータまたはディーラーへおたずねください。代理店の保証内容にご満足いただけない場合は弊社の正規サービスセンターにご相談ください。

部品

定期整備に必要な部品類「部品」は、その部品の交換時期が到来するまで保証されます。この保証によって取り付けられた部品は、この製品保証により当初の保証期間終了まで保証され、取り外された部品は弊社の所有となります。部品やアセンブリを交換するか修理するか判断は弊社が行います。弊社は保証修理のために再調整した部品を使用する場合があります。

ディープサイクルバッテリーおよびリチウムイオンバッテリーの保証

ディープサイクルバッテリーやリチウムイオンバッテリーは、その寿命中に放出することのできるエネルギーの総量kWhが決まっています。一方、バッテリーそのものの寿命は、使用方法、充電方法、保守方法により大きく変わります。バッテリーを使用するにつれて、完全充電してから次に完全充電が必要になるまでの使用可能時間は徐々に短くなってゆきます。このような通常の損耗を原因とするバッテリーの交換は、オーナーの責任範囲です。注リチウムイオンバッテリーバッテリーの保証内容をご確認ください。

クランクシャフトのライフタイム保証プロストライブ 02657 モデルのみ

Toro社の純正摩擦ディスクおよびクランク安全ブレードブレイキクラッチ統合ブレードブレイキクラッチBBC摩擦ディスクアセンブリを当初から搭載し、当初の購入者がToro社の推奨する運転方法および定期整備を遵守してご使用されたプロストライブ製品には、クランクシャフトの曲がり不具合に対するライフタイム保証が適用されます。摩擦ワッシャ、ブレードブレイキクラッチBBCその他のデバイスを搭載した製品には、このクランクシャフトのライフタイム保証は適用されません。

保守整備に掛かる費用はオーナーが負担するものとします

エンジンのチューンナップ、潤滑、洗浄、磨き上げ、フィルタや冷却液の交換、推奨定期整備の実施などは「製品」の維持に必要な作業であり、これらに関わる費用はオーナーが負担します。

一般条件

上記によって弊社代理店が行う無償修理が本保証のすべてとなります。

Toro 社は、本製品の使用に伴って発生する間接的偶発的結果的損害、例えば代替機材に要した費用、故障中の修理関連費用や装置不使用に伴う損失などについて何らの責も負うものではありません。当社の保証責任は上記の交換または修理に限らせていただきます。その他については、排気ガス関係の保証を除き、何らの明示的な保証もお約束するものではありません。商品性や用途適性についての黙示的内容についての保証も、本保証の有効期間中のみに限って適用されます。

米国内では、間接的偶発的損害に対する免責を認めていない州があります。また黙示的な保証内容に対する有効期限の設定を認めていない州があります。従って、上記の内容が当てはまらない場合があります。この保証により、お客様は一定の法的権利を付与されますが、国または地域によっては、お客様に上記以外の法的権利が存在する場合があります。

排ガス保証についてのご注意

製品の排出ガス制御システムは、米国環境保護庁 (EPA) および/またはカリフォルニア大気資源委員会 (CARB) によって確立された要件を満たす別の保証の対象となる場合があります。上記の時間制限は、排ガス浄化システムの保証には適用されません。製品に同梱またはエンジンメーカーからの書類に同梱されている、エンジンの排ガス浄化システムの保証についての説明をご覧ください。